

瘋癲老人日記

谷崎潤一郎

青空文庫

十六日。……夜新宿ノ第一劇場夜ノ部ヲ見ニ行ク。出シ物ハ

「恩讐の彼方へ」「彦市ばなし」

すけろくくるわのもよぐさ 助六 曲輪菊

「デアル

ガ他ノモノハ見ズ、助六ダケガ目的デアル。勘弥ノ助六デハ物足
リナイガ、訥升ガ揚巻ヲスルト云ウノデ、ソレガドンナニ美シイ
カト思イ、助六ヨリモ揚巻ノ方ニ惹カレタノデアル。婆サント颯
子ト同伴。浄吉モ会社カラ直接駆ケツケル。助六ノ芝居ヲ知ツテ
イルノハ予ト婆サンダケ。颯子ハ知ラナイ。婆サンモ団十郎ノハ
見タコトガアルカモ知レナイガ、記憶ガナイ。先々代ノ羽左衛門

ノハ一度カ二度見タト云ウ。團十郎ノヲハツキリト見テイルノハ予一人デアル。アレハ明治三十年前後、十三四ノ頃ダツタト思ウ。團十郎ノ助六ハコノ時ガ最後デ、三十六年ニハ死ンデイル。揚卷ハ先代歌右衛門、ソノ時ハマダ福助ト云ツテイタ。意休ハ福助ノ父ノ芝翫デアツタ。予ノ家ガ本所割下水ニアツタ時代デ、両国廣小路ノ、アレハ何ト云ツタツケナ、何トカ云ウ有名ナ絵草紙屋ノ店頭ニ助六ト意休ト揚卷ノ三枚続キノ錦絵ガ掲ゲテアツタノヲ今モ忘レナイ。

予ガ羽左衛門ノ助六ヲ見タ時ハ、意休ガ先代中車、揚卷ガヤハリ昔ノ福助、当時ノ歌右衛門ダツタト思ウ。何デモ冬ノ寒イ日デ、羽左衛門ハ熱ガ四十度近クモアツタニ拘ラズ、ブルブル震エナガ

ラ水入りヲシタ。カンペラ門兵衛ハ特ニ浅草ノ宮戸座カラ中村勘五郎ガ買ワレテ来テ演ジタガ、コレガ妙ニ印象ニ残ツテイル。兎ニ角予ハ助六ノ芝居ガ好キナノデ、助六ガ出ルト聞クト、勘弥ノデモ見ニ行キタクナル。況ンヤ御鼻肩ノ訥升ガ見ラレルニ於テヲヤ。

勘弥ノ助六ハ初役デアロウガ、ヤハリドウモ感心出来ナイ。勘弥ニ限ラズ、近頃ノ助六ハ皆脚ニタイツ才穿ク。時々タイツニ皺ガ寄ツタリシテイル。コレハ甚ダ感興ヲ殺グ。アレハ是非素脚ニ白粉ヲ塗ツテ貰イタイ。訥升ノ揚卷ハ十分満足シタ。コレダケデモ来タ甲斐ガアルト思ツタ。福助時代ノ昔ノ歌右衛門ハイザ知ラズ、近頃コンナ美シイ揚卷ヲ見タコトハナイ。イツタイ予ニハ Pedera

styノ趣味ハナイノダガ、最近不思議ニ歌舞伎俳優ノ若イ女形ニ性的魅力ヲ感ズルヨウニナツタ。ソレモ素顔デハ駄目ダ。女装シタ舞台ノ上ノ姿デナケレバ駄目ダ。ソウく、ソレデ思イ出シタガ、予ニモ全然ペデラステイ^ーノ趣味ガナイトハ云エナイカモシレナイ。

若イ時ニタツタ一遍ダケ奇怪ナ経験ヲシタコトガアル。昔新派ニ若山千鳥ト云ウ美少年ノ女形ガイタ。山崎長之輔ノ一座ニ属シ中洲ノ真砂座ニ出テイタガ、ヤ、老イテカラハ六代目ノ面差^{おもやし}ニ似

テイタ先代嵐芳三郎ノ相手役トシテ宮戸座ニ出テイタ。老イタト云ツテモ三十ソコくデナオ美シカツタガ、見タトコロ年増女ト云ウ感ジデ、トテモ男性トハ思エナカツタ。真砂座時代紅葉山人

ノ「夏小袖」ノ才嬢サンニナツタ時、予ハ特ニ彼女、デハナイ彼ニ魅惑サレタ。何トカ出来タラ一タ彼ヲ才座敷へ呼び、舞台デ見タ通リノ女装ヲサセテ、チョツトデモイ、カラ一緒ニ寝テミタイ。冗談ニソンナコトヲ云ツタラ、才望ミナラサセテアゲマスト云ツテクレタ或ル待合ノ女将ガイタ。ソシテ凶ラズモ予ノ希望ハ叶エラレタガ、首尾ヨク同衾シ、事ヲ行ウニ至ツテモ、普通ノ藝妓ト普通ノ方法デ行ツテイルノト異ルトコロハナカツタ。ツマリ彼ハ最後マデ男子デアルコトヲ相手ニ感ジサセズ、女性ニナリ切ツテイタ。鬢ヲツケタマ、舟底形ノ枕ニ寝、暗イ部屋ノ褥しとねノ中デ、友禪ノ長襦袢ヲ着テノコトデハアルガ、実ニ異常ナ技巧ヲ持ツテイタモノデ、マコトニ不思議ナ経験デアツタ。断ツテオクガ彼ハ所

謂 Hermaphrodite デハナイ、立派ニ男性ノ器具ヲ備エテイタ。タゞ技巧ヲ以テソレヲ感知セシメナカツタノデアアル。

ダガ如何ニ技巧ガ巧妙デアツテモ、モトく予ノ趣味デハナカツタノデ、タツタ一遍好奇心ヲ満足サセタゞケデ、ソレキリ同性ト關係シタコトハナカツタ。然ルニ七十七歳ノ今日ニナリ、既ニ左様ナ能力ヲ喪失シタ状態ニナツテカラ、男装ノ麗人ナラヌ女装ノ美少年ニ魅力ヲ感じ出シタノハナゼカ。青年時代ノ若山千鳥ノ記憶ガ今ニ及ンデ甦よみがえツテ来タノカ。ドウモソウデハナイラシイ。ソレヨリ何カ不能ニナツタ老人ノ性生活——不能ニナツテモ或ル種ノ性生活ハアルノダ——ト關係ガアルラシイ。……

今日ハ手ガ疲レタ。コレデ止メル。

十七日。昨日ノアトヲモウ少シ続ケル。入梅中デ雨モ降ツテイタノニ、昨夜ハナカ〜暑カツタ。尤モ劇場内ハ冷房シテイタガ、コノ冷房ガ予ニハ禁物ナノダ。才蔭デ左手ノ神経痛ガ一層痛ミ、皮膚感覺ノ麻痺モ激シクナル。イツモハ手頸カラ指ノ先マデガ疾患部ナノデアルガ、手頸カラ上、肘ノ関節マデガ痛ミ、時ニハ肘ヲ越エテ肩ノ辺マデ波及シタ。

「ソレ御覧ナサイナ、ダカラ云ワナイコツチャナイ。何モソソナ思イヲシテマデ見ニ来ルコトハナイジャアリマセンカ」
ト婆サンガ云ツタ。

「コンナニ流芝居」

「イヤソウ云ツタモンデモナイサ。己ハアノ揚卷ノ顔ヲ見テルダケデモイクラカ痛ミヲ忘レルンダ」

予ハ婆サンニ窶たしなメラレテ一層依怙いこじ地ニナツタ。ソノ癖手ノ冷工方ハマス／＼激シカツタ。紗ノ夏羽織ニポーラーノ単衣、紹ノ長襦袢ヲ着テ、シカモ左ノ手ニハ鼠ノ毛糸ノ手袋ヲ箆メ、白金懷炉ヲハンケチニ包ンデ握ツテイタ。

「デモ訥升ハホントニ綺麗ダワ。オ爺じいチャンガア、仰ツシヤルノモ無理ナイワ」

ト颯子ガ云ツタ。

「君……………」

ト云イカケテオ前ト云イ直シ、

「才前ニモ面白味ガ分ルカネ」

ト浄吉ガ云ツタ。

「巧イ拙イハ分ラナイケレド、顔ヤ姿ノ綺麗サニハ感心スルワ。才爺チャン、明日晝ノ部ヲ見ニイラツシヤラナイ？ 『河庄』ノ小春ガ又キツトイ、ワ。御覧ニナルナラ明日ニナスツタラ。先ニ行クホド暑クナリマス」

正直ノトコロ、予ハ手ノ痛サニ閉口シテ晝ノ部ヲ見ルノハ止メヨウカト思ツテイタノダガ、婆サンニ窘メラレタノデ却ツテ依怙地ニナリ、痛イノヲ忪エテ明日ノ晝ニ又来ヨウカト思ツテイタノダツタ。颯子ハ予ノソウ云ウ氣持ヲ実ニ早く見テ取ル。颯子ガ婆サンニ才覺エノ悪イノハ、コンナ場合、婆サンヲ無視シテ予ノ氣持

ヲ迎エヨウトスルカラナノダ。彼女モ訥升ガ好キナノデハアロウ
 ガ、或ハ治兵衛ノ団子ノ方ニヨリ興味ガアルノカモ知レナイ。：
 ……

今日ノ晝ノ部「河庄」ノ場ハ午後二時開演三時二十分頃ハネル。
 今日ハ炎天デ昨日ヨリ一層暑イ。車内ノ暑サモ思イヤラレルガ、
 冷房ガヒトシオ厳シイニ違イナク、手ノ痛サノ方ガ心配デアル。
 昨夜ハ夜デヨカツタケレドモ、コレカラダト時間ガ時間ダカラ、
 必ズドコカデデモ隊ニ打ツカリマス、米國大使館ト国会議事堂ト
 南平台ヲ結ブ線ヲドコカデ横切ラナケレバナリマセン、ソノ積リ
 デ早目ニオ出カケニナツテ下サイト、運転手ガ云ウ。已ムヲ得ズ
 一時ニ出カケル。今日ハ三人デ淨吉ハ缺席。

幸イ大シタ妨害モナク到着。マダ段四郎ノ「悪太郎」ガ済ンデイ
ナイ。ソレハ見ナイデ食堂ニ這入りト休ミスル。皆ガ飲ムノデ
予モアイスクリームヲ注文シタガ、婆サンニ止メラレル。「河庄」
ハ小春訥升、治兵衛団子、孫右衛門猿之助、女房才庄宗十郎、多
兵衛団之助等々デアル。昔先代鴈治郎ガ新富座デコレヲ出シタ時
ノコトヲ思イ出ス。アノ時ノ孫右衛門ハコノ猿之助ノ父段四郎、
小春ハ先代梅幸デアツタ。団子ノ治兵衛ハ如何ニモ一生懸命デ、
全力ヲ盡シテイルコトハ認メラレルガ、餘リ一生懸命過ギ、緊張
シ過ギテコチ〜ニナツテイル。尤モアノ若サデアノ大役ヲスル
ノデアルカラ無理モナイ。努力ニ免ジテ将来ノ大成ヲ祈ルノミデ
アル。同ジ大役デモ大阪ノモノデナク、江戸ノモノヲ選ンダ方ガ

ヨカツタト思ウ。訥升ハ今日モ綺麗デアツタガ、揚卷ノ方ガヨカ
ツタ氣ガスル。後ニ「権三と助十」ガアツタガ見残シテ出ル。

「コ、マデ来タンダカラチヨツト伊勢丹へ寄ロウ」

ト、婆サンノ反对ヲ豫期シテ云ウト、

「又冷房デモイ、ンデスカ、コノ暑イノニ早クオ帰りニナツタラ
ドウ」

ト果シテ云ウ。

「コノ通り」

ト、予ハ持ツテイルス^{いしづき}ネークウツドノステツキノ石突ヲ示シ、

「コ、ントコロガ取レチマツタンダヨ。ドウ云ウモンカステツキ
ノ石突ハメツタニ長持チシナイモンダネ。必ズ二三年デ取レチマ

ウネ。伊勢丹ノ特選売場へ行ツタラ何かシラ見ツカルダロウ」
実ハ外ニ少シ考ガアツタンダガ、ソナコトハ口ニシナカツタ。

「野村サン、帰りモデモハ大丈夫カシラ」

「エ、大丈夫ダト思イマス」

運転手ノ説ニ依ルト、今日ハ全学連ノ反主流派ノデモダソウデ、
二時カラ日比谷ニ集リ、主トシテ国会警視庁辺ヲ襲ウラシイノデ、
ソレニ打ツカラナイヨウニスレバイ、ト云ウ。紳士用ノ特選売場
ハ三階ダツタガ、生憎好マシイステツキハナカツタ。ツイデ二見
テ行コウト、二階ノ婦人物ノ特選売場ヲ覗ク。全館中元売り出シ
ノ最中デ、相当ニ雑踏シテイル。サンマ^イイタリアン^フアツシヨ
ンノ陳列ガアツテ、有名ナ^デザイナ^ーノ^デザインニ依ルイタリ

好ミノオートクチュールノ服ガ沢山飾ラレテイル。颯子ハ、

「マア素敵！」

ヲ連発シテ容易ニ動コウトシナイ。颯子ノタメニカルダンノ絹ノ
 ネットカチーフヲ買ツテヤル。三千圓ホドデアル。

「コンナノトテモ欲シインダケレド、才高クツテ手ガ出ナイワ」
 ト、塙太利製ラシイベージュノスウェードノ、口金ニサファイヤ
 ノイミテーションラシイ石ガ這入ツテイルハンドバッグノ前デ、
 颯子ハ頻リニ嘆声ヲ発シテイル。定価ハ二萬何千圓デアル。

「浄吉ニ買ワセルサ、ソレクライナモン」

「駄目ヨ、彼ハケチダカラ」

婆サンハ黙ツテ何も云ワナイ。

「モウ五時ダネ、才婆チャン、コレカラ銀座へ出テ晩飯ヲ喰ツテ
歸ロウジヤナイカ」

「銀座ノドコヘ」

「浜作へ行コウヨ、コノ間カラ鱧ガ喰イタクツテ仕様ガナインダ」
颯子ヲ呼ンデ浜作ニ電話サセ、カウ^ンターノ席ヲ三四人分取ツテ
オイテ貰ウ。六時ニ行クカラ浄吉モ来ラレタラ来ルヨウニ云ワセ
ル。野村曰ク、デモハ夜遅クマデ続キ、霞ケ関カラ銀座へ出テ十
時ニ解散スル、今カラ浜作へイラツシヤレバ、八時迄ニハ帰レマ
スカラ大丈夫デス、但シ少シ遠廻リシテ市ヶ谷見附カラ九段ヲ経、
八重洲口へ出テ行ケバ、デモニ打ツカル恐レハナイト思イマス、
ト云ウ。……………

十八日。昨日ノ続キ。豫定通り六時浜作着。浄吉ノ方ガ先ニ来テイル。婆サン、予、颯子、浄吉ト云ウ順ニ腰カケル。浄吉夫婦ハビール、予等ハ番茶ヲタンブラーニ入レテ貰ウ。突キ出シニ予等ハ滝川ドウフ、浄吉ハ枝豆、颯子ハモズク。予ハ滝川ドウフノ他ニ晒シ鯨ノ白味噌和エガ欲シクナツテ追加スル。刺身ハ鯛ノ薄ツクリ二人前、鱧ノ梅肉二人前。鯛ハ婆サント浄吉、梅肉ハ予ト颯子デアル。焼キ物ハ予一人ダケガ鱧ノ附焼、他ノ三人ハ鮎ノ塩焼、吸物ハ四人トモ早松さまつノ土瓶蒸シ、外ニ茄子ノ鳴焼。

「マダ何カ喰ツテモイ、ナ」

「冗談ジヤナイ、ソレデ足りナインデスカ」

「足りナイコトハナインダガ、コゝへ来ルト関西ノモノガ恋シクナルンダ」

「グジノ一ト塩ガアリマスゼ」

ト浄吉ガ云ウ。

「才爺チャン、コレ召シ上ツテ下サラナイ？」

颯子ノ前ニ鱧ガソツクリ残ツテイル。彼女ハ残リヲ予ニ食べサセル積リデ、ホンノ一片カ二片食べタゞケデアル。実ヲ云ウト予モ彼女ノ食イ残シガ廻ツテ来ルコトヲ豫期シテ——或ハソレガ今夜ノ目的デ——コゝへ来タノカモ知レナイ。

「困ツタナ、僕ハトウニ食べチャツタンデ、梅肉ヲ下ゲテ行ツチャツタンダ」

「梅肉ダツテコゝニアルワ」

ト、颯子ハ鱧ト一緒ニ自分ノ梅肉ヲ廻シテヨコシナガラ、

「梅肉ダケ別ニ取りマシヨウカ」

「ソレニハ及バナイ、コレデ結構」

颯子ハタツタ二片ダケシカ食ベナイノニ、梅肉ガワリニ穢ラシク喰イ荒サレテイル。女ラシクナイ食ベ方デアル。或ハコレモワザトデハナイカト思ウ。

「コゝニ鮎わたノ腸モ取ツトキマシタヨ」

ト、婆サンガ云ウ。婆サンハ焼鮎ノ骨ヲ綺麗ニ抜クノガ得意ナノデアル。彼女ハ頭ト骨ト尾トヲ皿ノ一方ニ片寄セテ、身ヲ一片モ残サズニ猫ガ舐メタヨウニ食ベル。ソシテ予ノタメニ腸ダケヲ残

シテオクノガ習慣ニナツテイル。

「ワタクシノモゴザイマス」

ト、颯子ガ云ウ。

「ワタクシハオ魚ヲ食ベルノガ下手デスカラ、才婆チャンノヨウニ綺麗デハゴザイマセンケレド」

颯子ノ鮎ノ残骸ハ成ル程マコトニキタナラシイ。梅肉以上ニ喰イ散ラサレテイル。コレモ意味ガナクハナイヨウニ予ニハ取レル。食事中ノ雑談ニ、浄吉ガ二三日中ニ札幌へ出張スルカモ知レナイト云ウ。滞在ハ一週間ノ豫定ダガ、来ルナラ一緒ニ来テモイ、ト云ウ。颯子ハ考エテ、北海道ノ夏ヲ見タイト思ツテタンダケレド、今度ハ止メルワ、二十日ニ春久サンニ誘ワレテボクシングニ行ク

約束シチャツタモンダカラ、ト云ウ。浄吉ハソウカト云ツタキリ、強イテ来イトモ云ワナイ。七時半頃帰宅。

十八日朝経助ガ学校ニ、浄吉ガ会社ニ出テ行ツタ後、庭ヲ散歩シテ四阿あずまやニ休ム。四阿マデ三十メートル餘デアルガ、コノトコロ

日々脚ノ運動ガ不自由サヲ加工、今日ハ昨日ヨリモ一層歩キニクイ。入梅中ハ湿氣ガ多イノデソノセイモアルガ、去年ノ入梅中ハコンナデハナカツタ。手ノヨウナ痛ミヤ冷感ハナイガ、何トモ不思議ニ重ミガカヽリ、モツレルヨウニナル。ソノ重ミハ膝頭ニ来ルコトモアリ、足ノ甲ヤ足ノ裏ニ来ルコトモアリ、日ニヨツテ違ウ。医師ノ意見モマチヽデアル。往年ノ輕微ナ脳溢血ノ痕跡ガマダ残ツテイ、脳中枢ニ僅カナ変化ガアルノデ、ソレガ脚ニ影響

シテイルノダトモ云イ、又レントゲン^{レントゲン}デ検ベテミルト頸椎ト腰椎トガ曲ツテイルカラデアルトモ云ウ。ソノ頸椎ヤ腰椎ヲ矯正スルニハ寢台ヲ斜面ニシタ上ニ寢テ首ヲ上方ニ吊リ上ゲタリ、腰ニギ^ギブスデコルセツト^{コルセツト}ヲ作り、当分ソレヲ箠メル必要ガアルトモ云ウ。予ハトテモソ^ソンナ窮屈ナ姿勢ニハ耐エラレナイノデ、コノマ、^マデ我慢シテイル。シカシ歩キニク、^クテモ、毎日少シズツデモ歩カナケレバイケナイ。歩カズニイルト、今二本当ニ歩ケナクナリマスト嚇カサレテイル。時々ヨロケテ倒レソウニナルノデ、寒竹ノステツキヲ衝イテルガ、大概颯子カ看護婦カ誰カゞツイテ来ル。今朝ハ颯子デアル。

「颯子、コレ」

あずまや
 四 阿デ休ンダ時、予ハ袂カラ小サクタ、ンダ札束ヲ取り出シテ
 手ニ握ラセル。

「何デスノ、コレ？」

「二萬五千圓アル、昨日ノハンドバッグヲ買ツタライ、」

「ドウモ済ミマセン」

颯子ハ急イデブラウスノ内側へ札束ヲ放リ込ム。

「ダケドアレヲ提ゲテ歩イタラ、僕ガ買ツテヤツタンダト、婆サ
 ンガ感ヅキヤシナイカナ」

「才婆チャンハアノ時見テイラツシヤラナカツタワ、ドン／＼歩
 イテ先ノ方へ行ツテラツシヤイマシタワ」

ヤツパリソウダツタナト予モ思ウ。

十九日。日曜デアルニモ拘ラズ、浄吉ガ午後羽田カラ立ツ。颯子
モスグ後カラヒルマンデ出カケル。颯子ノ運転デハ危ナガツテ家
ノ者ハメツタニ乗ラナイ。自然彼女ノ専用ニナツテイル。彼女ハ
夫ヲ見送りニ行クノデハナイ。スカラ座ヘアラン・ドロノ「太
陽ガイツパイ」ヲ見ニ行クノデアル。今日モ多分春久ト一緒ラシ
イ。経助ガヒトリ家デシヨンボリシテイル。今日辻堂カラ陸子ガ
子供達ヲ連レテ来ルノデ、ソレヲ心待チニシテイルラシイ。

午後一時過ぎ杉田氏来診。コレハ予ガアマリ痛ガルノデ、兎モ角
 モト佐々木看護婦ガ心配シテ電話シタノデアル。東大梶浦内科ノ
 診断デハ、今日デハ脳中枢ノ病巣ハ殆ドヨクナツテイル。ソレニ
 痛ミガアルト云ウノハ脳ノ方ノ病氣デハナイ。癱^{りゆうまち}麻質性モシク
 ハ神経痛ノ如キモノニ変化シテイル證據デアルト云ウ。杉田氏ノ
 意見デ、整形外科ノ方へ行ツテ見テ貰ツタラト云ウノデ、先日虎
 ノ門病院デレントゲンヲ撮ツタノデアルガ、頸椎ノ辺ニ曇リガア
 ルシ、手ノ痛ミガソソナニ激シイノナラ、事ニ依ルト癌カモ知レ
 ナイト嚇カサレテ、頸椎ノ断層写真迄モ撮ラセタリシタ。幸イニ
 シテ癌デハナカツタガ、頸骨ノ六番目ト七番目ガ變形シテイルト
 云ウ。腰椎モ變形シテイルガ、コノ方ハ頸程デナイト云ウ。手が

痛ンダリ麻痺シタリスルノハソノセイデアルカラ、ソレヲ直スニハ滑リヤスイ板ヲ作ツテ下ニ滑車ヲ入レ、三十度クライノ傾斜面ニシ、最初ハ朝夕十五分間グライソノ上ニ寝、グリーンソン氏式ユリンゲト称スルモノ（自分ノ首ノ寸法ニ合ワセテ特ニ医療器械屋ニ作ラセル一種ノ首吊り器）ニ首ヲ入レ、体ノ重ミデ頸ガ引ツ張り上ゲラレルヨウニスル。ソノ時間ト回数トヲダン／＼ニ殖ヤスヨウニシテ二三カ月モ続ケレバヨクナルダロウトノ事。コノ暑イノニ、予ハトテモソナコトヲスル氣ハナカッタガ、外ニコレト云ウ治療法モナイカラ、マアヤツテゴランナサイト杉田氏ハス、メル。スルカドウカ分ラナイガ、大工ヲ呼ンデ滑り台ト滑車ヲ作ラセ、医療器械屋ヲ招イテ首ノ寸法ヲ測ツテ貰ウコトニスル。

二時頃陸子が来ル。子供ヲ二人連レテイル。長男ハ野球カ何カニ出カケタソウデ来ナイ。秋子ト夏二ハ早速経助ノ部屋へ行ツテイル様子。三人デ動物園へ行ク計畫ラシイ。陸子ハ予ニチョツト挨拶シタキリ、茶ノ間デ婆サント何カ頻リニ話シ込ンデイル。イツモノコトデ珍シクモナイ。

今日ハ外ニ書クコトモナイカラ、コンナ時ニ少シ心ニアルコトヲ記シテミル。

老年ニナルト誰デモソウカモ知レナイガ、近頃予ハ一日トシテ自分ノ死ノコトヲ考エナイ日ハナイ。尤モ予ノ場合ハ近頃ドコロデハナイ。随分古ク、二十台グライカラダガ、近頃殊ニ甚シクナッタ。「今日己ハ死ヌンジヤナイカナ」ト、日ニ二三度ハ考エル。

ソレハ必ズシモ恐怖ヲ伴ワナイ。若イ時ハ非常ナ恐怖感ヲ伴ツタガ、今デハソレガ幾分楽シクサエアル。ソノ代リ、自分ノ死又時ヤ死後ノ光景ヲ微ニ入り細ニ互ツテ空想スル。告別式ハ青山斎場ナドヘ持ツテ行カナイデ、コノ家ノ庭ニ面シタ十畳ノ間ニ棺ヲ安置スル。ソウスレバ会葬者ハ表門カラ中門ヲ通ツテ飛石伝イニ焼香ニ来ルノニ便利デアル。笙しよみちりきノヨウナモノヲ鳴ラサレルノハ迷惑ダケレドモ、誰カ一人、富山清琴ノヨウナ人ニ「残月」ヲ弾イテ貰ウ。

磯辺ノ松ニ葉隠レテ、沖ノ方ヘト入ル月ノ、

光ヤ夢ノ世ヲ早ウ、覚メテ真如ノ明ラケキ、月ノ都ニ住ムヤ

ラン。……

ト、清琴ノ声デ唄ツテイルノガ聞エテ来ルヨウナ、モウ死ンデイル筈ダガ、死ンデモ聞エテ来ルヨウナ氣ガスル。婆サンノ泣ク声モ聞エル。五子^{いっ}モ陸子モ予トハ反リガ合ワナイデ喧嘩バカリシテイタガ、ヤハリ声ヲ拳ゲテ泣ク。颯子ハキツト平氣ダロウナ。ソレトモ案外泣クカ知ラ。セメテ真似グライハシテミセルカ知ラ。死ニ顔ハドンナ顔ニナルダロウカ。ナルベク今ノ程度ニハ太ツテイテ貰イタイナ。少シ憎^{にくてい}体ニ見エルクライニ。……………

「才爺チャン、……………」

コ、マデ書イタラ、不意ニ婆サンガ陸子ヲ連レテ這入ツテ来タ。

「陸子ガ何カ才爺チャンニ才願イガアルンデスツテ」

陸子ノ才願イト云ウノハコウデアル。長男ノ力^{つとむ}ガ、マダ大学ノ二

年生デ早過ギルノダケレドモ、恋人ガ出来テ結婚サセテクレト云
ウノデ、許スコトニシタ、ガ、若イ二人ヲアパートナドニ別居サ
セテオクノハ不安デアルカラ、力ガ卒業シテ就職スルマデハ手許
ニオイテ夫婦生活ヲサセヨウト思ウ。ソウナルト今ノ辻堂ノ家ハ
アマリニ狭イ。ソレデナクテモ陸子夫婦ニ子供ガ三人デ、狭過ギ
テ困ツテイタ。ソコヘ嫁ガ来レバ、イズレ赤ン坊モ生レル。ツイ
テハコノ際今少シ廣クテ近代的様式ノ家ニ移リタイ。同ジ辻堂ノ
中デ五六丁離レタ所ニオ詔エ向キノ家屋ガ一軒売リ物ニ出タノデ、
何トカシテソレヲ買イタイノダガ、ソレニハ金ガ二三百萬足りナ
イ。百萬グライハドウニカナルガ、ソレ以上ハ目下ノトコロ工合
ガ悪イ。勿論ソレヲ才爺チャンニ出シテ下サイナンテ云ウンジャ

ナイ。銀行デ借リルツモリデアルガ、差当リソノ利息ダケ二萬圓
ホド助ケテモラエマイカ。ソレモ来年中ニハ才返シシマスト云ウ。

「株ヲ持ツテル筈ジヤナイカ、アレヲ売ル訳ニ行カナイノカ」

「アレヲ売ツタラ、ソレコソアタシタチ一文ナシニナツチャウワ」

「ソウヨホントニ、アレダケハ手ヲツケナイ方ガイ、ヨ」

ト、婆サンガ助ケ舟ヲ出ス。

「エ、何カノ時ノ用心ニアレハ取ツトク積リナノ」

「何云ツテルンダイ、才前ノ亭主ハマダ四十台ジヤナイカ。今ノ
若サデソソナ意気地ノナイコトデドウスル」

「陸子ハ嫁ニ行ツテカラ今マデ一度モコンナ話ヲ持ツテ来タコト
ハアリマセン。今度始メテナンデス。聴イテオヤリニナツタライ

カバ」

「二萬圓ト云ウケレドモ、三月経ツテ利息ガ拂エナカツタラドウ
スル」

「マアソノ時ハソノ時ノコトニシテ」

「ソレ ज्या 際限ガナイカラ困ルナ」

「銚田サンダツテ必ズ御迷惑ハカケマセン、グズ／＼シテルト売
レチマウカラ一時助けテイタゞキタイト云ツテルンデス」

「利息ノ金グライ、才婆チャンドウニカナラナイノカ」

「アタシニ出サセルナンテ、ヒドイワ。颯子ニハヒルマンヲ買ッ
テオヤリニナルノニ」

ソウ云ワレタノガグツト来テ、予ハハツキリト断ル決心ガツイタ。

却ツテ氣持ガサバ〜シタ。

「マア考エテオクコトニシヨウ」

「今日御返事ガイタゞケナインデスカ」

「コノトコロイロ〜ト出錢でせんガ多クツテネ」

ブツ〜云イナガラ二人ハ出テ行ツタ。

飛ンダトコロニ邪魔ガ這入ツテ腰ヲ折ラレタ。サツキノ話ヲモウ少シ続ケル。

五十台クライマデハ死ノ豫感ガ何ニモ増シテ恐シカツタガ、今デハソソコトハナイ。モハヤ人生ニ疲レタ、トデモ云ウノダロウカ、イツ死ンデモイ、氣ガシテイル。先日虎ノ門病院デ断層写真ヲ撮ラレタ時、癌カモ知レナイト云ワレテ附添ノ婆サンヤ看護婦

ハ色ヲ失ツタヨウデアルガ、予ハマツタク平氣ダツタ。コンナニモ平氣デイラレルノガ意外ダツタ。長イ／＼人生モコレデイヨノ終ルノカナト、イクラカホツトシタクライダツタ。ダカラ生ニ執着スル氣ハ少シモナイガ、デモ生キテイル限りハ、異性ニ惹カレズニハイラレナイ。コノ氣持ハ死ノ瞬間マデ続クト思ウ。九十ニナツテモ子ヲ産ンデミセルト云ウ久原房之助ノヨウナ精力ハナク、既ニ全ク無能力者デハアルガ、ダカラト云ツテイロ／＼ノ變形的間接的方法デ性ノ魅力ヲ感ジルコトガ出来ル。現在ノ予ハソウ云ウ性慾的樂シミト食慾ノ樂シミトデ生キテイルヨウナモノダ。ソウ云ウ予ノ心境ヲ、颯子ダケハオボロゲニ察知シテイルラシイ。コノ家ノ中デ、ソレヲ知ツテイルノハ颯子ダケダ。他ノ者ハ一人

モ知ラナイ。颯子ハ少シズツ間接的方法デ試シテ見、ソノ反応ヲ見テイルラシイ。

予ガ我ナガラキタナラシイ皺クチャ爺デアルコトハ自分デモヨク知ツテイル。夜寝ル時ニ義齒ヲ外シテカラ鏡デ見ルト実ニ不思議ナ顔ヲシテイル。上顎ト下顎トニ自分ノ齒ハ一本モナイ。齒齦はぐきモ

ナイ。口ヲ結ブト上唇ト下唇ガペチャンコニ喰ツ着キ、ソノ上ニ鼻ガ垂レ下ツテ来テ頤ノ方マデ落チテ来ル。コレガ自分ノ顔ノカト呆レザルヲ得ナイ。人間ハオロカ、猿ダツテコンナ醜惡ナ顔ハシテイナイ。コンナ顔デ女ニ好カレヨウナンテ馬鹿ナコトヲ思ウ訳ハナイ。ソノ代リ、全クソナ資格ノナイ老人デアルコトヲ自分ミズカラモ認メテイルニ違イナイト、ソウ思ツテ世間ガ安心

シテイルトコロガ附ケ目デアル。附ケ目ニ乗ジテドウスルト云ウ資格モ実力モナイケレドモ、安心シテ美人ノ傍ニ寄ルコトハ出来ル。自分ニハ実力ガナイ代リニ、美女ヲ美男ニけしか嫉ケテ、家庭ニふ紛んぬんヲ起サセテ、ソレヲ楽シムコトハ出来ル。……………

二十日。……………浄吉ハ今デハ颯子ヲソシテハイナイヨウニ見エル。経助ヲ生ンデカラ後次第ニ愛情ガ冷メタノカ知ラン。何シロ出張旅行ガ多イシ、東京ニイテモ宴会ガ多クテ夜ガオソイ。外ニ誰カ出来タノカモ知レナイガ、ソノ点ハ確カデナイ。今デハ女ヨリモ仕事ノ方ガ面白クツテ溜ラナイラシクモアル。昔ハ随分熱烈ナ仲ダツタ時代モアルノニ、飽キツポイノハ親譲リカモ知レ

ナイ。

予ハ放任主義ダカラ敢テ干涉シナカツタガ、婆サンハ颯子トノ結婚ニハ反対ダツタ。N・D・Tノ踊り子ダト云ツテタケレド、日劇ニイタノハホンノ半年グライデ、ソノ後何ヲシテイタノカ、浅草辺ニイタコトモアルラシイシ、ドコカノナイトクラブニモイタラシイ。

「君ハトウダンスハシナイノカネ」

ツテ聴イタラ、

「トウダンスハヤリマセン。バレリーナニナロウト思ツテ、バレッスンヲ一二年受ケタコトガアルノデ、チョットグライ立ツコトハ立テタンデスガ、サア今デモ立テルカ知ラ」

ツテ、ソシナ話ヲシタコトガアツタ。

「折角ソコマデ習ツタノニナゼ止メタンダネ」

「ダツテ、トテモ足ガ變形シチャツテ醜ク、ナルノヨ」

「ソレデ止メタノカネ」

「アタシ、足ガアンナニナルノハイヤダワ」

「ドンナニナルノサ」

「ドンナニナルツテ、ソリヤヒドイノヨ。足ノ趾ニ全部^{たこ}胼胝ガ出来チャツテ、腫^はレ上ツテ爪モ何モナクナツチマウノヨ」

「今デハ綺麗ナ足ジヤナイカ」

「ホントウハモツト綺麗ナ足ダツタノヨ。ソレガトウダ^スノ胼胝ノ才蔭^スデスツカリ穢クナツチャツタンデ、トウヲ止メテカラ一

生懸命モトノヨウニシヨウト思ツテ、毎日々々軽石ダノ鑢やすりダノイ
 ロンナモノデ擦こすツタノヨ。ソレデモ未ダ二前ノヨウニハナラナイ
 ワ

「ドレドレ、チヨツト才見セ」

ハカラズモ予ハ彼女ノ素足ニ触レ得ル機会ヲ掴ンダ。彼女ハソフ
 アニ両足ヲ伸バシ、ナイロンノ靴下ヲ脱イデ見セタ。予ハソノ足
 ヲ自分ノ膝ノ上ニ載セ、五本ノ趾ヲ一本々々握ツテ見タ。

「触ツテ見ルト柔イゼ、胼胝ナンカアリヤシナイジヤナイカ」

「モツトヨク触ツテ見テヨ。ソコヲグウツト押シテ見テ」

「ア、コゝ？」

「ネ？ マダ直リキツチャイナイワ。バレリーナナンテ、足ノコ

トヲ考エルト見ラレタモンジヤナイワ」

「レペシンスカヤモソソナ足ヲシテルノカネ」

「勿論ヨ、アタシダツテ練習中ハ靴カラタラ〜血ヲ出シタコト
ガ何度モアツタワ。足バカリジヤナイ、コゝノ脹ふくらはぎ脛すねダツテフ
ツクラシタ肉ガナクナツチマツテ、労働者ノ脚ノヨウナグリ〜
ガ出来ルワ。胸モペツタリシテオ乳ナンゾナクナツチマウシ、肩
ノ筋肉モマルデ男ミタイニコチ〜ニナルワ。ステージダンサー
デモ幾分カソウナルケレドモ、アタシハ幸イニシテナラナカッタ
ワ」

浄吉ガ彼女ニ魅セラレタノハ彼女ノ姿態ニアルコトハ確カダガ、
ロク〜学校モ出テイナイノニ、頭モ悪クハナイラシイ。負けズ

嫌イナノデ、家へ来テカラ勉強シテフランス語ヤ英語モ片かたごと言グ
 ライハシヤベレルヨウニナツタ。自動車ヲ運転シタガツタリ拳闘
 ヲ愛シタリスル一面、ガラニモナク生花ガ好キデ、京都ノ一草亭
 ノ娘婿ガ週ニ二回、イロく珍シイ花ヲ持ツテ東京へ出テ来テ教
 エルノデ、ソノ人ニ就イテ去風流ヲ習ツテイル。今日ハ予ノ部屋
 ニ青磁ノ水盤ニ縞ス、キト三白草ト泡盛草ガ活ケテアル。ツイテ
 ナガラ幅ハ長尾雨山ノ書デアル。

柳絮飛来客未還

鶯花寂莫夢空殘

十千沾得京華酒

春雨闌干看牡丹

二十六日。昨夜冷ひやゝつこ奴ヲ食べ過ぎタノガ悪カツタト見エテ夜半ヨリ苦シミ出シ二三度下痢スル。エンテロビオフォルムヲ三錠服用シタガマダ止マラナイ。今日一日寝タリ起キタリシテ暮ラス。

二十九日。午後ヨリ颯子ヲ誘イ明治神宮方面ヘドライブスル。隙ヲ狙ツテ出タ積リダツタガ、ワタクシモオ供イタシマスト、看護婦ガ見ツケテ附イテ来タノデ一向面白クナイ。一時間足ラズデ忽々帰宅。……………

二日。数日前ヨリ又血壓ガ昇リ気味デアル。今朝八一八〇——

一一〇。プルス百。看護婦ニス、メラレテセルパシールニ錠アダ
 リン三錠飲ム。手ノ冷エ込ミト痛ミモマタ激シイ。可ナリ激シク
 テモソノタメニ寝ラレナイト云ウコトハメツタニナイノニ、昨夜
 ハ夜中ニ眼ガ覺メ、耐エ難イノデ佐々木ヲ起シ、ノブロンヲ注射
 シテ貰ウ。ノブロンハ利クコトハ利クケレドモ、アトノ氣持ガ不
 快デアアル。

「コルセツトト滑リ台ガ出来テ参リマシタカラ、思イ切ツテヤツ
 テ御覽ニナリマスカ」
 氣ハス、マナイガ、コノ調子デハ試験的ニシテ見ヨウカト云ウ氣
 ニモナル。

三日。……試シニ頸ノコルセツトヲ箆メテミル。石膏デ出来テ
イテ、頸カラ頤ヲ突キ上ゲルヨウニシテアル。箆メテモ痛イコト
ハナイガ、全ク首ヲ動かスコトガ出来ナイ。右ニモ左ニモ下方ニ
モ向ケル訳ニ行カナイ。ジツト正面ヲ視ツメタマヽデイナケレバ
ナラナイ。

「マルデ地獄ノ責メ道具ダナ」

日曜ナノデ、浄吉モ経助モ婆サンヤ颯子ト一緒ニ集ツテ見物シテ
イル。

「マア才爺チャン、可哀ソウニ」

「ソナ恰好ヲシテ何分グライ続ケルンデス」

「幾日グライヤレバイ、ノ」

「オ止メニナツタ方ガヨクハナイ？ 才年寄ニハ残酷ダワ」
 ミンナガ周リデガヤ／＼云ツテルノガ聞エル。振り向ケナイカラ
 顔ハ見エナイ。

結局コルセツトハ止メルコトニシ、滑り台ニ寝テ頸ノ牽引ダケヲ
 スルコトニスル。所謂グリソソソ氏式シユリングト云ウ奴デアル。
 最初ハ朝夕十五分ズツ。コレハコルセツトヨリ柔イ布デ頤ヲ吊ル
 ダケデアルカラ、コルセツトホド窮屈デハナイガ、首ヲ動力セナ
 イコトハ同ジデ、天井ヲ睨ンダマ、デアアル。

「ハイ、十五分経チマシタ」

看護婦ガ腕時計ヲ見ナガラ云ウ。

「第一回ノ終リ」

經助ガソウ云ツテ廊下ヲ驅ケテ行ツタ。

十日。牽引ヲ始メテ今日デー一週間デアル。ソノ間二十五分ヲ二十分ニ伸バシ、滑リ台ノ傾斜ヲヤ、急ニシテ頤ヲ一層引ツ張り上ゲルヨウニスル。シカシ少シモ効驗ガ現ワレナイ。手ノ苦痛ハ相變ラズデアル。看護婦ノ意見デハ、ヤツパリ二三カ月グライハ続ケナイト駄目カモ知レマセントノコト。予ニハソシテ辛抱ハオボツカナイ。夜、皆デ寄り〜相談スル。老人ニハコノ療法ハ無理デアルカラ兎ニ角暑中ハ見合ワセテ、何カ他ノ方法ヲ考エタ方ガイ、或ル外人ニ聞イタンデスガアメリカンフアーマシイニ神經痛ノ藥デドルシント云ウノガアルソウデス、根治スルコトハ出来ナ

イガ、三四錠ズツ一日二三四回服用スレバ必ズ痛ミダケハ取レル、奏効確實デアルト云イマスカラ買ツテ来マシタ、試シテ御覽ニナツタラト颯子ガ云ウ。婆サン曰ク、田園調布ノ鈴木サンニ鍼ヲシテ才貰イニナツタラドウ、鍼^デ直ルカモ知レナイカラ頼ンデ見タラト。婆サン電話口^デ長イ間シャベツテイル。鈴木氏曰ク、非常ニ忙シイノ^デ拙宅ヘオ越シ下サルコトヲ望ムガ、往診ノ場合ハ週二三回ニシテ戴キタイ、拜見シナケレバ分ラナイガ、オ話ノ様子^デハ多分治癒出来ルト思ウ、二三カ月ハカ、ル^デシヨウト。鈴木氏ニハ数年前ニ心臓ノ期外収縮ガ長ク続イテドウシテモ止マラナイ^デ困ツタ時ト、眼眩^{めまい}テ苦シンダ時ニ治癒シテ貰ツタ経験ガアル。依ツテ今回モ来週カラ来診ヲ乞ウコトニスル。

予ハ元來健康ナ體質デアツタ。少年時カラ六十三四ニ達スルマデハ、肛門周圍炎ノ手術デ一週間程度入院シタ以外、病氣ラシイ病氣ハシタコトガナカツタ。六十三四歳ノ時高血壓症ノ警告ヲ受ケ、六十七八歳ノ時輕微ナ腦溢血デ一カ月程寢タガ、肉体的苦痛ト云ウモノハ知ラナカツタ。ソレヲ知ツタノハ數年七十七歳デ喜寿ヲ祝ツテカラデアル。最初ニ左ノ手カラ肘、次イデ肘カラ肩、次ニ足カラ脚、脚ノ方ハ左右両方デ、日増シニ連動ノ自由ヲ缺クニ至ツタ。コンナ風デ何樂シミニ生キテルノカト、人モ思ウダロウシ、自分デモ思ウコトガアルガ、幸イト云ツテイ、ノカドウカ、不思議ナコトニ食慾ト睡眠ト便通トハ至ツテ満足ニ行ツテイ。アルコール類ト刺戟物ト塩カライ物トハ禁ジラレテイルガ、食慾

ハ常人以上デアル。ビフテキデモ鰻デモ過度ニナラナイ程度ナラ
 差支エナイトノコトナノデ、何デモオイシク食べテイル。睡眠モ
 常ニ寝過ギルホド寝、午睡ヲ合ワセレバ日ニ九時間カ十時間ハ寝
 ル。便通モ日ニ二回ハアル。従ツテ尿量ガ多ク、夜中ニ二回カ三
 回ハ起キルガ、ソノタメニ寝ソビレテ眼ガ冴エルナンテコトハ一
 度モナイ。半分夢ウツ、デ排尿シ、済マセレバ又直ググツスリ寝
 入ツテシマウ。手ノ痛ミデ眼ガ覚メルコトモタマニハアルガ大概
 半分ハ寝惚ケテイテ、痛イナト思イナガライツカ寝テシマウ。餘
 程痛イ時ハノブロンヲ射シテ貰ツテ又直グ寝ル。ソウ云ウコトガ
 出来ルノデ予ハ今日マデ生キテ来ラレタノデアル。サモナカツタ
 ラ疾ツクニ死ンデイタカモ知レナイ。

「手ガ痛イダノ歩ケナイダノト云イナガラ、結構生活ヲ享樂シテイラツシヤルジヤアリマセンカ。痛イナンテ嘘デシヨウ」

ト云ウ人モアルガ、嘘デハナイ。タゞ痛イノガ激シイ時トソウデナイ時トアリ、一定ノ状態デ持続セズ、全ク痛マナイ時モアル。

天候ヤ湿氣ノ加減デイロくニナルラシイ。

オカシナコトダガ、痛イ時デモ性慾ハ感ジル。痛イ時ノ方ガ一層感ジル、ト云ツタ方ガイ、カモ知レナイ。或ハ又痛イ目ニ遇ワセテクレル異性ノ方ニヨリ一層魅力ヲ感ジ、惹キツケラレル、ト云ツタ方ガイ、カ。

コレモ一種ノ嗜虐的傾向ト云エバ云エヨウ。若イ時カラソウ云ウ傾向ガアツタトハ思ワナイガ、老年ニ及ンデダンくトコンナ工

合ニナツテ来タ。

コ、ニ同程度ニ美シイ、同程度ニ予ノ趣味ニ叶ツタ異性ガ二人イ
ルトスル。Aハ親切デ正直デ思イ遣リガアリ、Bハ不親切デ嘘ツ
キデ人ヲ欺スコトガ上手ナ女デアルトスル。ソノ場合トチラニ餘
計惹カレルカト云エバ、近頃ノ予ハAヨリBニ惹カレルコトハ先
ズ確カデアル。但シ美シサニ於テAヨリBガ少シデモ劣ツテイタ
ノデハイケナイ。美シサト云ツテモ予ニハ予ノ好ミガアルカラ、
顔ヤ体ノ種々ナ点ガソレラニ合致シテイナケレバ駄目ダ。予ハ鼻
ガ長クテ高スギル顔ハ嫌イダ。何ヨリモ足ガ白クテ、華奢デア
ルコトガ必要ダ。ソノ他サマ／＼ナ美点ガ相互ニ等シイ場合、悪
イ性質ノ女ノ方ニ餘計魅セラレル。時ニ依ルト顔ニ一種ノ殘虐性

ガ現ワレテイル女ガアルガ、ソんなノハ何ヨリ好キダ。ソんな顔
ノ女ヲ見ルト、顔ダケデナク、性質モ残虐デアルカノヨウニ思イ、
又ソウデアアルコトヲ希望スル。昔ノ沢村源之助ノ舞台顔ニハソノ
感ジガアツタ。フランス映室ノ「悪魔ノヨウナ女」ノ中ノ女教師
ニナツタシモン・シニヨレノ顔、近頃評判ノ炎加世子ノ顔等モ
ソウダ。コレラノ婦人達ハ實際ニハ善良ナ婦人ナノカモ知レナイ
ガ、モシ本当ニ悪人デアリ、ソレト同棲——ハ出来ナイマデモ、
セメテ身近ニ住ミ、接近スルコトガ出来タラドンナニ幸福デアロ
ウカト思ウ。……………

十二日。……………悪イ性質ノ女デモ、ソノ悪サガ露骨ニ見エルノハ

イケナイ。悪ケレバ悪イホド伶俐デアルコトガ必須条件デアル。悪サニモ限度ガアリ、盜癖、殺人癖等ハ困リモノダケレドモ、ソレモ一概ニハ云エナイ。予ハコノ女ハ枕サガシダト分ツテモ、却テソノタメニ興味ヲ惹カレテ、枕サガシヲ承知ノ上デ關係ヲ結ブ、ソノ誘惑ニ抗シカネルヨウナ氣ガスル。

大学時代ノ予ノ同窓ニ山田湿ト云ウ法学士ガアツタ。大阪ノ市役所ニ勤メテ、疾ウニ故人ニナツタガ、コノ男ノ父ハ古イ弁護士カ代言人デ、明治初年ニ高橋才伝ノ弁護ヲ勤メタコトガアツタ。ソシテ悴ノ湿ニシバく才伝ノ美シサニツイテ語ツタコトガアルソウダ。ナマメカシイト云ツタライ、ノカ、色ツポイト云ツタライ、ノカ、己ハ今マデニアンナ妖艶ナ女ヲ見タコトガナイ、妖婦ト

云ウノハ正シクアンナ女ノコトヲ云ウンダロウナ、アンナ女ニナ
ラ殺サレタツテイ、ト思ツタト、湿ノ父親ハイツモ悴ヲ摑マエテ
ヨク／＼感ニ耐エタヨウニ云イ暮ラシタソウダ。予ハコレ以上生
キナガラエテイタトコロデ格別ノコトモナイノダカラ、モシ今ノ
世ニオ伝ノヨウナ女ガ現ワレタラ、ムシロソノ女ノ手ニカ、ツテ
殺サレタ方ガ幸福カモ知レナイ。少クトモコンナ生殺シノヨウナ
手足ノ痛ミヲ忖エナガラ生キテイルヨリ、ヒト思イニ残酷ナ殺サ
レ方ヲシテ見タクモアル。

予ガ颯子ヲ愛スルノハ、彼女ニイクラカソンナ幻影ヲ感ズルセイ
デアロウカ。彼女ハチヨット意地ガ悪イ。チヨット皮肉デアアル。
ソシテチヨット嘘ツキデアアル。姑ヤ義理ノ姉妹達トアマリ折り合

イガ良クナイ。子供ニ対スル愛情ガ薄イ。結婚シタテハソレホドデモナカツタノダガ、コノ三四年目立ツテソナ風ニナツタ。コレハ幾分予ガケシカケテ、左様ニシムケタ気味合イモアル。彼女ハ本来ソナニ悪イ性質デハナイ。今デモ本心ハ善良ナノデアロウガ、イツノマニカ偽悪趣味ヲ覚エ、ソレヲ自慢ニスルヨウニナツタ。ソウシタ方ガコノ老人ノ氣ニ入ルコトヲ看テ取ツタカラデアロウ。予ハ何故カ実ノ娘達ヨリモ彼女ノ方ヲヨリ多ク可愛ガリ、彼女ガ彼女達ト仲良クスルノヲ好マナイ。彼女ガ彼女達ニ意地悪ヲスレバスルホド彼女ニ魅セラレル。コンナ心理状態ニナツタノハ最近デアルガ、ソレガマス／＼極端ニナリツゝアル。病苦ヲ懐エルト云ウコトガ、正常ナ性ノ快樂ガ享受出来ナイト云ウコトガ、

人間ノ根性ヲ斯クモヒネクレサセルノデアロウカ。ソウ云エバ、先日家庭内デコンナイザコザガアツタ。

経助ハ既ニ七歳ニナリ小学一年生ニナルノニ、ソノ後アトガ生レナイ。コレハ颯子ガ不自然ナ方法デ生マナイヨウニシテルノデハナイカ、ドウモソウラシイト云ウ疑イヲ、婆サンハ抱イテイルノデアル。予モ恐ラクソウデハナイカト、心中デハ思ツテイルノダガ、ソナコトハナイダロウト、婆サンノ前デハ否定シテイタ。婆サンハ溜リカネテソノコトヲ浄吉ニ訴エルコト再三ニ及ンダラシイガ、

「ソナコトハアリマセンヨ」

ト、浄吉ハ笑イニマギラシテ相手ニシナイ。

「キツトソウニ違イナイヨ、アタシニハチャント分ツテイマス」

「アハハハハ、ソナラ颯子ニ聴イテ御覧ナサイ」

「笑ウ人ガアリマスカ。コレハ真面目ナ話デスヨ。オ前サンガ颯子ニ甘スギルノガイケナインダヨ、スツカリ舐メラレテルンダカラ」

トウ／＼浄吉ニ呼ビツケラレテ颯子が婆サンニ弁明スル段ニナツタ。トキ／＼颯子ノ甲高イ声ガ洩レタ。一時間ホド揉メテイタガ、シマイニオ爺チャン、チョットイラシツテ下サイト、婆サンガ予ヲ呼ビニ来タ。シカシ予ハ行カズニシマツタノデ、委シイ様子ハ知ラナイガ、アトデ聞クト、餘リ嫌味ヲ云ワレタノデ却テ颯子が反撃シタ。

「ワタクシハソソナニ子供ガ好キジャゴザイマセンノ」

トカ、

「死ノ灰ガ降ルツテ云ウノニ沢山生ンダツテ仕様ガナイジャアリマセンカ」

トカ云ツタリシタ。婆サンモナカ／＼負ケテハイズ、才前サンハ御亭主ノコトヲワタシノ蔭デハ「浄吉々々」ト呼ビ捨テニシテル。 ज्याナイカ、浄吉モ才前サンノコトヲワタシノ前デハ「才前」ト云ツテイルケレド、外ノ人ノ前デハ「君」ト云ツテイル。 ज्याナイカ、アレモ才前サンガ亭主ニソウ云ワセテイルンダロウト、飛ンダトコロヘ議論ガ脱線シテ果テシガツカナイ。モウソウナルト婆サンモ颯子モイキリ立ツテ、浄吉デハ手ガツケラレナイ。

「ソんなニワタクシドモガ嫌イナラ、イツソ別居サセテ戴キマシヨウヨ。ネエアナタ、ソウシヨウジヤナイノ」

ソウ云ワレルト婆サンハ二ノ句ガ継ゲナイ。トテモソんなコトヲ予ガ許ス筈ガナイコトヲ、婆サンモ颯子モ知ツテイルカラデアル。「才爺チャンノオ世話ハ、才婆チャント佐々木サンニオ願イスレバイ、ジヤナイノ。ネエアナタ、ソウシマシヨウヨ」

婆サンガスツカリ凹ンダノヲ見テ、颯子ガイヨ〜、凶ニ乗ツテ云ツタ。ソレデ結着ガツイテシマツタ。見テイタラサゾ面白カツタロウト、予ハアトデ残念ニ思ツタ。

「モウ入梅モ明ケルンデシヨウネ」

ト、今日モ婆サンガ這入ツテ来タ。先日ノ諍いさかいガマダ頭ニ残ツテイ

テ、少シイツモヨリ萎しよゲテイル。

「今年ハソノ割ニ雨ガ降ラナカツタジヤナイカ」

「モウ今日ハ草市デスヨ。ソレデ思イ出シタンデスガ、才墓ノコトハドウナサルノ」

「ソウ急グコトハナイサ。己ハコノ間モ云ツタ通り、自分ノ墓ハ東京ノ墓地デハ嫌ダ。己ハ江戸ツ子ダガ、近頃ノ東京ハ好キジヤナインダ。東京ニ墓ナンカ作ツタラ、ドンナ時ニドンナ都合デドンナ所へ移転サセラレルカ分ツタモンジヤナイ。多磨墓地ナンテ東京ノ感ジガシナイ。アンナ所ニ埋メラレタクナインダ」

「ソレハ分ツテマスケレド、京都ニナサルニシタツテ、来月ノ大文字マデニハ決メルツテオツシヤツテタデシヨウ」

「マダーカ月アルンダカライ、サ。浄吉ニデモ行ツテ貰ウサ」

「御自分デ御覧ニナラナクツテモイ、ンデスカ」

「コノ暑イノニコノ体デハ行ケソウモナイ。オ彼岸マデ延バスコトニシヨウカ」

予等夫婦ハ二三年前ニ戒名ヲ附ケテ貰ツタ。予ノ戒名ハ琢明院遊觀日聰居士、婆サンノ戒名ハ静院院妙光日舜大姉デアルガ、予ハ日蓮宗ガ嫌イナノデ、浄土カ天台ニ変エタイト思ツテイル。日蓮宗ガ嫌イデアル主ナ理由ハ、佛壇ニ、頭ニ綿帽子ヲ載セラレタ泥人形ノヨウナ日蓮上人ノ像ガ飾ツテアツテ、ソレヲ拝マセラレルカラダ。出来レバ京都ノ法然院カ真如堂アタリヘ埋メテ貰イタイ。

「只今」

ト云ツテ、ソコへ颯子ガ這入ツテ来タ。午後五時頃デアル。バツ
 タリ婆サント出会ツタノデ、コレモ特別ニ馬鹿丁寧ナオ辞儀ヲシ
 テイル。婆サンハ直グ姿ヲ消シタ。

「今日ハ朝カライナカツタネ、ドコへ行ツテタンダ」

「方々買イ物ヲシテ廻ツテ、春久サントホテルノグリルデ食事ヲ
 シテ、エトランゼデ服ノ仮縫イヲシテ、ソレカラ又春久サント落
 ち合ツテ有楽座デ『黒イオルフェ』ヲ見タリシテ……」

「右ノ腕ガエラク日焦シひやけテイルネ」

「コレハ昨日逗子ヘドライブシタモンデスカラ」

「ヤハリ春久ト一緒カネ」

「エ、ソウ、春久サンハ駄目ナンデ、往復トモアタシガ運転サセ

ラレチャツタノ」

「一カ所ダケ焦ケテルト白イノガ特ニ目立ツネ」

「右側ニハンドルガ附イテルカラ、一日乗り廻ストコウナルノヨ」

「少シ上^の氣セタヨウナ顔ヲシテルネ、興奮シテル見タイダナ」

「ソウカシラ。マサカ興奮モシナイケド、ブレノ・メロハチヨツト良カツタワ」

「何ダネ、ソレハ」

「『黒イオルフエ』ノ黒人ノ主役ヨ。ギリシャ神話ノオルフエノ伝説ヲモトニシテ、リオ・デ・ジャネイロノカーニヴァルノ時ノ黒人ヲ主役ニシテ作ツタ映畫ナノ。ミンナ黒人ノ俳優バカリ使ツテアルノ」

「ソレガソソナニイ、ノカネ」

「ブレノ・メロツテノハサツカーノ選手上リデ、素人ナンデスツテ。映畫デハ都電ノ運転手ニナツテルノ。運転シナガラトキ、
 \往来ノ女ノ子ヲ見テウインクスルノ。ソノウインクガ凄クイカ
 スノヨ」

「己ガ見タツテ面白クモナサソウダナ」

「アタシノタメニ見テ下サラナイ？」

「オ前ガモ一度連レテツテクレルカ」

「アタシガオ供スレバ見テ下サル？」

「ウン」

「エ、何デモ。——ト申シマスノハネ、アノ顔ヲ見テルト、

昔アタシガ最頂ニシテイタレオ・エスピノザヲ思イ出スンデスノ」

「又変ナ名前ガ出テ来タジヤナイカ」

「エスピノザツテノハフライ級世界選手権ノタイトル・マツチニモ出タコトノアル、フィリッピンノボクサーナノ。ヤツパリ黒人デ、ブレノ・メロホド美男ジヤナイケレド、ドコカ感じガ似テルノヨ。ウインクスル時ノ感じガ殊ニ似テルワ。今モエスピノザハイルケレド、モウ昔ホド良クハナイノ。昔ハホントニヨカッタワ。アタシアレヲ思イ出シチャッタワ」

「ボクシングハタツターペンシカ見タコトガナイナ」

コ、へ婆サント看護婦トガ滑リ台ノ時間ガ来タコトヲ知ラセニ来タノデ、颯子ハ一層面当ガマシク誇張的二話シ出シタ。

「エスピノザハセブ島ノ黒人デ左ストレートガ得意ナノ。左ノ腕ガ真ツ直グニ伸ビテ、敵ヲ打ツト直グ又ソノ腕ヲ引ツ込メル。ソノシユツ、シユツト、伸ビタ腕ヲ引ツ込メル早サト云ツタラナイノ。シユツ、シユツ、ト、トテモ美シイノヨ。攻撃ノ際ニピュー、ピューツトロヲ鳴ラス癖ガアツテ。相手ノストレートガ這入ルト、普通ハ上体ヲ右カ左ヘウイーピングスルンダケレド、エスピノザハ上体ヲグツト後口ニ反ラセルノ。体ガ妙ニ柔軟ナ感ジガスルノヨ」

「ハ、ア、オ前ガ春久ヲ轟負ニスルノハ、色ノ黒イトコロガ黒人ニ似テルカラダナ」

「春久サンハ胸毛ガ一杯生エテルケレド、黒人ハ毛ガ少イワ。ソ

レデ全身ニ汗ヲ搔クト、肌ガツル／＼ニ光ツテ非常ニ魅力的ニナルノヨ。アタシ、才爺チャンヲ是非一ペンボクシングニ引ツ張ツテ行クワ」

「ボクサーニハ美男ハ少イダロウナ」

「鼻ガ潰レテル人ガ多イワ」

「レスリングトドツチガイ、カナ」

「レスリングハ多分ニシヨウ的デ、ムヤミニ血ダラケニナツタリスルケレド、真剣味ガ乏シイワ」

「ボクシングダツテ血ガ出ルンダロウ」

「エ、ソリヤ出ルワヨ。口ヲ打タレテ血ダラケニナツテマウスピースガ三ツニ割レテ飛ンダリスルワ。ダケドレスリングノヨウ

ニワザトジヤナイカラ、アンナニ沢山ハ出ナイワ。大概ヘツデイングト云ツテ、頭ガ相手ノ顔ノドコカニ打ツカツテ出ル場合ガ多イワ。ソレカラ瞼ガ切レル場合」

「若奥様ハソソナノヲ見ニイラツシャルンデスカ」

ト、佐々木ガ口ヲ挟ンダ。婆サンハサツキカラ呆レテ突ツ立ツタキリデアル。今ニモ逃ゲ出シソウニシテイル。

「アタシバカリジヤナイ、女ガ沢山見ニ来テルワ」

「ワタクシダツタラ氣絶シチマイマスワ」

「血ヲ見ルト多少興奮スルワネ。ソレガ又愉快ナノヨ」

予ハコノ話ノ途中カラ左手ガヒドク痛ムヨウニ感じ始メタ。而モ痛ムノニ溜ラナイ快感ヲ覺エ出シタ。颯子ノ意地ノ悪ソウナ顔ヲ

見ルト、イヨく痛ミガ増シ、イヨく快味ガ増シタ。……

2

十七日。昨夜孟蘭盆うらノ送り火ヲ済マスト間モナク颯子ハ出カケテ
 行ツタ。夜ノ遅イ急行デ京都ヘ行キ、祇園会ヲ見物スルノダト云
 ウ。コノ暑イノ二御苦勞ナコトダガ、春久ガ御祭ヲ撮影スルノダ
 ト云ツテ昨日カラ行ツテイルノデアル。テレビノ一行ハ京都ホテ
 ル、颯子ハ南禅寺ニ泊リ、二十日ノ水曜ニ帰ルト云ツテイル。五いっ
 子トウマク行ク筈ガナイカラ、ドウセホンノ泊メテ貰ウダケダロ
 ウ。……

「輕井沢へハイツイラツシヤルノ。子供達ガ来ルトウルサクナリ
 マスカラ、早イ方ガヨゴザンスヨ」

ト、婆サンガ云ウ。

「二十日ガ土用ノ入りデスツテ」

「ドウシヨウカナ、今年ハ。——去年ミタイニ長クイルノハ退
 屈ダナ。二十五日ニ実ハ颯子ト約束ガアルンダ。後樂園ジムニ全
 日本フライ級タイトルマツチガアルンダ」

「年寄ノ冷水ネ、ソナ所へ出カケテ行ツテ怪我デモナサラナケ
 レバイ、ガ」

二十三日。……………日記ヲ書クト云ウコトハ、書クコト自身ニ興味

ガアルカラ書クノデアル。誰ニ読マセルタメデモナイ。視力ガ恐シク衰エタノデ、読書モ思ウニマカセズ、他ニ消閑ノ法モナイカラ、ヒマツブシニイクラデモ書ク氣ニナル。読ミ易イヨウニ毛筆デ大キナ文字デ書ク。人ニ読マレテハ困ルカラ手提金庫ニ入レテアル。金庫ガモウ五箇ホドタマツタ。イズレハ焼イテシマツタ方ガイ、ト思ウガ、遺シテ置クノモ悪クハナイ。時々前ノ日記ヲ取り出シテ見ルト、ヒドク忘レツポクナツテイルノニ驚ク。一年前ノ出来事ガマルデ新シイ事実ノヨウニ感ゼラレ、興味津々盡キルトコロヲ知ラナイ。

去年ノ夏軽井沢へ行ツテイタ留守ニ寢室ト浴室ト便所トヲ作り直サセタコトガアツタ。イクラ忘レツポイト云ツテモ、コノコトハ

ヨク覚エテイル。シカシ去年ノ日記帳ヲ繰ツテ見ルト、コノ出来事ノ記載ガ詳細ヲ缺イテイル。今日ハコノコトヲ少シ委シク書キ留メル必要ガ起ツタノデ、モウ一度コヽニ記ス。

去年ノ夏マデハ、予等夫婦ハ同ジ日本間ノ部屋ニ枕ヲナラベテ寝テイタガ、去年日本間ヲ板敷ニシテベツドヲ二台据エタ。ソシテ一台ハ予ノベツド、他ノ一台ニハ佐々木看護婦ガ寝ルコトニナツタ。婆サンハソレ以前カラモ時々自分ダケ茶ノ間デ寝テイタガ、ベツドニシテカラハ完全ニ別レヽニ寝ルヨウニナツタ。予ハ早寝早起キデ、婆サンハ寝坊デ宵ツ張りデアル。予ハ洋式便所ヲ可トスルノニ、婆サンハ日本式デナケレバ困ルト云ウ。ソノ他イロヽ醫師ヤ看護婦ノ便宜ナドモ慮ツタ結果デアル。ソレデ寢室ノ

右側ニ接シテイタ老夫婦専用ノ便所ヲ、予専用ノモノトシテ椅子式ニ改良シ、寢室ト便所トノ境界ノ壁ヲ削リく抜イテ、廊下へ出ナイデモ行ケルヨウニ、行ケくニシタ。寢室ノ左隣ハ浴室デアアル。コレモ去年大改造ヲ施シ、水槽カラ何カラ何マデタイル張りニシ、シャワーノ設備ヲシタ。コレハ専ラ颯子ノ註文ニ依ツタノデアアル。ソシテ浴室ト寢室ノ間モ行ケくニシタガ、コレハ必要ニ応ジテ浴室ノ内部カラ締マリガ出来ルヨウニシテアル。

ツイデニ記スト、便所ノ右隣ガ予ノ書斎（コノ間モ行ケくニシテアル）、ソノ右ガ看護婦ノ部屋。看護婦ガ予ノ隣ノベッドニ寝ルノハ夜間ダケデ、晝間ハ普通自分ノ部屋ニイル。婆サンハ夜モ晝モ廊下ヲ曲ツタ茶ノ間ノ方ニ引ツ込ンデイテ、殆ド一日テレビ

ヤラジオヲ聞イテイル。用ガナケレバメツタニ出テ来ナイ。浄吉夫婦ト経助ノ寢室ヤ居間ハ二階デアル。別ニ泊リ客ノタメニ寢室附キノ部屋ガ一ト間アル。若夫婦ノ居間ハ可ナリ豪華ニ飾ツテアルラシイガ、階段ノ中途ガ螺旋ニナツテイルノデ、足モトノ悪イ予ハタマニシカ上ツタコトガナイ。

浴室ヲ改造スル時ニ、チョツト悶着ガアツタ。婆サンハ、浴槽ハ木製ニ限ル、タイルデハ冷メ易ク、冬ハツメタクテイケナイト云ウ説デアツタガ、コレモ颯子ノサジエツシヨンニ従ツテ（婆サンニハ颯子ノ意見ト云ウコトヲ内證ニシテ）タイルニシタ。ケレドモコレハ失敗ダツタ。——イヤ、結局ハ成功ダツタノカナ。——

——ト云ウノハ、タイルニシテ見タラ濡レテイル時ツル／＼滑リ

易クツテ、老人ハ危クテ仕方ガナイ。婆サンモーペン流シ場デスツテンコロリト鮮カニ転ンダ。予モ浴槽デ足ヲ伸バシテイテ、急ニ起キ上口ウトシテ浴室ノ縁ニ手ヲカケタラ、手ガ滑ツテ起キラレナイ。予ハ左ノ手ガ利カナイノデ、コウ云ウ時ニ寔ニ不便ダ。流シ場ニハ木製ノ下司板げすいたヲ敷クコトニシタガ、浴槽ハイカントモスル訳ニハ行カナイ。

トコロデ昨夜コンナコトガアツタ。

佐々木看護婦ハ子持チナノデ、月ニ一二回子供ノ顔ヲ見ルタメニ子供ヲ預ケテアル親戚ノ家ニ泊リニ行ク。夕刻カラ出カケテ一泊シテ、翌日午前中ニ戻ツテ来ル。佐々木ノイナイ夜ハドウスルカト云ウト、婆サンガ代リニ佐々木ノベッドニ寝ルコトニシテアル。

予八十時ニハ寢ル習慣デ、寢ル直前ニ入浴シ、浴後直チニ寢室ニ入ル。但シ入浴ノ助手ハ、婆サンハ転ンデカラ以後勤メナイノデ、颯子カ女中ガ勤メルノデアルガ、佐々木ノヨウニ上手ニ親切ニハ助ケテクレナイ。颯子ハ支度ダケハ甲斐々々シイガ、離レタトコロカラ見テイルダケデ、ロクニ何モシテクレナイ。スポンジ^{スポンジ}デ背中ヲザツト流スクライガ関ノ山デアル。湯カラ上ルト、ウシロカラタオルデ拭キ、ベビーパウダー^{ベビーパウダー}ヲ振りカケ、扇風機ヲカケテクレルガ、決シテ前ハ廻ラナイ。ソレガタシナミノカ、気味ガ悪イセイナノカ、ドツチダカ分ラナイ。ソシテ最後ニバス^{バス}ローブヲ着セテクレテ、予ヲ寢室ハ押シ込ンデカラ、自分ハ廊下ヘ出テ行ツテシマウ。アトハ才婆チャンノ才役目デ、ワタクシノ係リデ

ハゴザイマセント、云ワンバカリデアル。予ノ心中ハ、タマニハ寢室モ彼女ガ勤メテクレルコトヲ望ンデ已マナイノデアルガ、婆サンガ待チ構エテイルセイカ、颯子ハ殊更ソツケナクスル。

婆サンダツテ、他人ノ寢台ノ上ニ寢カサレルコトヲ喜ンデハイナイ。シーツト掛ケ布団ヲスツカリ取り替エテ、気味悪ソウニ横ニナル。婆サンモ年ノ加減デ尿ガ近イノデアルガ、洋式便所デハ出ルモノガ出ナイト云ツテ、夜中二三回遠クノ日本便所へ通ウ。オ蔭デ一ト晩ジユウ満足ニ寝ラレナイト云ツテコボス。イズレ近イウチニ、佐々木ノ留守ノ夜ハ颯子ガ勤メルヨウニナルト、予ハヒソカニ期待シテイル次第デアル。

今日ハ偶然ニソウナツタノデアルガ、午後ノ六時ニ今夜ハ才暇ヲ

戴キマスと云ツテ、佐々木ガ子供ノ所へ行ツタ。スルト、夕食ヲ
済マシタアトデ、婆サンガ急ニ氣分ガ悪クナツテ茶ノ間デ臥テシ
マツタ。自然入浴ト共ニ寢室ノ役目ガ颯子ニ廻ツタ。入浴ノ助手
ヲスル時、彼女ハブリユウデエツフエル塔ノ模様ノ附イタポロシ
ヤツヲ着テ、膝ノトコロマデノトレアドルパンツヲ穿イテイルノ
ガ、素晴ラシクスツキリト意氣ニ見エタ。心ナシカ、イツモヨリ
念入りニ流シテクレルヨウナ氣ガシタ。首ノ周リダノ肩ダノ腕ダ
ノ、トコロノ〃ニチヨイ〜手ガ触ツタ。予ヲ寢室ニ送り込
ンデシマウト、

「今スグ来マスカラ、チヨット待ツテ、ネ。アタシモシヤワーヲ
浴ビマスカラ」

ト、自分ダケ浴室へ引ツ返シタ。予ハ三十分グライ一人デ寢室ニ待タサレテイタ。予ハ妙ニ落チ着カナイデ、寢台ニ腰掛ケテイタ。ト、ヤガテ彼女ハ行ケ〜ノ戸口カラ現レタガ、今度ハ鮭色ピンクノサツカーノガウンヲ着テ、支那製ラシイ牡丹ノ刺繡ノアル繻子ノ室内履ヲ穿イテ来タ。

「オ待チ遠サマ」

彼女ガ這入ツテ来ルト同時ニ廊下ノドアガ開イテ、女中ノオ静ガ二段ニ畳マレル籐椅子ヲカツギ込ンデ来タ。

「オ爺チヤン、マダオ休ミニナラナインデスカ」

「今寝ルトコロダ。君ハソソナモノヲ担ギ込マセテドウスルンダ」
予ハ婆サンノイナイ所デハ、颯子ノコトヲ「オ前」ト呼ンダリ

「君」ト呼ンダリスル。特ニ意識シテ「君」ト呼ブ場合ガ多イ。自分ノコトハ「己」ト云ツタリ「僕」ト云ツタリスルガ、二人キリノ時ハ自然「僕」ガ出ル。颯子ノ方モ二人キリダト変ニ言葉ガゾンザイニナル。ソレガ却テ予ヲ喜バス所以デアアルコトヲ心得テイル。

「才爺チャンハ早寝ダケレド、アタシハ当分寝ラレナイカラ、コレニ腰掛ケテ本デモ読ムワ」

彼女ハ籐椅子ヲ二段ニ伸バシテ長椅子ニシ、ソレニ臥コロンデ持ツテ来タ本ヲ廣ゲタ。何カフランス語ノ教科書ラシイ。電燈ノスタンδροヲ、予ニ光線ガ当ラヌヨウニ覆イヲ懸ケテイル。彼女モ佐々木ノベッドヲ嫌ツテ、長椅子デ寝ル積リナノデアロウ。

彼女ガ横ニナツタノデ、予モ横ニナツタ。予ノ寢室ニハ極メテ微カニ、手ニ痛ミヲ与エナイ程度ニ冷房ガ施シテアル。コノ数日来アマリ蒸シ暑ク、湿氣ガ多イノデ、空氣ヲ乾燥サセルタメニモ冷房シタ方ガイ、ト、醫師ヤ看護婦ガ云ウノデアル。予ハ寢タフリヲシナガラ、颯子ノガウンノ端カラ覗イテイル支那履ノ小サク尖ツタ尖端ヲ見テイタ。コンナニ繊細ニ尖ツタ足ハ日本人ニハ珍シイ。

「才爺チャン、マダ起キテラツシヤルノネ、鼾ガ聞エテ来ナイワ。オ休ミニナルト直グ聞エテ来ルツテ、佐々木サンガ云ツテタケド」
 「今日ハドウシタノカ寝ツキガ悪イ」
 「アタシガ傍ニイルカラジヤナイ？」

答エズニイルト、クスツト笑ツタ。

「興奮ナスツタラ毒ヨ」

ソシテ又云ツタ。

「興奮サセルトイケナイカラ、アダリンヲ飲マセタゲマシヨウカ」
颯子が予ニコウ云ウ種類ノコケトリーヲ云ウノハ始めテデアル。

予ハソノ言葉ノタメニ興奮ヲ感ジタ。

「マサカソレニハ及バンサ」

「イ、ワヨ、飲マセタゲルワヨ」

彼女ガ薬ヲ取りニ出テ行ツタ間ニ、予ハ又一ツノ樂シミヲ考エツ
イタ。

「サア、飲マセチャウ、二錠グライデイ、カ知ラ」

左ノ手ニ小皿ヲ持チ、右手デアダリンノ容器カラ二錠ヲ皿ノ上ニ落スト、次ニ浴室カラコップニ水ヲ運ンデ来タ。

「サア、ロヲアーント開ケテ。アタシガ飲マセタゲルンダカライ、ジャナイノ」

「皿ナンカニ載セナイデ、君ノ手デ摘マンデ入レテクレナイカナ」
 「ジャ、チョット手ヲ洗ツテ来ルワネ」

又浴室へ這入ツテ出テ来タ。

「水ガ零こぼレルヨ、ツイデノコトニ口移シニシテクレナイカナ」

「駄目々々、凶ニ乗ツチャ駄目」

パット予ノ口ノ中へ二錠、素早ク放リ込ンデ器用ニ水ヲ注ギ入レタ。予ハ薬ガ利イタト見セカケテ寝タフリヲスル積リダツタガ、

ツイ本當ニ寝テシマツタ。

二十四日。夜中二時頃ト四時頃ニ便所へ行ツタ。颯子ハ果シテ籐椅子ニ寝テイタ。フランス語ノ本ヲ床ニ落シテ、スタンドヲ消シテアツタ。予モアダリンノ利キ目デ、二度便所へ行ツタコトヲ辛ウジテ記憶シテイル。朝ハ常ノ如ク六時ニ眼覚メタ。

「モウ才眼覚メ？」

朝寝坊ノ彼女ハ当然マダ寝テイルコト、思ツタラ、予ガ身動キヲシタ途端ニ上半身ヲ跳ネ起シタ。

「何ダ、モウ起キテタノカ」

「アタシコソ昨夜ハ寝ラレナカッタワ」

予ガ窓ノブライ^ンドヲ上ゲルト、寢起キノ顔ヲ見ラレタクナイラシク、慌テ、浴室へ逃ゲテ行ツタ。……………

午後二時頃、予ガ書齋カラ寢室ニ戻ツテ約一時間午睡ヲシ、マダボンヤリトベツ^トドノ中デ眼ヲ開ケテイル時、突然浴室ノ戸ガ半分ホド開イテ颯子ノ首ガ此方へ出タ。首ダケデ他ノ部分ハ見エナイ。ビニールノ帽子ヲ被ツタ顔ガ頭カラビシヨ^クニ濡レテイル。シヤワーノ音ガシャー^ク聞エル。

「今朝ホドハ失礼。今浴ビテルトコロナノ、チヨウドオ晝寢ノ時分ダト思ツテ覗イテ見タノ」

「今日ハ日曜ダツタツケナ、浄吉ハイナイノカ」
ソレニハ答エナイデ別ナコトヲ云ツタ。

「アタシシヤワーノ時ダツテ、コヽヲ締メタコトハ一度モナイノヨ。イツモコヽハ開ケラレルノヨ」

予ノ入浴ハ午後九時過ギニ決マツテイルカラ、ト云ウ意味ナノカ、予ヲ信用シテイルカラト云ウノカ、見タケレバ見セタゲルカラ這入ツテラツシヤイト云ウノカ、老イボレ爺サンノ存在ナンカ全然問題ニシテナイト云ウノカ、何ノタメニワザ々ソナナコトヲ断ルノカ分ラナイ。

「浄吉ハ今日ハイルノヨ、今夜庭デバーベキューヲスルト云ツテ騒イデルノ」

「誰カ来ルノカ」

「春久サント甘利サント、辻堂カラモ誰カ来ルラシイワ」

陸子ハアレ以来当分来ル筈ガナイ。来ルトスレバ子供達ダケダロ
ウ。

.....
.....
.....

二十五日。昨夜ハ大失敗ヲシタ。庭^テバーベキューガ始マツタノ
ハ夕刻六時半頃ダツタガ、賑カデ景氣ガヨサソウナノデ、予モツ
イ若イ者タチノ中ヘ参加スル氣ニナツタ。今時分カラ芝生ノ上ニ
坐ツタリシテ、冷エルトイケナイカラオ止シナサイト、婆サンハ
頻ニ止メタガ、

「才爺チヤン、チヨツトイラツシヤイヨ」

ト、颯子ガス、メタ。予ハ彼等ノ貪ル羊ノ肉ダノチキンノ手翹てばナドニハ一向食慾ヲ感ジナイノデ、ソシテモノヲ喰ウ積リハナカッタ。実ハソレヨリモ、春久ト颯子トガドンナ工合ニ接触スルカ、ソノ様子ガ見タカツタノデアルガ、まじい団欒ノ中ニ加ワツテカラ三四十分モシタ時分、次第ニ脚カラ腰ノ周リガ冷エテ来ルノニ心ツイタ。婆サンカラアンナ注意ヲ受ケタタメニ、却テ神経質ニナツテ、氣ニシテイタセイデモアル。婆サンニ聞イタト見エテ、ヤガテ佐々木マデ心配ソウニ庭へ出テ来テ警告シタ。ソウナルト予ハイツモノ癪いデ依怙こじ地ニナリ、直グニハ立上ロウトシナイ。シカシマス〜冷エテ来ルノガ感ジラレタ。婆サンハコンナ時ハ心得テイ

ルノデ、決シテ執拗しつこクハ注告シナイ。佐々木ガヒドク心配スルノ
 デ、又三十分ホド粘ねばツテカラ漸ク立チ上ツテ部屋ニ歸ツタ。

ダガソレダケデハ濟マナカツタ。今曉二時頃、予ハ尿道ガ非常ニ
 ムズ痒イノデ眼ヲ覺マシタ。急イデ便所ニ走り、排尿シテ見ルト、
 尿ガ牛乳ノヨウニ白濁シテイル。ベツトニ戻ツテ十五分モ経ツト
 又尿ヲ覺エル。ムズ痒サモ止マラナイ。コンナコトヲ繰リ返スコ
 ト四五回ニ及ンダガ、佐々木ガシノミンヲ四錠ス、メ、尿道ヲ湯
 タンポデ温メテクレタノデ、ヤツト鎮マリカケル。

数年前カラ予ニハ前立腺（青年時代花柳病ヲ患ツタ頃ニハ摂護腺
 ト呼ンダモノダガ）肥大症ガアリ、トキ／＼残尿ガ溜ツタリ、
 尿ガ出ナクナツテカテーテルヲ導尿シタリシタコトガ二三回アル。

尿閉ハ老人ニハシバく起ル現象ダソウダガ、平生デモ一回ノ排尿ニ時間ガカゝリ、劇場ノ便所ナドデ人ガ大勢ウシロニ列ンデ待ツテイラレルト甚ダ困ル。前立腺肥大ノ手術ハ七十五六歳マデハ可能デアルカラ、思イ切ツテシテ才貰イナサイ、手術シタ後ノ快感ハ何トモ云エナイ、若イ時ノヨウニ尿ガシャーくト音ヲ立テゝ走ツテ出マス、モウ一度青春時代ニ戻ツタ氣ガシマスト、ソウ云ツテクレタ人モアツタガ、困難デ不愉快ナ手術ダカラオ止シナサイト云ウ人モアツタ。ドウシタモノカト迷ツテイルウチニ歳ヲ取り過ギテ、モウ現在デハ手術モ手後レニナツタラシイ。デモ幸イニ一時快方ニ向ツテイタノダガ、昨夜ノ失敗デ又ブリ返シタヨウデアルカラ、当分用心シタ方ガイ、シノミンハ餘リ連用スル

ト副作用ガアルカラ一回四錠ズツ日二三回、三日以上ハ続ケナイ
 デ下サイ、毎朝怠ラズ尿ノ検査ヲシ、雑菌ガアツタラ、ウバウル
 シヲ才飲ミナサイト云ワレル。

才蔭デ、今日ノ後樂園ノタイトルマツチハあきら諦メルコトニスル。尿
 道ノ故障ハ今朝ハ一応良クナツタノデ、行ツテ行カレナイコトハ
 ナイノダガ、夜ノ外出ナド飛ンデモアリマセント云ツテ、佐々木
 ガ承知シナイ。

「才爺チャン、才氣ノ毒ネ、アタシハ行ツテ参リマス、アトデ話
 シタゲルワ」

ソウ云ツテ颯子ハサツサト出テ行ツテシマツタ。

已ムヲ得ズ安静ニシテ鈴木氏ノ鍼ダケシテ貰ウ。二時半カラ四時

半マデハ可ナリ長クテ辛イガ、間デ二十分ホド休憩ガアル。

学校ガ休ミニナツタノデ、経助ハ辻堂ノ子供達ト一緒ニ近々軽井沢ニ行ク豫定。婆サント陸子ガ同行スル。アタシハ来月参リマス、経助ヲヨロシクオ頼ミ申シマス、颯子ハ云ツテイル。浄吉モ来月ニナツタラ十日間グライ休暇ヲ取ツテ行ク。辻堂ノ千六モ多分ソノ時分ニハ行ケル。春久ハテレビノ仕事ガトテモ忙シイ、美術デザインナーハ晝間ハ割ニ時間ノ餘裕ガアルンデスケレド、夜ハ毎晩縛ラレテマシテネット云ツテイル。……………

二十六日。最近ノ予ノ日課ハ左ノ如クデアル。午前六時前後起床。先ズ便所ニ行ク。排尿ニ際シ、最初ノ数滴ヲ消毒シタ試験管ニ取

ル。次ニ硼砂ノ液デ眼ヲ洗ウ。次ニ重曹ノ液デ口腔内ト咽喉部ヲ
 丁寧ニ含嗽スル。次ニ葉綠素入りコールドゲートしぎんデ齒齦ヲ洗ウ。入
 齒ヲ箒メル。約三十分庭ヲ散歩スル。滑り台ニ臥テ牽引スル。コ
 レモ三十分ニ延ビテイル。次ニ朝食。朝食ダケハ寢室デ取ル。牛
 乳一合、チーズトースト一片、野菜ジュース一杯、果物一箇、
 紅茶一杯。同時ニアリナミン一錠。次ニ書齋デ新聞ヲ見、日記ヲ
 附ケ、時間ガ餘レバ讀書ナドスルガ、午前中ヲ日記ニ費スコトガ
 多く、時トスレバ午後ニモ夜間ニモ及ブ。午前十時佐々木ガ書齋
 二来、血壓ヲ測ル。三日ニ一度クライウイタミン五〇ミリヲ注射。
 正午食堂デ晝餐、大概素麵一杯ト果物一箇ダケデアル。午後一時
 カラ二時マデ寢室デ午睡。月、水、金、ノ週二三回、二時半カラ

四時半マデ鈴木氏ノ鍼ノ治療。午後五時カラ三十分又牽引スル。六時カラ庭ノ散歩。朝夕ノ散歩ハ佐々木同伴、時ニハ颯子ノコトモアル。六時半晚餐。飯ハ軽ク一杯、才数ハヴアライエテイーニ富ンダ方ガイ、ト云ウノデ、毎日イロく取りカエテ品数ガ多イ。老人ト若イ者トハ好ミガ違ウノデ、料理ノ種類ハ家族バラくデアル。時間モバラくノコトガ多イ。食後書齋デラジオヲ聴ク。眼ヲ害スルノデ夜ハ読書セズ、テレビモ殆ド見ナイ。

一昨日ノ日曜日、二十四日ノ午過ギニ、颯子ガ洩ラシタ言葉ガアツタノヲ予ハ忘レナイ。アノ日ノ午後二時頃、予ガ寢室デ午睡カラ覚メ、マダボンヤリトベットノ中デ眼ヲ開ケテイタ時、突然浴室ノ戸カラ颯子ガ首ダケヲ此方ヘ出シテ云ツタ。

「アタシシヤワーノ時ダツテ、コノ戸締マリヲシタコトハナイ
ノヨ。イツモコノハ開閉自在ヨ」

故意ニカ偶然ニカ、彼女ノ唇カラ出タコノ一語ハ妙ニ予ノ関心ヲ
唆^そツタ。ソノ日ハバーベキュー、昨日ハ病氣デ静養中デアツタガ、
ソノ間モ予ノ頭ニハ絶エズコノ言葉ガ引ツカ、ツテイタ。今日ノ
午後、二時ニ午睡カラ覚メテ一旦書齋ヘ這入ツタ予ハ、三時ニナ
ルト再ビ寢室ヘ戻ツテ来タ。颯子ハ近頃家ニイレバ大体イツモコ
ノ時刻ニシヤワーヲ浴ビルコトヲ予ハ知ツテイル。予ハ試ミニ浴
室ノ戸ヲコツソリト押シテミタ。果シテ戸ニハ締マリガシテナイ。
シヤワーノ音ガ聞エテイル。

「何カ御用？」

戸ハホンノ僅カ、動クカ動カナイクライニ触レタゞケデアツタガ、早クモ彼女ハ氣ヅイタラシイ。予ハ狼狽シタ。シカシ次ノ瞬間ニ度胸ヲ据エタ。

「イツモ締マリガシテナイト云ツタカラ、ホントカドウカ試シテ見タノサ」

云イナガラ予モ浴室ノ方へ首ダケ出シタ。シャワーヲ浴ビツゝ、アル彼女ノ全身ハ白地ニ粗イグリーンノ縦縞ノバス・カーテンデ囲ワレテイル。

「嘘デナイコトガ分ツタ？」

「分ツタ」

「何シテルノヨ、ソナ所デ。オ這入ンナサイヨ」

「這入ツテモイ、？」

「這入リタインデシヨウ」

「別ニ用モナインダケレドネ」

「ソレ、興奮スルト滑ツテ転ブワヨ、落ち着イテ、落ち着イテ」

今ハ下司板ガ上ゲテアツテ、タイル張りノ床ガシャワーノ水デビシヨ、ニナツテイル。予ハ足元ニ用心シナガラ闖入シテ、戸ヲウシロデテ締メタ。バス・カーテンノ裂ケ目カラ、彼女ハトキノ、肩ダノ膝ダノ足ノ先ダノヲチラツカセタ。

「ソナラ用ヲサセタゲルワ」

シャワーノ音ガ止マツタ。彼女ハ予ニ背中ヲ向ケテ上半身ノ一部

ヲカーテンノ外へ露出シタ。

「ソコニアルタオルヲ取ツテ、背中ヲ拭イテ頂戴。頭カラポタノ
 落チルワヨ」

ビニールノ帽子ヲ脱グ時ニ二三滴予ニモ雫ガカヽツタ。

「ソナニ恐々^{こわ／＼}拭カナイデ、モツト手ニカヲ入レテシツカリ
 ト。ア、才爺チャン左ガ駄目ナノネ、右ノ手デ一生懸命キューノ
 ント擦^{こす}ツテヨ」

咄嗟ニ予ハタオルノ上カラ両肩ヲ掴ンダ。ソシテ右側ノ肩ノ肉ノ
 盛り上リニ唇ヲ当テ、舌デ吸ツタ、ト、思ツタ途端ニ左ノ頬ニ

「ピシヤツ」

ト下平手打チヲ喰ツタ。

「才爺チャンノ癖ニ生意気ダワ」

「コノクライハ許シテクレルンダト思ツタンダ」

「ソナナコト絶対ニ許サナイワヨ、浄吉ニ云い附つケテヤルカラ」

「御免々々」

「出テツテ頂戴！」

ソウ云ツテカラ、浴ビセテ云ツタ。

「慌テナイデ、慌テナイデ。滑ルトイケナイカラユツクリト」

予ガ戸口マデ辿リ着イタ時、柔イ指ノ先ガ背中ヲ軽ク押シ出スノヲ感ジタ。予ハ寢室ノベツドニ腰カケテ一ト休ミシタ。直グソノ後カラ彼女ガ現レタ。例ノサツカーノガウンニ着換エテ立ツテイル。牡丹ノ刺繍ノ履ガ覗イテイル。

「御免ナサイネ、アンナコトシチャツテ」

「イヤ、何デモナイヨ」

「痛カツタ？」

「痛カナカツタガ、チョットビツクリサセラレタヨ」

「アタシ、男ノ人ノ横ツ面ヲ直キニピシヤツトヤル癖ガアルノヨ、
ダモンダカラ、ツイソレガ出チャツテ」

「ダロウト思ツタヨ、イロンナ男ニアノ手ヲ使ツテルンダロウ」

「デモ才爺チャンヲ殴ルナンテ勿体ナイワ」

.....

二十八日。……………

……………

昨日ハ鍼ノ時間デ駄目。今日ノ午後三時、予ハ又浴室ノ戸ニ耳ヲ
 当テタ。戸締マリガシテナイ。シヤワーノ音ガシテイル。

「イラツシヤイ、待ツテタワヨ。一昨日ハ失礼イタシマシタ」

「ソウ来ナケレバナラナイト思ツタ」

「歳ヲ取ルト強イ」

「一昨日張り飛バサレタカラ、何カ弁償シテ貰ツテモイ、ナ」

「冗談ジヤナイワ、モウアンナコトハ決シテ致シマセント誓ツテ

頂戴」

「頸ニ接吻スルクライ、オ許シガ出タツテヨサソウナモンダノニ」

「頸ハ弱イワ」

「何処ナライ、ノサ」

「何処ダツチ駄目。蛞蝓なめくじニ舐メラレタミタイデ、一日氣持ガ悪

カツタワ」

「相手ガ春久ダツタラドウカナ」

グツト、声ヲ吞ンデカラ云ツタ。

「殴ルワヨ、ホントニ。コナイダハ手加減シタゲタノヨ」

「ソナナ御遠慮ニハ及バンヨ」

「アタシノ掌てのひらハヨク撓しなウノヨ、ホントニ打ツタラ眼ガ飛ビ出ルホ

ド痛クツテヨ」

「ソレハ寧口望ムトコロ」

「始末ニ悪イ不良老年、ジバイ・テリブル！」

「モウ一度聞クガ、頸ガ駄目ナラ何処ナライ、ノサ」

「膝カラ下ナラ一度ダケ許ス、一度ダケヨ。——舌デ触ラナイ
 デ唇ダケ着ケルノヨ」

膝カラ上ハ顔マデスツカリ隠レテイテ、バス・カーテンノ裂ケ目
 カラ脛ト足ノ先ダケ出タ。

「医者ガ内診スルミタイダ」

「馬鹿ネ」

「舌ヲ使ワズニ接吻シロナンテ、随分無理ナ註文ダナ」

「接吻ジヤナイモノ、タゞ唇デ触ラセルダケダモノ。オ爺チャン

ニハソレガ相当ヨ」

「セメテコウシテル間、シヤワーヲ止メテ貰エナイカナ」

「止メル訳ニ行カナイ、触ラレタ傍カラ直グト綺麗ニ流シチャワナイト気味ガ悪イ」

予ハタゞ水ヲ吞マサレタ氣ガシタゞケダツタ。

「ソウ云エバ春久サンデ思イ出シタ、才願イガアルノヨ」

「何サ」

「春久サンガ此ノ頃暑クツテ困ルンデ、トキノ＼コノシヤワ
 Ⅱヲ浴ビサセテ戴キタイ、来テモイ、カドウカ、伯父サンニ伺ツ
 テクレツテ云ツテルノ」

「放送局ニ風呂場ガナイノカ」

「アルコトハアルンダケド、出演者ノ風呂場ト、出演者以外ノ者ノ風呂場ト別々ニナツテ、トテモキタナインデ這入ル氣ニナラナイ、仕方ガナイカラ銀座へ出カケテ東京温泉ニ這入ルンダケド、コ、デ入レテ貰エタラ局カラノ距離モ近イシ、大變助カル。伯父サンニ聴イテミテクレツテ」

「ソんなコト、君ガ勝手ニ計ラツタライ、一々僕ニ聴クマデモナイ」

「実ハコナイダ内證デーペン入レタゲタノヨ、ダケドヤツパリ黙ツテ這入ツチャ悪イツテ云ウノヨ」

「僕ハイ、ヨ、断ルンナラ才婆チャンニ断ンナサイ」

「才爺チャンカラ仰ツシャツテヨ、才婆チャンハアタシ恐イワ」

ソウハ云ツテルガ、颯子ハ内々婆サンヨリモ予ニ氣ガネガアルノ
デアル。春久ダカラワザく断ル必要ヲ感ジテイルノデアル。：

.....

二十九日。.....午後二時半鍼ノ治療ガ始マル。予ハ寢台ニ仰臥
シ、盲人ノ鈴木氏ハソノ傍ノ椅子ニ腰カケテ治療ヲ施ス。鞆カラ
鍼ノ匣はこヲ取り出シタリ、アルコールアルコールデ消毒シタリスル細カイ作業
ハ鈴木氏自身デスルケレドモ、常ニ弟子ノ一人ガ附キ添ツテウシ
ロニ控エテイル。今日マデノトコロデハ、手ノ冷感モ指先ノ感覺
ノ麻痺感モ依然トシテヨクナラナイ。

二三十十分シタ時分、突然春久ガ廊下ノドーアカラ這入ツテ来タ。

「伯父サン、チョットオ邪魔サセテ戴キマス。御療治ノ最中ニ失礼ダト存ジマシタケレド、先日颯チャンカラオ願イシマシタラ御承知下サイマシタソウデ誠ニ有難ウゴザイマス。早速今日カラ戴キニ上リマシタンデ、チョットオ礼ヲ申シ上ゲタイト存ジマシテ」

「ナーニソシナコト、一々断ルニハ及バン。イツデモ来ルガイ、」

「有難ウ存ジマス、オ言葉ニ甘エテコレカラチョコク〜伺イマス、毎日ト云ウ訳ニモ参リマセンガ。——近頃ハ伯父サン、オ見受ケシタトコロ大層オ元気デ」

「ナーニダン〜老イ惚レガ激シクナツテネ、毎日颯子ニ叱ラレテバカリイルヨ」

「イヤ、イツマデモオ若イツテ、颯チャンガ感心シテマスガ」

「飛ンデモナイ、今日モコウヤツテ鍼ナンカシテ貰ツテ、辛ウジテ露命ヲツナイデルノサ」

「ソナナコトガアルモンデスカ。マダく伯父サンハイクラデモ長生キナサイマスナ。——イヤ、コレハオ邪魔ヲイタシマシタ、コレカラ伯母サンニ御挨拶ヲシテ忽々退散イタシマス」

「暑イノニ大変ダネ、ユツクリ休ンデ行キナサイ」

「有難ウ存ジマス、ナカくソウシテモオラレマセンデ」

春久ガ出テ行ツテカラ暫クスルト、オ静ガ二人分ノ茶ト菓子ヲ盆ニ載セテ持ツテ来ル。休憩ノ時間デアル。今日ハキヤスタード・

プディングニツメタイ紅茶ガ運バレテ来ル。休憩ガ済ムト再ビ治

療ガ続ケラレ、四時半デ終ル。

治療ヲ受ケツ、アル間、予ハ別ノコトヲ考エテイタ。

春久ガシヤワーヲ浴ビニ来サセテクレト云ウノハ、タゞソレダケ
 ノコトデナク、何カ魂こんたん胆ガアルノデハナイカ。或ハ颯子ノ入レ
 智慧カトモ思ウ。今日ニシテモ故意ニ予ガ治療中ノ時間ヲ狙ツテ
 挨拶ニ来タノデハナイカ。ソウスレバ長イ間老人ニ取ツ摑マツテ
 才相手ヲシナイデモ済ムト、考エタノデハナイカ。予ハ春久ガ夜
 間ハ忙シイケレドモ、晝間ハ自由ガ利クト語ツテイタコトガアル
 ノヲ、聞キカジツテイル。トスルト、彼ガシヤワーニ来ルノハ午
 後カラタ刻マデノ間、多分颯子ガ浴ビルノト同ジクライナ時間デ
 アロウ。ツマリ予ガ書齋ニイルカ、寢室デ治療ヲ受ケテイル期間

ニ来ルコトニナル。彼ガ浴室ニイル時、アスコノドーアハマサカ開ケツ放シニハシテ置カナイダロウ、ソノ時ハ戸締マリヲスルデアロウ。悪イ習慣ヲツケテシマツタト、颯子ハ後悔シテイヤシナイカ。

モウ一ツ氣ニナルコトガアル。明後々日、八月一日ニ、婆サン、経助、辻堂ノ陸子ト子供三人、女中ノ才節ノ七人ガ軽井沢へ出発スル。浄吉ハ二日ニ関西方面へ出カケ、六日ニ帰京シテ七日ノ日曜カラ約十日間、コレモ軽井沢ニ行クト云ウ。ソウスルト颯子ノタメニイロくト都合ナコトガ起リソウデアル。ソノ颯子ハト云ウト、アタシハ来月ニナツテカラトキ／＼二三日グライ軽井沢へ参リマス、佐々木サント静ガ東京ニオリマスコトハオリマス

ケレドモ、才爺チャンヲオ一人才残シ申シトクノハ心配デゴザイ
 マスシ、ソレニ輕井沢ハプールノ水ガツメタ過ギテ泳ゲナイカラ
 困リマスノ、トキ／＼ナライ、ケレド、ズーツトイルノハ御免
 ダワ、アタシヤツパリ海ノ方ガ好キダワ、ト云ツテイル。ソウ聞
 カサレルト、予モ何トカシテ居残ル算段ヲシナケレバナラナイ。

「アタシハ一下足才先ニ参リマス、才爺チャンハイツイラツシヤ
 ルノ」

ト、婆サンハ云ウ。

「サア、己ハドウシヨウカナ、折角鍼ヲ始メタンダカラ、モウ少
 シ続ケテ見ヨウカト思ウ」

「ダツテ、チツトモ利カナイツテ仰ツシヤツテタジャアリマセン

カ。セメテ暑イ間ダケオ止メニナツタラ」

「イヤ、コノ頃イクラカ利イテ来タヨウナ気ガスルンダ。マダ始メテカラ一カ月ニモナラナインダカラ、今止メルノハ惜シイヨ」

「ソレジャ、今年ハイラツシヤラナイオ積リ？」

「ソウジヤナイヨ、イズレ行クヨ」

ソウ云ツテ婆サンノ訊問ヲ辛ウジテ切り抜ケル。

3

五日。

.....

二時半鈴木氏見エル。直グ治療ガ始マル。三時少シ過ギ休憩時間。才静ガ茶菓ヲ運ンデ来ル。モカノアイスクリームト冷紅茶デアル。才静ガ部屋ヲ出テ行コウトスル時、

「今日ハ春久ハ来テイナイノカネ」

ト、何氣ナク聞イテミル。

「オイデニナツテイラツシヤイマシタガ、モウ才帰りニナツタヨウデゴザイマス」

ト、多少曖昧ニ答エテ出テ行ク。

盲人ガ物ヲ食ベルノニハ時間ガカゝル。弟子ガ一ト匙ズツユツクリ〜ト、アイスクリームノ塊かたまりヲ口ノ中へ入レテヤル。ソノ合間々々ニ紅茶ヲ啜すル。

「チヨツト失礼イタシマス」

ト、予ハ寢台ヲ下リテ浴室ノ戸ノ前ニ行キ、把手とつてヲ廻シテミル。戸ハ締マツテイテ動力ナイ。念ノタメ予ハ手洗イニ行ク振りヲシテ便所ニ入り、便所カラ外ノ廊下ニ出、廊下カラ浴室ノ戸ヲ開ケテミル。開イタ。浴室ニハ誰モイナイ。シカシ春久ノ開襟シャツトズボント靴下ガ籠ニ入レテ脱ギ捨テ、アル。湯殿ノガラス戸ヲ開ケテミル。タシカニ湯殿ハ空ツポデアル。バス・カーテンノ中マデ覗イテミタガ誰モイナイ。タゞ流シ場ノタイルヤ周囲ノ壁ニ夥シク水ガ飛ビ散ツテ濡レテイル。オ静ノ奴、返答ニ困ツテ嘘ヲツイタナ、ダガドコニイルンダロウ。一体颯子ハドコナンダ。予ガ食堂ノバアノ方ヘ捜シニ行コウトシタ時、食堂ノ廊下ノ方カラ

コカコラノ壘トコップヲ二ツ盆ニ載セテ、才静ガ二階ノ階段ヲ上ツテ行コウトスルノト、パツタリ出会ツタ。

才静ハ急ニ真ツ青ニナツテ階段ノ上リ口デ立チ止マツタ。盆ヲ支エテイル手ガ震エテイル。予モドギマギシタ。コンナ時間ニ外ノ廊下ヲウロツイテイルノハ予モオカシイ。

「春久ハマダイタンダネ」

予ハ努メテ晴レノト、氣軽ナ風ヲ装ツテ云ツタ。

「ハイ、才帰りニナツタコト、存ジテオリマシタラ……………」

「ア、ソウカイ」

「……………オニ階デ涼ンデイラツシヤイマシタンデ、……………」

コップガ二ツトコカコラノ壘ガ二ツ。二人ハ二階デ「涼ンデ」イ

ルノデアル。服ガ籠ニ捨テ、アル以上、彼ハシャワーヲ浴ビテカラ浴衣ニ着カエテイルノデアル。シャワーモ一人デ浴ビタノカドウカ。二階ニハ泊リ客ノタメノ室モアルガ、ドコデ彼等ハ涼ンデイルノカ。斯様ナ場合、浴衣ヲ借リルクライハイ、ガ、階下ノ客間ナリ応接間ナリ茶ノ間ナリ、今ハ婆サンモ留守デアルカラ至ルトコロガ空イテイルノニ、二階へ上ルニハ及ブマイ。ツマリ彼等ハ、午後二時半カラ四時半マデハ予ガ治療ヲ受ケテイテ寢室カラ出ル筈ガナイト、考エタノニ違イナイ。

才静ガ階段ヲ上ツテ行クノヲ見上ゲテカラ、予ハ直グ寢室へ引キ返シタ。

「ヤ、失礼イタシマシタ」

ソウ云ツテ、又寢台ニ横ニナツタ。ソノ間十分モカ、ラナカツタ。盲人ハヤツトアイスクリームヲ食ベ終ツタトコロデアル。

再ビ鍼ガ始マル。コレカラ四五十分間、予ハ鈴木氏ニ体ヲ預ケナケレバナラナイ。四時半ニナレバ鈴木氏ハ去リ、予ハ書齋ニ戻ル。ソレマデノ間ニソツト二階カラ下リテ消エテナクナレバイ、筈デアツタノニ、彼等ノ方ニモ計算違イガアツタ。思イガケナク予ガ廊下ニ現レタリ、マズイコトニハオ静ト打ツカツタリシタ。ガ、モシ予トオ静トガ打ツカラナカツタラ、予ニ知レタコトヲ彼等ハ氣ヅカズニイタデアロウ、トスルト、オ静ガ予ト行き遇ツタコトハ、マダシモ仕合セダツタト云エル。モツト人ノ悪イ邪推ヲスレバ、予ニ疑ワレテイルコトヲ知ツテイル颯子ハ、治療ノ隙間ニ予

ガ廊下へ出て様子ヲ探ルコトモアリ得ルト、推量シタノカモ知レナイ。ソシテ故意ニ予ニソノヨウナ機会ヲ許シ、才静ニ用事ヲ云イ付ケテ予ト巧ク打ツカルヨウニ豫メ仕組ンダノカモ知レナイ。イズレ老人ニハ知ラセテ置イタ方ガ都合ノイ、コトガアルノダカラ、ソレナラ少シデモ早く知ラセテ因果ヲ含メテヤツタ方ガ功德ニナルト、考エタカモ知レナイ。

「イ、ワヨ、ソシテナニ慌テナイデモ、度胸ヲ据エテ悠々ト才帰ンナサイヨ」

ト、颯子ノ声ガ聞エル氣ガスル。

四時半カラ五時マデ休養。五時カラ五時半マデ牽引。五時半カラ六時マデ休養。ソレマデノ間ニ、恐ラク予ガ治療ヲ済マス以前ニ、

二階ノ客ハ歸ツテ行ツタニ違イナイ。颯子モ一緒ニ出テ行ツタノカ、ソレトモ流石ニバツガ悪イノデ一人デ二階ニ引ツ込ンデイルノカ、一向姿ヲ現ワサナイ。今日ハ晝ノ食事ノ時ニ顔ヲ見タキリデアル。(二日以来、予ハ彼女トタツタ二人差向イデ食事スルコトガ出来ルノデアル)六時、佐々木ガ庭ノ散歩ヲ促シニ来ル。予ガ縁側カラ庭ヘ下リヨウトスルト、

「佐々木サン、今日ハイ、ワヨ、アタシガ才供スルカラ」
ト、不意ニ颯子ガ何処カラカ現ワレタ。

「春久ハイツ歸ツタンダネ」

四 あずまや阿デ直グソノ話ニナツタ。

「アレカラ間モナク」

「アレカラトハ？」

「コカコラヲ飲ムト間モナク。ドウセ見ラレチャツタンダカラ、急イテ帰ツタラ却テオカシイツテ云ツタンダケレド」

「アレデ案外気が弱インダナ」

「キット伯父サンニ誤解サレテルニ違イナイカラ、アタシカラヨク弁解シトイテクレツテ散々云ツテタワヨ」

「モウ止ソウヨ、ソシナ話」

「誤解シテルナラシテ、モイ、ワ、ダケド下ヨリ二階ノ方ガ風通シガイ、カラ、二階ニ上ゲテ一緒ニコカコラヲ飲ンダゞケヨ。昔ノ人ハソウ云ウ時ニ直グ変ニ取ルノネ。浄吉ナラ分ツテクレルワ」
「マアイ、サ、ソシナコト。ドツチダツテ構ヤシナイサ」

「構ワナイコトハナイワヨ」

「チョット云ツトクガ、君ノ方ガ僕ヲ誤解シテヤシナイカ」

「ドウ云ウ風ニ？」

「仮リニ君ガ——仮リニダヨ、——春久トドウ云ウコトガア

ツタニシタツテ、僕ハソレヲ取り上ゲル氣ハナインダ。……」

颯子ハ怪訝けげんナ顔ヲシテ黙ツタ。

「僕ハソソナコトヲ婆サンニモ浄吉ニモシヤベリハシナイ。自分

ノ胸ニ収メテ置ク」

「才爺チャンハアタシニソソナコトヲシロツテ仰ツシヤルノ？」

「或ハソウカモ知レナイ」

「氣狂イネ」

「ソウカモ知レナイ。ソんなコトヲ今知ツタノカ、君ミタイナ利口ナ人ガ」

「ダケド、ドウ云ウ氣持カラソんなコトヲ考エルノ」

「自分デ恋ノ冒険ヲ樂シムコトガ出来ナクナツタ腹癒セニ、セメテ他人ニ冒険サセテ、ソレヲ見テ樂シム。人間モモウコウナツチヤ哀レナモノサ」

「自分ニ希望ガ持テナイカラ焼ケ糞氣味ニナルノネ」

「岡焼キ氣味デモアルサ、不便ト思ッテクレ給エ」

「巧ク云ツテルワ。不便ト思ウノハイ、ケレド、才爺チャンヲ樂シマセルタメニ、アタシガ犠牲ニサレルノハ嫌ダワ」

「犠牲ト云ウコトハナイデシヨウ、僕ヲ樂シマセルト同時ニ、君

自身モ樂シムンジヤナイカ。僕ノ樂シミヨリ、君ノ樂シミノ方ガズツト大キイ筈ジヤナイカ。ホントニ僕ナンカ哀レナモンサ」

「又頬ツペタヲ打タレナイヨウニ氣ヲ付ケテ頂戴」

「ゴマカシツコナシニシヨウ。尤モ春久ト限ツタコトハナイガネ、甘利デモ誰デモイ、ガネ」

「四阿へ来ルト、キツトコンナ話ニナルノネ、チツト散歩シマシヨウヨ、足ノ運動バカリデナク、頭ニモ毒ダワ。ホラ、佐々木サンガ縁側カラ見テルワヨ」

路ハ二人ガヨウ／＼並ンデ歩ケルホドノ廣サデアル。萩ガ両側カラ伸ビテイテ歩キニクイ。

「葉ガ繁ツテ、絡ミツクワヨ、アタシニ掴マツテラツシヤイ」

「腕ヲ組マセテクレルトイ、ガナ」

「ソナナコト無理ダワヨ、オ爺チャンハ背ガ低インダカラ」

予ノ左側ニ並ンデイタ彼女ハ、突然右側ニ廻ツタ。

「ソノステツキヲアタシニ貸シテ。右手デコ、ニ掴マツテラツシヤイ」

ソウ云ツテ彼女ハ左肩ヲ差出シタ、ステツキハ自分ガ受ケ取ツテ、萩ノ枝ヲ拂イ除ケナガラ。……………

六日。……………昨日ノ続キ。

「一体浄吉ハ君ノコトヲドウ思ツテイルノカネ」

「ソレハアタシガ聞キタイクライヨ。オ爺チャンハドウオ思イニ

ナル？」

「僕ニモ分ラン、僕ハアンマリ浄吉ノコトヲ考エナイヨウニシテイル」

「アタシモソウナノ、聞イテモ彼ハ面倒臭ガツテホントノコトヲ云ツテクレナイノ。ダガ要スルニ今デハ愛シテイナイノネ」

「君ニ愛人が出来タトシタラドウスル？」

「出来タラ出来タデ仕方ガナイ、ドウゾ御遠慮ナクツテ。——冗談ミタイニ云ツテタケド、案外本氣ラシカッタワ」

「誰デモ女房ニソウ云ワレルト、ソナナ負惜ミヲ云ウモノサ」

「彼ニモ誰カ好キナ人ガアルラシイノヨ、アタシト同ジヨウナ過去ヲ持ツタ、何処カノキヤバレノ人ラシイワ。経助ニサエ会ワシ

テクレルナラ別レテモイ、ワヨツテ云ツタラ、別レル氣ハナイ、
経助モ可哀ソウダガ、ソレヨリ君ガイナクナルト親父ガ泣クノガ
可哀ソウダツテ」

「人馬鹿ニシテヤガル」

「アレデオ爺チャンノコトハ何モカモ知ツテルノヨ、アタシハ何
モ云ヤシナイケド」

「ヤツパリ親父ノ忤ダカラナ」

「飛ンダトコロデ親孝行ヲスル氣ナノネ」

「ソノ実君ニ未練ガアルノサ、親父ヲ出シニ使ヤガツテ」

予ハ実ノトコロ予ノ長男デアリうつきぎ卯木家ノ嗣子デアアル浄吉ノコトヲ、
殆ド何モ知ルトコロハナイ。大切ナ忤ノコトニツイテコレホド無

知ナ父親ハ少イダロウ。彼ガ東大経済学部ヲ卒業シテパシフイツ
 ク・プラスチック工業株式会社ニ入社シタコトハ知ツテイル。シ
 カシ實際ニドンナ仕事ヲシテイルノカハヨク知ラナイ。何デモ三
 井化学アタリカラ樹脂原料ヲ買イ入レテ写真フィルム、ポリエチ
 レン被膜、ポリエチレン成型品、バケツダノ、マヨネーズノチュ
 ーブダノト云ツタ類ヲ製造スル会社デアルト聞イテイル。工場ハ
 川崎辺ニアルガ、本社ハ日本橋ニアツテ、彼ハソコノ営業部ニ勤
 メテイル。近イウチニ部長ニナレルラシイガサラリーヤボーナス
 ハ今ドノクライ貰ツテイルノカ、予ニハ分ラナイ。彼ハ家督相続
 人デアルケレドモ、目下ノトコロ予ガコノ家ノ主人デアル。コノ
 家ノ経済ハ彼モ幾分力負担シテイルヨウデアルガ、依然トシテ大

部分ハ予ノ不動産所得ト配当所得ニ依ツテイル。月々ノ家計ハ數年前マデ婆サンガ処理シテイタガ、イツカラカ颯子ガ當ツテイル。婆サンノ説ニ依ルト颯子ハアレデナカク計數ニ委シク、出入ノ商人ノ請求書ナドモ^{ゆるが}忽セニシナイ。トキ／＼台所へ行ツテ冷蔵庫ヲ開ケテ調べタリスルノデ、若奥様ト聞クト女中達ハチリチリシテイル。新シ物好キノ颯子ハ去年台所ヘ^{デイス}ポーザーヲ取り附ケタガ、彼女ニ依レバ「マダ食ベラレル筈」ノ薩摩薯ヲ放り込^ンダト云ツテ、才節ガヒドク叱ラレテイルノヲ見タコトガアル。

「腐ツテタラ犬ニヤレバイ、ジヤナイノ、アナタ達ハ面白ガツテ何デモアレヘ投ゲ込ムンダネ、アンナモノヲ買ワナキヤヨカッタ」ソウ云ツテ颯子ハ後悔シテイタ。

家庭ノ費用ハ出来ルダケ切り詰メテ女中イジメヲシ、残りハ全部
 自分ノ懐ふところヘ取り込ムラシイ、ミンナニ窮屈ナ思イヲサセテ自分ダ
 ケドンナ贅沢ヲシテルカ知レタモンジヤナイト、婆サンハ云ツテ
 イル。オ静ニ算盤ヲ弾カセテイルコトモアルガ、大概ハ颯子ガ自
 ラシテイル。税金ハ計理士ニ任セテアルガ、計理士トノ応対ハ彼
 女ガスル。若奥様トシテノ事務モ相当忙シイ筈デアルガ、何デモ
 引キ受ケテ極メテ手早く、イツノ間ニカテキパキト片附ケテイル。
 コンナトコロハ頗ル浄吉ノ氣ニ入ツテイルニ違イナイ。今ヤ彼女
 ハ卯木家ニ於テ確乎タル地歩ヲ占メルニ至リ、浄吉ニ取ツテモ、
 ソウ云ウ意味デ缺クベカラザル存在トナツテイル。

婆サンガ颯子トノ結婚ニ反対シタ當時、

「踊り子上りナンゾツテ云ウケレド、キツト彼女ハ家政ノ切り盛りナンカモ上手ニヤツテ行キマスヨ、ソウ云ウ才能ノアルコトヲ僕ハ見抜イテルンデス」

ト浄吉ハ云ツタガ、アノ時ハ恐ラクあてずっぽう当寸法ヲ云ツタノデ、先見

ノ明ガアツタ訳デハアルマイ。妻トシテ家庭ニ入レテ見ルト、案外ニモソウ云ウ才能ヲ發揮シ始メタノデアル。颯子自身モ自分ニソウ云ウ才能ガアルコトヲ、ソノ時マデハ知ラナカッタコトデアロウ。

実ヲ云ウト予ハ、彼等ノ結婚ヲ許シハシタモノ、ドウセ長クハ続クマイト思ツテイタ。惚レツポイコトモ惚レツポイガ飽キツポイコトモ飽キツポイノハ親譲リデ、若イ時ノ予ト同様デアルト考

エテイタガ、今日デハ左様ニ簡單ニハ云エナイ。結婚当座ノ浄吉ハ大シタ打チ込ミ方デアツタガ、今デハソレホドデナイコトハ確カダ。ガ、予ノ眼カラ見ルト、彼女ハ結婚当時ニ比ベテ現在ノ方ガ一層美シイ。ワガ家ニ来テカラ既二十年近クナルノニ、歲月ヲ経ルホドマス、美シクナリツ、アル。経助ヲ生ンデカラ特ニ際立ツテソウナツタ。今デハ昔ノ踊リ子臭イ感ジハナイ。尤モ、予ト二人キリノ時ニ限ツテワザト昔ノ倅ヲチラツカセルコトハアル。浄吉ト二人キリノ時ニモ、嘗テ愛情コマヤカナリシ時代ニハソナ風ダツタデアロウガ、今デハソウデモナサソウデアル。ソレヨリ悴ハ寧口彼女ノ経理ノ才ヲ徳トシテ、彼女ヲ失ツテハ不便デアルト考エテイルノデハナイカ。猫ヲカブツテイル時ノ彼女ハ、何

処カラ見テモ立派ナ奥様ノ貫祿ヲ備エテイル。言語動作ガキビノ
 へトシテ、目カラ鼻ヘ抜ケルヨウデ、ソレデイテ情味モアレバ愛
 嬌モアツテ人ヲ外ラサナイ。一般カラハソウ見エルニ違イナイノ
 デ、悴モ内々ソレヲ自慢ニシテイル風ガアル。トスルト、ナカノ
 へ別レル気ナンカアルマイ、萬一彼女ニ疑ワシイ行為ガアツタト
 シテモ、見テ見ナイ振りヲスルカモ知レナイ、上手ニ振舞ツテサ
 エクレへバ。……………

七日。……………浄吉昨夜関西ヨリ帰宅、今朝軽井沢ニ出カケル。…

……………

八日。……午後一時ヨリ二時マデ午睡、ソノマヽ鈴木氏ノ来診ヲ待ツテイル。ト、浴室ノドアヲノックシテ、

「チヨット、コヽ締メルワヨ」

ト云ウ声ガシタ。

「来ルノカネ彼氏」

「エヽ」

ソウ云ツテ、颯子ガチラリト顔ヲ出シタガ、直グニバタント強イ音ヲ立テ、締メ切ツテシマツタ。ホンノチラリト見タゞケダツタガ、変ニ冷イ無愛想ナ顔ヲシテイタ。自分ガ先ニシヤワーヲ浴ビタト見エテ、ビニールノ帽子カラ水ガタラヽ滴レテイタ。……

：

九日。……午睡ノアト、今日ハ鍼ハ休ミデアルガ、ヤハリ氣ニナルノデ寢室ニイル。

「コ、締メルワヨ」

ト、今日モノツクスル音ガ聞エル。今日ハ昨日ヨリ三十分ホド遅イ。ソシテ彼女ハ全然顔モ出サナイ。午後三時過ギ、予ハソツトドーアノ把手ヲ廻シテ見ル。マダ締マツタマ、デアル。午後五時牽引ノ時、

「伯父サン、毎度ドウモ有難ウ存ジマス、才蔭デ毎日助カツテオリマス」

ト、春久ガ挨拶シテ通り過ギテ行クノガ聞エル。顔ハ見ルコトガ

出来ナイ。ドンナ顔ヲシテアンナ口ヲ利イテルカ見タイ氣ガスル。

六時、庭ノ散歩ノ時、

「颯子ハイマセンカ」

ト、佐々木ニ聞イテ見ル。

「サア、先程ヒルマンガ出テツタヨウデゴザイマスガ」

ト、佐々木ガ才静ニ聞キニ行ツテ戻ツテ来ル。

「ヤツパリ若奥様ハ才出カケニナツタソウデゴザイマス」

.....

十日。.....午後一時ヨリ二時マデ午睡。ソレカラ先ハ八日ト同

ジ事件ノ経過ヲ辿ル。……………

十一日。……………鍼ハ休ミ。シカシ今日ハ九日ト工合ガ違ウ。

「コヽ締メルワヨ」

ト云ウ代リニ、

「コヽ開イテルワヨ」

ト云ウ声ガシテ、珍シク彼女ガ朗カナ顔ヲ出シタ。シャワーノ音ガシテイル。

「今日ハ来ナイノカネ」

「エヽ、這入ツテラツシヤイ」

云ワレタノデ這入ツテ行ク。早くモ彼女ハバス・カーテンノ中ニ

隠レテイタ。

「今日ハ接吻サセタゲルワ」

シヤワーノ音ガ止ンダ。カーテンノ蔭カラ脛すねト足ガ出タ。

「何ダイ、又内診ノ恰好カイ」

「ソウヨ、膝カラ上ハ駄目。ソノ代リシヤワーヲ止メテ上ゲタジヤナイノ」

「何カノ報酬ノ積リカネ、ソレニシチャ安スギルナ」

「イヤナラオ止シナサイ、無理ニトハ申シマセン」

ソシテ附ケ加エタ。

「今日ハ唇ダケデナクツテモイ、舌ヲ着ケテモイ、」

予ハ七月二十八日ト同ジ姿勢デ、彼女ノ脰脛ノ同ジ位置ヲ唇デ吸

ツタ。舌デユツクリト味ワウ。ヤ、接吻ニ似タ味ガスル。ソノマ
 、ズルくト脹脛カラ踵マデ下リテ行ク。意外ニモ何モ云ワナイ。
 スルマ、ニサセテイル。舌ハ足ノ甲ニ及ビ、親趾ノ突端ニ及ブ。
 予ハひざまず跪イテ足ヲ持チ上ゲ、親趾ト第二ノ趾ト第三ノ趾トヲ口一杯
 ニ頬張ル。予ハ土踏マズニ唇ヲ着ケル。濡レタ足ノ裏ガ蠱惑的ニ、
 顔ノヨウナ表情ヲ浮かベテイル。

「モウイ、デシヨ」

急ニシヤワーガ流レ始メタ。彼女ノ足ノ裏ト予ノ頭ダノ顔ダノヲ
 水ダラケニシテ。……………

五時、佐々木ガ牽引ノ時間ヲ知ラセニ来、

「オヤ、才眼ガ赤ウゴザイマスネ」

ト云ウ。コノ數年來、予ハ白^{しろめ}眼ガシバく充血スルコトガアリ、普通ノ時デモ赤^{あかみ}味ガ強クナツテイル。瞳孔ノ周圍ヲ注意シテ見ルト、角膜ノ下ニ赤イ細イ血管ガ異様ニ幾筋モ走ツテイルノガ認めラレル。眼底出血ノ恐れハナイカト、検査シテ貰ツタコトガアルガ、眼底ノ血壓ニモ格別ノコトハナク、予ノ年齢トシテハ相当デアルト云ウ。シカシ、眼ガ血走ツテイル時ハ脈搏モ早く、血壓モ高イコトハ事實デアル。佐々木ハ直グ脈ヲ取ツテ見テ、

「ブルスガ九十以上ゴザイマスネ、ドウカナサイマシタンデスカ」
 「イ、ヤ別ニ」

「血壓ヲ測ラシテ戴キマシヨウ」

否応ナシニ書齋ノソファニ寝カサレル。十分間ノ安静ノ後、右腕

ヲゴムノ管デ縛ラレル。血壓計ハ予ニハ見エナイガ、佐々木ノ顔ツキデ大凡ソ察シガツク。

「今才氣持ガ才悪イヨウナコトハゴザイマセンカ」

「氣持ハドウモアリマセンガネ、血壓ガ高インデスカ」

「二百ホドゴザイマス」

彼女ガコンナ風ニ云ウ時ハ大概二百以上ナノデアル。二〇五六カ、一〇カ、或ハ二二〇以上アルニ決ツテイル。シカシ最高二四五ニモ達シタ經驗ヲ過去ニ数回持ツテイル予ハ、ソノクライナコトデハ医者ガ驚クホドニハ驚カナイ。何カノ拍子デソレツキリニナツテモ仕方ガナイト諦メテモイル。

「今朝ホド測リマシタ時ハ上ガ一四五、下ガ八三デ、至極順調デ

ゴザイマシタノニ、ドウシテ急ニコンナニ上ツタンデゴザイマシ
 ヨウ。ドウモ不思議デゴザイマスネ、無理ニカ^りンデ堅イオ通ジデ
 モナサイマシタカ」

「イ、ヤ」

「何カアツタンジヤゴザイマセンカ、ドウモ不思議デゴザイマス
 ネ」

佐々木ハ頻リニ首ヲ傾^{かし}ゲテイル。予ハ口ニハ出サナイガ、原因ハ
 分り過ギルホド分ツテイル。サツキノ土踏マズノ感触ガ、マダ唇
 ニ残ツテイテ忘レヨウトシテモ忘レラレナイ。颯子ノ三本ノ足ノ
 趾ヲ口一杯ニ頬張ツタ時、恐ラクアノ時ニ血壓ガ最高ニ達シタニ
 違イナイ。カアツト顔ガ火照^ほツテ血ガ一遍ニ頭ニ騰^{のぼ}ツテ来タノデ、

コノ瞬間ニ脳卒中デ死ヌンジャナイカ、今死ヌカ、今死ヌカ、ト云ウ氣ガシタコトハ事實デアル。コンナ場合ノアルコトヲ、カネテ覺悟ハシテイタケレドモ矢張サスガニ「死ヌ」ト思ウト恐クナツタ。ソシテ一生懸命ニ氣ヲ静メヨウ、興奮シテハナラナイト自分デ自分ニ云イ聞カセタガ、オカシナコトニ、ソウ思イナガラ、彼女ノ足ヲシヤブルコトハ一向ニ止メナカツタ。止メラレナカツタ。イヤ、止メヨウト思エバ思ウホド、マス／＼氣狂イノヨウニナツテシヤブツタ。死ヌ、死ヌ、ト思イナガラシヤブツタ。恐怖ト、興奮ト、快感トガ、代ル／＼胸ニ突キ上ゲタ。狭心症ノ発作ニ似タ痛ミガ激シク胸ヲ窄しメツケタ。……アレカラ既ニ二時間以上経ツテイル筈ダガ、マダ血壓ガ下ラナイト見エル。

「今日ハ牽引ヲオ止メニナツテ、安静ニナスツテイラシツタ方ガ
ヨウゴザイマスネ」

ソウ云ツテ佐々木ハ予ヲ無理ヤリニ寢室へ運び、横臥サセタ。

.....

午後九時又佐々木ガ血壓計ヲ持ツテ這入ツテ来タ。

「モウ一度測ラセテ戴キマス」

結果ハ幸イニモ常態ニ戻ツテイタ。上一五〇餘、下八七。

「ア、コレデヨカッタ、ホントニ安心イタシマシタ。サツキハ上
ガ二二三、下ガ一五〇アツタンデゴザイマスヨ」

「ソシナコトモタマニハアルデシヨウナ」

「タマニダツテコンナコトガアツチャ大變デゴザイマス。デモマア、ホンノ一時的ノ現象ダツタンデゴザイマスネ」

ホツトシタノハ佐々木バカリデハナイ。実ヲ云ウト佐々木以上ニ予ノ方ガ「マアヨカツタ」ト、ヒソカニ胸ヲ撫デオロシタ。シカシ同時ニ、コノ調子ナラコレカラ後モ氣狂イ的ノ行為ヲ繰リ返シテモ差支エアルマイ、颯子ノ好キナピンキー・スリラーデハナイガ、コノ程度ノ冒險ハ止メル訳ニ行カナイ、間違ツテ死ンダトシテモ構ウモンカ、ト云ウ氣ニナル。…………

十二日。…………午後二時過ギ春久来リ、二三時間イタラシイ。夜ノ食事ヲ済マスト直グニ颯子外出スル。スカラ座デマルタン・ラ

サールノ「スリ」ヲ見、ソレカラプリンスホテルノプールニ行ク
ト云ウ。バツクレスノ水着カラ抜ケ出シタ真ツ白ナ肩ヤ背中ガナ
イターノ光線ヲ浴ビル光景ヲ想像スル。……………

十三日。……………午後三時頃、今日モピンキー・スリラーヲ経験ス
ル。但シ今日ハ眼ガ赤クナラナイ。血壓モ普通ラシイ。ヤ、拍子
抜ケガシタ感ジ。少シ眼ガ血走ツテ血壓ガ二〇〇ヲ越スクライニ
興奮シナイト物足りナイ。

十四日。浄吉一人、夜輕井沢ヨリ帰宅、明日ノ月曜ヨリ出社ノ由。

十六日。颯子、昨日久シ振ニ葉山デ泳イデ来タト云ウ。今年ノ夏ハ才爺チヤンノオ守リデ海ヘ行クコトガ出来ナカツタ、ヤツパリ日ニ焦ケテ来ナケレバ駄目ダト云ウ。颯子ノ肌ハ外人ナミニ白皙ナノデ日ニ焦ケタ部分ガ紅潮ヲ呈スル。頸カラ胸ヘカケテV型ニ真紅ノ型ガ染マリ、水着デ隠サレク腹ノ部分ノ白イコト、云ツタラナイ。今日ハ予ニソレヲ誇示スルタメニ浴室ヘ招イタラシイ。

.....

十七日。今日モ春久ガ来テタラシイ。

十八日……今日モピンキー・スリラーデアル。但シ十一日、十三日ト少シ違ウ。今日ハ彼女ガサンダルヒールヲ穿イテ這入ツテ来、ソノマヽシヤワーヲ浴ビテイル。

「何デソソナモノ穿イテルンダネ」

「ミュージツクホールノヌウド・シヨウナンカへ行クト、ミンナ裸デコレヲ穿イテ出テ来ルワ。足氣狂イノオ爺チャンニハ、コレモ魅力ジヤナイ？ トキ／＼足ノ裏ガ見エタリシテ」

ソレハヨカッタガ、ソノアトデ次ノ事件ガアツタ。

「今日ハオ爺チャン、ネツキングサセタゲマシヨウカ」

「ネツキングツテ何ノコトダネ」

「ネツキングヲ知ラナイノ？ コナイダオ爺チャンガシタジヤナ

イノ」

「頸ニ接吻スルコトカ」

「ソウヨ、ペツテイニングノ一種ヨ」

「ペツテイニンググツテ何ダネ、ソシテ英語ハ習ツタコトガナイ」

「才年寄ハ手数ガカ、ツテ困ルワネ、体ジユウヲ可愛ガルコトヨ、
ヘビー・ペツテイニンググツテ言葉モアルワ、才爺チャンニハ現代語
カラ教エナキヤナラナイ」

「ジャア、コ、ニキスサセテクレルンダネ」

「有難イトオ思イナサイ」

「三拜九拜スルヨ。ドウ云ウ風ノ吹キ廻シカ、アトガ恐シイナ」

「イ、覚悟ダワ、ソノ積リテイタライ、ワ」

「ジャ、ソレカラ先ニ聞コウジヤナイカ」

「マア兎二角、ネツキングヲナサイ」

結局予ノ方ガ誘惑ニ負ケタ。予ハ二十分以上モ所謂ネツキングヲ
ほしいまゝ、
 恣ニシタ。

「サア勝ツタ、モウイヤダナンテ云ワセヤシナイ」

「何ダネ、君ノ要求ハ」

「ビツクリシテ腰ヲ抜カサナイヨウニ」

「何ダヨ一体」

「コノ間カラ欲シイト思ツテタモノガアルノ」

「ダカラ何ダヨ」

「キヤツツ・アイ」

「キヤツツ・アイ？ 猫眼石カ」

「エ、ソウ、ソレモ小サイノジヤ駄目、男ガ箆メルヨウナ大キイノガ欲シイノ。実ハ帝国ホテルノアーケードノ店ニアルノヲ見付ケテアルノヨ、ドウシテモコレニシヨウト思ツテ」

「イクラダ」

「三百萬圓」

「何ダツテ」

「三百萬圓」

「冗談ジヤナイ」

「冗談ジヤナイワヨ」

「差当リソンナ金ハナイ」

「知ツテルワヨアタシ。チヨウドソノクライ都合ガツク筈ヨ。コレニ決メタカラ二三日ウチニ戴キニ上リマスツテ、チャントソウ云ツテ来チャツタ」

「ネツキングガソンナニ高クツクトハ思ワナカッタ」

「ソノ代り今日ダケデナクツテモイ、コレクライツデモサセタゲル」

「タカガネツキングダカラナ、本当ノ接吻ナラ価値ガアルケド」

「何ヨ、三拜九拜スルツテツタ癖ニ」

「エライコトニナツタナ、婆サンニ見ラレタラドウスル」

「ソ
ンナ
ヘ
マ
ヲ
ス
ル
モ
ン
デ
ス
カ」

「ソレニシテモ痛イナ、アンマリ年寄ヲイジメナイデクレ」

「ソウ云イナガラ嬉シソウナ顔ヲシテルワ」
事実予ハ嬉シソウナ顔ヲシタラシイ。

.....

十九日。颱風近ツクトノ報アリ。ソノセイカ手ノ痛ミガ激シク、
足ノ運動ガ不自由サヲ増ス。颯子ガ買ツテ来タドルシン^ンヲ三錠ズ
ツ日二三回服用、才蔭^ニテ痛ミハ軽クナル。コレハ経口剤^ニデアルカ
ラノブロン^ニヨリハ氣持ガイ、シカシアス^ニピリン^ニ系統ノ薬ナノデ、
甚シク発汗スルノニハ閉口スル。

午後忽々鈴木氏ヨリ電話、「颱風ガ来ルト困リマスカラ本日ノ鍼

ハ休マセテ戴キマス」トノコト。「承知イタシマシタ」ト云ワセテ寢室カラ書齋ニ来ル。途端ニ颯子ガ這入ツテ来タ。

「才約束ノモノヲ戴キニ来マシタ、コレカラ銀行へ行ツテ、ソノ足^デホテルへ廻リマス」

「颱風ガ来ルゼ、コンナ時ニ行カナイデモイ、ジャナイカ」

「氣ガ変ラナイウチニ戴クモノヲ戴イテ、一刻モ早クアノ石ヲコノ指ニ箆メテ見タイノ」

「僕ハ約束シタ以上、背キヤシナイヨ」

「明日ハ土曜日ダカラ寢坊スルト銀行ニ間ニ合ワナイ、善ハ急ゲツテ云イマスカラネ」

予ハコノ金ニハ別ノ用途ガアツタノデアル。

モト予ノ一家ハ本所割下水ニ数代前カラ住ンデイタガ、父ノ代ノ時本所カラ日本橋区横山町一丁目ニ移ツタ。ソレハ明治ノ何年頃デアツタカ幼少ノ時デ覺エガナイ。ソシテ大正十二年ノ大震災ノ後ニ今ノ家ヲ麻布狸穴ニ新築シテ移ツタ。新築シタノハ予ノ父デアツタガ、父ハ大正十四年、予ガ四十一歳ノ時ニ死ンダ。母ハソレニ後レルコト数年、昭和三年ニ死ンダ。麻布ノ家ヲ新築シタト云ツタガ、タシカ明治年間政友会ノ長谷場純孝ノ邸宅ガアツタ^{あたり}辺ダトカ云イ、前カラ古イ屋敷ガ建ツテイタノデ、ソノ一部ヲ残シテ大部分ヲ改築シタノデアアル。父ト母トハソノ古イ方ノ家ヲ隠居所ニシテ、土地ノ閑静ナノヲ愛シテイタ。戦災ノ時ニ又モウ一度改築シタガ、隠居所ダケハ奇蹟的ニ火災ヲ免レタノデ、今モナオ

父母アリシ日ノ姿ノマヽニ保存サレテイル。既ニボロヽヽデ使用
 ニ堪エズ、モハヤ誰モ住ンデイナイ。予ハソレヲ取り壊シテ近代
 建築ニ作り直し、ソコニ今度ハワレヽヽノ隠居所ヲ作りタイ考デ
 アルガ、ソレニハ今日マデ婆サンガ反対シテイタ。亡キ父母ノ隠
 栖ノ跡ヲ妄リニ毀^{こぼ}チ去ルノハヨクナイ。少シデモ長ク保存シテ置
 キタイト云ウ。ソんなコトヲ云ツテイタラ際限ガナイカラ、予ハ
 近々ニ婆サンニ無理ニ承諾サセテ壊^{こわ}シ屋ヲ入レヨウト思ツテイタ
 ノデアツタ。今ノ母屋^{おもや}デモ家族全部ヲ收容スルノニ狭過ギルト云
 ウコトハナイガ、予ガイロヽヽト企^{たくら}ンデイル悪事ヲ実行スルノニ
 ハ少シ不便デアル。新シイ隠居所ヲ作ルト称シテ、予ノ寢室ヤ書
 齋ヲ出来ルダケ婆サンノ寢室カラ遠クニ切り離シ、婆サン専用ノ

便所ヲ彼女ノ寢室ノ隣ニ設ケル。浴室ハ「婆サンノ便利ノタメ」ト称シテ純日本式ノ木製ノモノヲ、コレモ別ニ婆サンノ寢室ニ隣接サセル。予ノ浴室ハ予専用ノタイル張りニシテ、シャワーノ設備ヲスル。

「隠居所ニ風呂場ヲ二ツ作ルナンテ無駄ナコツチャアリマセンカ、ヨゴザンスヨ、アタシハ母屋デ佐々木サンヤオ静ト一緒ニ這入りマスカラ」

「マアオ前サンモ、ソノクライナ贅沢ハ許サレテモイ、サ、年ヲ取ツタラユツクリ風呂ニデモ漬カルクライガ樂シミダカラネ」

予ハ婆サンガ成ルベク自分ノ部屋ニ閉ジ籠ツテイテ方々家ノ中ヲ歩キ廻ラナイヨウニ工夫シタ。ツイデニ母屋モ改造シテ二階屋ヲ

平屋ニ直シタカツタガ、コレハ颯子ニ反対サレタノミナラズ、金ノ用意ガ不足シタ。デ、已ムヲ得ズ、隠居所ダケヲ新築スル積リダツタ。颯子ノ狙ツテイタ三百萬圓ハソノ金ノ一部ナノデアル。

「只今」

ト、颯子ガ早くモ帰ツテ来タ。凱旋將軍ノ如ク意氣揚々トシテイル。

「モウ行ツテ来タノカ」

ソレニハ答エズ、黙ツテ掌てのひらノ上ニ一箇ノ石ヲ載セテ見セル。ナルホド見事ナ猫眼ねこめデアル。予ハ新築ノ隠居所ノ空想ガコノ柔カイ掌ノ上ノ一点ト化シ去ツタコトヲ知ラサレル。

「コレ、何カラツトダ」

予モ掌ニ載セテ見ル。

「十五カラツト」

例ニ依ツテ忽チ左手ノ疾患部ガ甚シク痛ミ始メル。慌テ、ドルシ
 ンヲ三錠呑ム。勝チ誇ツタ颯子ノ顔ヲ見ルト、痛イコトガ溜ラナ
 ク楽シイ。隠居所ナンカ作ルヨリコノ方ガドンナニヨカツタカ。

……

二十日。颱風十四号イヨク接近、風雨強シ。ニモ拘ラズ、カネ
 テノ豫定ノ通り朝軽井沢ニ立ツ。颯子ト佐々木同伴スル。但シ佐
 々木ハ二等車デアル。佐々木ハ頻リニコノ天候ヲ氣ヅカツテ、モ
 ウ一日才延バシニナツタラト云ツタガ、予モ颯子モ承知シナカツ

夕。二人トモ妙ニ殺氣ダツテ、颱風ナンカイクラデモ吹ケト思ツ
 テイタ。猫眼石ノ魔力デアル。……

二十三日。本日颯子同伴帰京ノ積リテイタトコロ、子供達ノ学校
 モ始マルノデ、豫定ヲ早メテ明二十四日皆々引キ揚ゲルコトニス
 ルカラ、明日一緒ニ歸リマシヨウ、モウ一日才延バシナサイト婆
 サンガ云ウ。颯子ト二人デ旅ヲスル樂シミガ消シ飛ンデシマツタ。

二十五日。今朝カラ又牽引ヲ始メルトコロデアツタガ、結局利キ
 目ガナイノデ中止ト決定。鍼モ今月一杯デ止メヨウト思ウ。……
 ……颯子ハ早速今夜後樂園ジムへ出カケル。

九月一日。本日ハ二百十日デアルガ何事モナイ。浄吉今日ヨリ五日間ノ豫定デ福岡ニ飛ブ。

三日。サスガニ秋ノ気色けはいヲ感ジル。俄雨が去ツタ後空ガ快ク晴レル。颯子書齋ニ高粱ト雞頭、玄関ニ七草ヲ活ケル。ツイデニ書齋ノ軸ヲ代エル。荷風散人ノ七絶ノ色紙ヲ表装シタモノ。

ト宅麻溪七值秋

霜餘老樹擁西楼

笑吾十日間中課

掃葉曝書還曬裘

荷風ノ書ト漢詩ハサシテ巧ミデハナイケレドモ、彼ノ小説ハ予ノ愛読書ノ一ツデアル。コノ書ハ昔或ル美術商カラ手ニ入レタモノダガ、荷風ノ書ハ非常ニ偽筆ヲ上手ニ書ク男ガイタソウデアルカラ、コノ幅モ真偽ハサダカデナイ。荷風ハ戦火ニ焼カレル迄コ、ノツイ近クノ市兵衛町ノペンキ塗リノ木造ノ洋館ニ住ミ、偏奇館ト号シテイタ。「宅ヲ麻溪ニトシ七タビ秋ニ値ウ」ト云ウ所以デアル。

四日。拂曉、午前五時頃ト思ウ、ウトくシナガラ聞イテイルト、何処カデ蟋蟀こおろぎガパイパイト鳴イテイル。パイパイ、パイパイ、ト、カスカナ声デハアルガ、シキリニ聞エル。モウ蟋蟀ノ鳴ク季

節デハアルケレドモ、コノ部屋デ聞エルノハオカシイ。コノ家ノ庭ニモ稀ニ蟋蟀ガ鳴クコトハアルガ、コノ寢室ノベッドニ寢テイテ聞エルノハオカシイ。何処カラカ部屋ノ中ニ蟋蟀ガ紛レ込ンダノダロウカ。

予ハ凶ラズモ幼年ノ頃ヲ思イ起シタ。割下水ノ家ニ住ンデイタ時分、六ツカ七ツノ頃ダツタゞロウ、乳母ニ抱カレテ寢床ニ横ニナツテイルト、蟋蟀ガヨク縁側ノ外デ鳴イテイタ。庭ノ敷石ノ蔭カ縁ノ下カ何処カニ潜^{ひそ}ンデイテ、アザヤカナ声デ鳴キ立テル。鈴虫ヤ松虫ノヨウニ沢山ハ集ツテ来ナイ、常ニ必ズ一匹デアル。ガ、ソノ一匹ガ実ニハツキリト、耳ノ奥へ沁ミ入ルヨウニ鳴ク。スルト乳母ガ、

「ホラ、督チャン、モウ秋デゴザイマスヨ、蟋蟀ガ鳴イテオリマ
スヨ」

ト、ソウ云ツタモノデアツタ。

「ホラ、アノ声ヲ聞イテルト、『肩刺^さセ裾刺^さセ、肩刺^さセ裾刺^さセ』
ト云ツテルヨウニ聞エルデゴザイマシヨ、モウアノ声ガ聞エ出シ
タラ秋ナンデゴザイマスヨ」

ソウ云ワレルト、氣ノセイカ寢間着ノ白地ノ単衣^{ひとえ}ノ筒袖ヲ肌寒イ

風ガ冷エノト通り抜ケルヨウナ氣ガシタ。予ハ糊ノ硬^{こわ}イゴワ

くシタ単衣ヲ着セラレルノガ嫌イデアツタガ、寢間着ニハイツ

モ甘ツタルイ腐リカ、ツタヨウナ糊ノ匂イガシタ。ソノ匂イト蟋

蟀ノ鳴キ声ト秋ノ朝ノ肌ザワリトガ、予ノオボロゲナ遠イ記憶ニ

ハ一ツニナツテ残ツテイル。ソシテ七十七歳ノ今デモ明ケ方ニア
 ノパイパイト云ウ蟋蟀ノ声ヲ思イ出スト、アノ糊ノ匂イ、アノ乳
 母ノ物ノ云イ振り、アノゴワ／＼シタ寝間着ノ肌ザワリガ蘇よみがえツテ
 来ル。半バ夢ノ中デ自分ガ今モ割下水ノ家ニイルヨウニ感ジ、寝
 床ノ中デ乳母ニ抱カレテイルヨウニ感ジル。

ガ、今朝ハ、ダン／＼意識ガハツキリシテ来ルニ従イ、ソノパイ
 パイト云ウ声ガ、現ニ佐々木看護婦トベツドヲ並ベテイルコノ部
 屋ノ中デ聞エテイルノニ違イナイコトニ心ヅク。ソレニシテモ不
 思議デアル。コノ室内デ蟋蟀ガ鳴ク筈ガナイ。窓モドアーモ締マ
 ツテイルノデ、外カラ聞エテ来ル訳モナイ。ケレド確ニパイパイ
 ト鳴イテイル。

「オヤ」

ト思ツテ、予ハモウ一遍耳ヲ澄マス。ア、ソウカ、ソウダツタノカト、漸ク悟ル。何度モ何度モ聞キ直シテミル。ソウダ、確ニコレダ、コレダツタノダ。

予ガ蟋蟀ト聞イタノハ蟋蟀デハナク、予自身ノ呼吸音ダツタノデアル。今朝アタリハ空氣ガ乾燥シ、老人ノ喉ガカラ〜、二千涸^{から}ビ、風邪^{かぜ}ヒキ加減ニナツテイルセイデ、呼吸ガ喉ヲ入ツタリ出タリスル度毎ニピイピイト云ウ音ヲ発スル。喉^{のど}デスルノカ、鼻ノ奥^{から}デスルノカ、何処^{どこ}デスルノカハツキリ分ラナイガ、何処カソノ辺ヲ通り過ギル時ニピイピイト鳴ルノラシイ。ソレガ自分ノ喉ガ鳴ツテイルノダトハ思エナイデ、自分ノ体以外ノトコロカラ鳴ツテ来ル

ヨウニ聞エル。アンナパイパイシタ可愛イ声ガ自分ノ体カラ出テ
イルトハ思エズ、ドウシテモ虫ガ鳴イテイルヨウニ聞エル。ダガ
試ミニ息ヲ吸ツタリ吐イタリシテミルト、ヤツパリ間違イナクピ
イパイト鳴ル。面白クナツテ何度モ試シテミル。息ヲ強クスルト
音モ強クナリ、マルデ笛デモ吹イテイルヨウニパイパイト鳴ル。

「才眼覚メテイラツシヤイマスカ」

ト、佐々木ガ上半身ヲ起シタ。

「君、コノ音ガ何ダカ分ルカネ」

ト、予ハ又喉ヲ鳴ラシテミセタ。

「旦那様ノ呼吸ノ音デゴザイマシヨ」

「へエ、君ハ知ツテタノカネ」

「知ツトリマスワ、毎朝聞イテオリマスモノ」

「へエ、毎朝コンナ音ヲサセテタノカネ」

「旦那様ハ御自分デアンナ音ヲサセナガラ、御存知ナカツタンデゴザイマスカ」

「イヤ、コノ間カラ朝ニナルト聞エテタヨウナ気ガスルケレド、寝惚ケテタンデ蟋蟀ガ鳴クンダト思ツテタンダ」

「蟋蟀ジャゴザイマセン、旦那様ノ喉カラ出ルンデゴザイマスヨ。旦那様ニ限りマセン、才歳ヲ召スト誰方モ喉ガ干涸ビテ、息ヲナスル度ニ笛ノヨウナ音ガ出ルンデゴザイマスネ。御老人ニハヨクアルコトデゴザイマス」

「ジャ、君ハ前カラ知ツテタノカ」

「ハア、近頃ハ毎朝伺ツテオリマシタ、パイパイツテ、才可愛ラシイオ声デ」

「婆サンニモコノ声ヲ聞カシテヤロウ」

「知ツテラツシヤイマスヨ、ソシナコト」

「颯子ガ聞イタラ笑ウダロウナ」

「若奥様ダツテ御存知ナイコトガアルモンデスカ」

五日。今曉母ノ夢ヲ見ル。親不孝ノ予ニシテハ珍シイコトデアル。多分昨日ノ明ケ方ノ蟋蟀ノ夢ヤ乳母ノ夢ガ跡ヲ引イタノダト思ウ。夢ノ中ニ出テ来タ母ハ、予ノ記憶ニアル最モ美シイ最モ若イ時ノ姿ヲシテイタ。何処ト云ウコトハ明カデナイガ、多分割下水時代

ノ彼女ニ違イナイ。外出ノ時ニイツモ着テイタ鼠小紋ニ黒縮緬ノ羽織ヲ着テイタ。コレカラ何処へ出カケヨウトスルノカ、何処ノ部屋ヲ歩イテイルノカヨク分ラナイ。帯ノ間カラ莩入レト煙管ノ袋ヲ取り出シテ一服吸ツタ様子デアルカラ、茶ノ間ニ坐ツテイタヨウデモアルガ、イツノ間ニカ門外へ出タラシク、素足ニ吾妻下駄ヲ穿イテ歩イテイル。髪ハ銀杏返シ、珊瑚ノ根掛ねがけ、同ジ珊瑚ノ一ツ玉ヲ挿シ、蝶貝ちりばヲ鏤メタ鼈べつこう甲ノ櫛ヲサシテイル。髪ノ形ガソシニ委シク見エタノニ顔ハドウモハツキリ見エナイ。昔ノ人デ、母ハ身ノ丈ガ低ク、五尺ソコノダツタノデ、頭バカリ見エタノカモ知レナイ。ソレデモ母ニ違イナイコトハ分ツテイタ。残念ナコトニ予ノ方ヲ見テモクレナカッタシ、口ヲ利イテモクレナ

カツタ。予モ亦話シカケナカツタ。話シカケレバ叱ラレソウナ氣ガシタノデ黙ツテイタノカモ知レナイ。横網ニ親戚ノ家ガアルノデ、ソコヘ行ク途中ナンダロウト思ツタ。ホンノ一分間グライデ、ソレカラアトハ朦朧もうろうトナツテシマツタ。

眼覚メタ後モ、予ハ反芻はんすうスルヨウニ夢ノ中ノ母ノ姿ヲ思イ出シテイタ。明治ノ中期、二十七八年頃ノ或ル天氣ノイ、日ニ、母ガ我が家ノ門前ヲ歩イテ行キ、幼童ノ予ヲ往来デ見カケタコトガアルノカモ知レナイ。ソシテソウ云ウ或ル一日ノ印象ガ、コ、ニ蘇ツタノカモ知レナイ。ダガオカシイノハ、母ダケガ若キ日ノ姿ヲシテイテ、予ハ現在ノ老人ノマ、デアル。予ハ母ヨリモ身ノ丈ガ高く、母ヲ眼下ニ見オロシテイル。ソレデイテ矢張自分ヲ幼童ダ

ト思イ、母ヲ母ダト思ツテイル。ソシテ時ハ明治二十七八年頃ノ割下水ダト思ツテイル。コンナトコロガ夢ナノカモ知レナイ。

母ハ自分ノ悴ニ浄吉ト云ウ孫ガ生レタコトハ知ツテイタ。シカシ母ハ浄吉ガ五歳ノ時、昭和三年ニ死ンダノデ、孫ノトコロヘ嫁ニ来タ颯子ノコトハ知ル訳モナイ。颯子ト浄吉トノ結婚ヲ、予ノ妻デサエアンナニ激シク反対シタノデアルカラ、アノ時分マデ母ガ長生キシテイタラ、ドンナニ反対シタコトデアロウ。恐ラク二人ノ結婚ハ成立シナカッタニ違イナイ。イヤ始メカラ、ダンサー上リトノ結婚ナンテ考エラレモシナカッタ筈ダ。ソレガ成立シタバカリデナク、母ノ悴デアル予ガ孫ノ嫁ノ魅力ニ溺レ、彼女ニペツティングヲ許シテ貰イ、ソノ代償ニ三百萬圓ヲ投ジテ猫眼石ヲ買

ツテヤルナンテ事件ガアツタラ、母ハ驚イテ氣絶スルダロウ。萬一父ガ生キテイタラ、予モ浄吉モ勘当サレルニ決ツテイル。イヤ、ソレヨリモ、颯子ノ容貌風姿ヲ見タラ母ハ何ト思ウダロウ。

母ハ若イ時美人ト云ワレタ。予モ美人ト云ワレタ時代ノ彼女ノ姿ヲ記憶シテイル。予ガ十五六歳ニナルマデハ、ナオ彼女ハ昔ノ倂ヲ存シテイタ。ソノ倂ヲ心ニ浮かベテ、今ノ颯子ト比ベテ見ルト、實ニ何ト云ウ相違カ。颯子モ世間カラ美人ト云ワレテイル。浄吉ガ颯子ヲ妻ニシタ重ナ理由モソコニアツタ。ダガコノ二人ノ美人ノ間、明治二十七年ト昭和三十五年トノ間ニ、日本人ノ体格二何ト云ウ隔タリガ生ジタコトカ。母モ美シイ足ヲシテイタ。シカシ颯子ノ足ヲ見ルト、ソノ美シサガ全ク違ウ。殆ド同ジ種類ノ人間

ノ足、同ジ日本人ノ女ノ足トハ思ワレナイ。母ノ足ハ予ノ掌ノ上ニ載ルクライニ小サク可愛イカツタ。ソシテソノ足ヲ畳表ノ下駄ノ上ニ載セテ、極端ナ内股うちまたデ歩イタ。(ソウ云エバ夢ノ中ノ母ハ黒縮緬ノ羽織ヲ着ナガラ足ダケハ足袋ヲ穿イテイナカツタ。予ニコトサラニ素足ヲ見セルタメダツタロウカ) 明治ノ女ハ美人ニ限ラズ、誰デモアンナ風ニ内股デ歩イタ。マルデ鷺鳥ガ歩クヨウナ歩キ方ダツタ。颯子ノ足ハ柳やなぎがれい鰈ノヨウニ華奢デ細長イ。普通ノ日本人ノ靴ハ平ベツタクツテアタシノ足ニハ合ワナイト、颯子ハ自慢スル。反対ニ母ノ足ハ幅廣デアル。奈良ノ三月堂ノ不ふくう空けんじやく 索くわ 觀世音菩薩ノ足ヲ見ルト、予ハイツモ母ノ足ヲ思イ出ス。背ノ低サモ皆母ト同ジダツタ。五尺ニ足ラヌ女モ珍シクナカ

ツタ。予モ明治生レデアルカラ背ガ低ク、五尺二寸アルカナシダガ、颯子ハ予ヨリモ一寸三分高ク、一六一センチ五ミリアル。

顔ノ化粧ノ方法モ昔ハ甚シク違ツテモイタシ、簡單デモアツタ。

既婚ノ女、大概数工年十八九歳以上ハスベテ眉ヲ剃リ齒ヲ黒ク染メテイタ。明治モ中期以後ニナレバコノ習慣ハ次第ニ廃レタガ、

予ノ幼少時代マデハソウデアツタ。齒ヲ染メル時ハ特有ナ鉄漿かねノ

臭イガシタコトヲ予ハ今デモ覚エテイル。ソノ母ヲ今ノ颯子ガ見

タラ何ト感ジルダロウ。髪ヲパーマネットニシ、耳ニイヤリング

ヲ下ゲ、唇ヲコーラル・ピンクダノパール・ピンクダノコーヒー

・ブラウンダノニ塗り、眉まゆニまゆ二まゆ黛まゆ、まゆ二まゆアイまゆ・シヤドウヲ着ケ、フ

ォールス・アイラツシユデ附ケ睫ヲ着ケ、ソレデモ足りナイデマ

スカラーデ睫ヲ長ク見セヨウトスル。晝間ハダーク・ブラウンノ鉛筆デ、夜ハ墨ニアイ・シヤドウヲ交ゼテ眼張りヲスル。爪ノ化粧モコノ伝デ、詳細ニ書イタラソノ煩ニ堪エナイ。同ジ日本人ノ女ガ六十餘年ノ歲月ノ間ニ斯クモ變遷スルモノデアロウカ。思エバ予ハ随分長イ月日ヲ生キタモノヨ、数限リモナイ移リ変リヲ経験シタモノヨト、自ラ驚カザルヲ得ナイ。母ハ明治十六年ニ生ンダ我ガ子ノ督助ガ、ナオモコノ世ニ生存シテイテ、コノ颯子ノヨウナ女、而モ彼女ノ義理ノ孫、彼女ノ孫ノ正妻デアル女——ニ浅マシキ魅力ヲ感ジ、彼女ニイジメラレルコトヲ樂シミ、自分ノ妻、自分ノ子供達ヲ犠牲ニシテモ彼女ノ愛ヲ得ヨウトスルノヲ、何ト思ウデアロウカ。母ノ亡クナツタ昭和三年カラ数エテ三十三

年後二、悴ガコノヨウナ狂人ニナリ、コノヨウナ嫁ガ我が家ニ入り込ムニ至ツタコトヲ、夢ニモ考エタゞロウカ。イヤ、予自身デスラ、コンナコトニナロウトハ思イモ寄ラナカッタ。

.....

十二日。.....午後四時頃、婆サント陸子^{くが}ガ這入ツテ来ル。陸子ヲコノ部屋デ見ルノハ久シ振デアル。七月十九日ニ予ノ拒絶ニ会ツテカラ、彼女ハスツカリ予ニ愛想ヲ盡カシテイタ。婆サンヤ経助ト軽井沢ヘ立ツ時モ、ワザトコ、ヘ寄ラナイデ上野駅デ落チ合ツタ。先日軽井沢デハ努メテ予ト顔ヲ合ワサナイヨウニシテイタ。

ソレガ、婆サント連レ立ツテ這入ツテ来タノハ何カ仔細ガアルノ
デアル。

「コノ間ジユウハ子供達ガ長イコト御厄介ニナリマシテ」

「何カ用カネ」

予ハイキナリ、ズバリト聞イタ。

「イ、エ別ニ……」

「ソウカイ、子供達モ大層元気ラシカッタネ」

「有難ウゴザイマス、才蔭様デ今年モ大喜ビデ」

「不断メツタニ見ナイセイカ、三人トモ見違エルホド大キクナツ
タネ」

コ、デ婆サンガ口ヲ挟ンダ。

「ソレハソウト、陸子ガ面白イコトヲ聞イテ来マシタンデ、才爺
チャンニモオ耳ニ入レテ置キタイト思イマシテネ」

「ア、ソウ」

又何カイヤナコトヲ云イニ来ヤガツタト思ツテイルト、

「才爺チャン油谷サンヲ覚エテラツシャルデシヨウ」

「ブラジルへ行ツタ油谷ノコトカ」

「アノ油谷サンノ息子サンヲ御存知？ 浄吉ノ結婚ノ時父ノ代理

ダト云ツテ御夫婦デ出席シテ下スツタ——」

「ソんなコト覚エテイルモンカ。ソレガドウシタンダ」

「アタシモ覚エテナインダケレド、銚田トハ仕事ノ関係カラ近頃

懇意ニオナリニナツテ、時々オ目ニカ、ルコトガアルンデスツテ」

「ダカラサ、ソレガドウシタト云ウノサ」

「イ、エネ、ソノ油谷サンガ先週ノ日曜ニ御近所マデ参リマシタカラツテ、御夫婦デ銚田ノトコロヘオ寄りニナツタンデスツテ。

今考エルトアノ奥サン大層オシヤベリナ方ダツタカラ、ワザ／＼コレガ云イタクツテ寄ツタンジヤナイカツテ、陸子ハ云ウンデスガネ」

「コレトハ何サ」

「マア、コレカラ先ハ陸子ニオ聞キニナツテ下サイ」

安楽椅子ニ腰カケテイル予ノ面前ニ並ンデ立ツテイタ二人ハ、コ、デ「ドツコイシヨ」トソファニ腰ヲ据エタ。ソシテ、颯子ト四ツシカ違ワナイノニ、モウイ、加減中年婆サンニナツテイル陸子

ガ、アトヲ引キ受ケテ続ケタ。油谷ノ嫁ノコトヲオシヤベリダナ
ンテ云ウガ、彼女モオシヤベリデハ引ケヲ取ラナイ。

「コノ間、アタシ達ガ軽井沢カラ帰ツテ来タ明クル日ノ晩、先月
ノ二十五日ノ晩ニ、後樂園ジムニ東洋フェザー級タイトル・マツ
チガアツタデシヨウ？」

「ソナナコト知ルモンカ」

「マ、アツタンデスヨ。全日本バンタム一位ノ坂本春夫ガタイノ
バンタム一位ノシリノイ・ルクプラクリスヲノック・アウトシテ
初代チャンピオンガ生レタアノ晩デスヨ、——」

ソノシリノイ・ルクプラクリスト云ウ名ヲ陸子ハ流暢ニペラ〜
ト云ツテ退ケタ。予ナンカニハ到底一度デハ覚エキレナイシ、一

ト息ニハ云イ切レナイ。舌ヲ嚙ンデシマウ。流石オシヤベリハ違
ツタモンダ。

「——油谷サン夫婦ハ少シ早メニ出カケテ行ツテ前座ノ試合カ
ラ見テタンダソウデスガ、リングサイドノ奥サンノ右隣ノ席ガ二
ツ、最初ハ空イテタンダソウデス。ト、タイトル・マツチガ始マ
ロウトスル時大層スマートナ奥サンガ一人、片手ニベージュノハ
ンドバッグヲ持ツテ、片手ニ自動車ノキーヲ振り廻シナガラ這入
ツテ来テ隣ニ腰カケタンダソウデス。ソレヲ誰ダト思イマス？」

「……………」

「油谷サンノ奥サンハ結婚ノ時ニ颯チャンニオ目ニカ、ツタキリ
ナンデ、アレカラモウ七八年ニナル、ダカラ先さきさま様ハアタシノ顔

ナンカ忘レテラツシヤルノモ無理ハナイ、アノ大勢ノ中デスカラ、アタシミタイナモン始メツカラ眼中ニオアリニナラナカツタロウ、ケレドアタシノ方ジャ決シテ忘レツコアリマセン、何シロアノ方ハ一度見タラ忘レラレナイ世ニモオ綺麗ナオ方デスシ、アノ時分ヨリ又一倍オ美シクナツテラツシヤルンデスモノツテ、ソウ云ウンデス。デモ黙ツテイチャ悪イト思ツテ、卯木サンノ若奥様ジャイラツシヤイマセンカツテ、声ヲカケヨウト思ツタラ、ソノ時モウ一人、知ラナイ男ノ方ガ割り込ンデ来テ颯チャンノ隣ニ掛ケタシタソウデス、ソシテオ知り合イト見エテ仲好ク颯チャント話シ出シタンデ、ツイ御挨拶ヲ申シソビレタト云ウンデス」

「……………」

「マアソレハイ、——イ、コトハアリマセンケレドモ、ソノ話ハオ婆チャンカラ仰ツシヤツテ戴クトシテ、——」

「イ、コトナンカアルモンデスカ」

ト、コ、デ又婆サンガ口ヲ挟ンダ。

「ソレハオ婆チャンカラ仰ツシヤツテ下サイ、アタシハ遠慮イタシマス。ソレヨリ油谷サンノ奥サンガ何ヨリ先ニ眼ニ附イタノハ、颯チャンノ指ニ光ツテイタキヤツツ・アイダト云ウンデス。チヨウド自分ノ右隣ニイラシツタカラ、左ノ指ニ箆メテイラシツタノガハツキリ見エタ。奥サンノ見タトコロデハキヤツツ・アイト云ツタツテアンナ大キナ立派ナ石ハ、ソんなニザラニアルモンジヤナイ、恐ラク十五カラツト以上アルコトハ確カダト云ウンデス。」

今マデ颯チャンガソ
ンナ石ヲ持ツテタノヲ、才婆チャンモ見タコ
トハナイト仰ツシヤイマスシ、アタシモ知リマ
センケレドモ、イツアンナモノヲ買ツタンデゴ
ザイマシヨウネ」

「……………」

「ソウ云エバ岸サンガ総理大臣ダツタ時、佛印カ何処カデキヤツ
ツ・アイヲ買ツテ問題ニナツタコトガアリマシタツケネ。新聞ニ
ハアノ時ノ石ガ二百萬圓ト書イテマシタネ。佛印アタリハ寶石ノ
値ガ安インデスカラ、佛印デ二百萬圓ダツタラ日本へ持ツテ来レ
バ倍以上ニナルデシヨウ。トスルト颯チャンノ石ダツテ餘程ノモ
ノデシヨウネ」

「ソンナモノヲ誰ガイツノ間ニ買ツテオヤリニナツタンデシヨウ」

ト、コ、デ又婆サンガ一言シタ。

「何シロアマリ立派ナ石デ凄ク光ルモンデスカラ、油谷サンノ奥サンモ目ヲ圓クシテ何度モジロく見タンデシヨウネ、ソレデ颯チヤンモ氣ガ差シタト見エテハンドバツグカラレースノ手袋ヲ取り出シテ箆メタト云ウンデス、トコロガソレデ隠サレルドコロカレース越シニ却テ光ルノガ目立ツタ、ソレト云ウノガ、ソノ手袋ガ恐ラク佛蘭西製ノ手編ミノレースデ、而モ黒ノ手袋ナンデス、——黒ダト中ノ宝石ノ光ルノガ一層ヨク目立ツンデ、或ハ颯チヤンハソノ効果ヲ考エテワザト箆メタノカモ知レマセン。ソシテ細カイトコロマデ、ヨクマア觀察ナサイマシタワネツテ云ツタラ、ソリヤアタシノ右隣ニイテ左ノ手ニ箆メテラツシャルンダカラ、

イクラデモ觀察出来マシタ、アノ晩ハボクシングヨリアノレース
越シノ指ノ方ニ氣ヲ取ラレテ試合ヲ見損イマシタツテ、奥サンハ
仰ツシャルンデス」

.....

4

十三日。昨日ノ続キ。

「ネエオ爺チャン、颯子ガソンナモノヲ持ツテタ筈ハアリマセン
ガ、.....」

婆サンノ追及ハコゝへ来テ俄ニ急デアル。

「……………」

「ネエ、イツ買ツテオヤリニナツタンデス」

「イツダツテイゝジヤナイカ」

「イゝコトハアリマセンヨ、第一才爺チャンニシタツテソクナオ金ヲドウシテ持ツテラシツタンデス、陸子ニハ出銭ガ多クツテ困ルツテ仰ツシヤツタ癖ニ」

「……………」

「出銭ト云ウノハソクナコトダツタンデスカ」

「ソクナコトサ」

婆サンモ陸子モ呆レテ言葉モ出ナイト云ウ顔付。

「颯子ニ出シテヤル金ハアツテモ陸子ニ出ス金ハナイツテコトサ」
 コウ先ズ度胆ヲ抜イテヤツタガ、咄嗟ニ巧イ口実ガ浮カランダ。

「才婆チャンハ己ガ隠居所ヲ取り潰シテ建テ直スト云ツタラ、ソ
 レニ反対シタジヤナイカ」

「エ、反対シマシタトモ。アナタミタイナ親不孝ナ料簡ニ誰ガ賛
 成スルモンデスカ」

「サレバサ、全生院様モ止観院様モ何ト云ウ孝行ナ嫁よめじよ女ダロウ
 ト、草葉ノ蔭デオ前サンノコトヲオ喜ビニナツテルダロウヨ。ソ
 コデソノ用意ニ取ツテ置イタ金ガ浮イタ訳サ」

「浮イタニシタツテ何モ颯子ニアンナモノヲ買ツテオヤリニナル
 コトハナイデシヨウ」

「イ、ジャナイカ、ホカノ者ニ買ツテヤルンジャナイ、大事ナ嫁ニ宝石ヲ買ツテヤルンダ、佛様ダツテイ、コトヲシテヤツタ、感心ナ忤ダツテ才褒メニナルサ」

「建テ直シノ費用ナラソレダケツテコトハナイデシヨウ、マダ餘分ガアルデシヨウ」

「ア、アルトモサ、宝石ノ金ハソノ一部サ」

「ジャアソノ餘分ハ何ニナルノ」

「何ニシヨウト己ノ勝手ダ、餘計ナ干涉ハシテ貰イタクナイ」

「デモ何ニ才使イニナル才積リカ、参考ノタメニ伺ツテ置キタイノモンデスネ」

「サア、何カラ拵こしらエテヤロウカナ。庭ニプールガアツタライ、ナ

ツテ云ツテタカラ、先ズプールのヲ作ツテヤルカナ、ソウシタラド
ンナニ喜ブダロウナ」

婆サンハ何モ云ワナイ。黙ツテ眼ヲ圓クシテイル。

「プールのツテソんなニ早く作レルンデシヨウカ、モウ秋ジャアリ
マセンカ」

ト、陸子ガ云ウ。

「コンクリートヲ乾カスマデニ時間ガカ、ルンデ、今カラ工事ヲ
始メテモ完成スルノニ四カ月グライカ、ルソウダ。颯子ガスツカ
リ調ベテ来タンダ」

「出来上ルト冬ニナリマスネ」

「ダカラ格別急グコトハナイ、ユツクリ取りカ、ツテ来年ノ三四

月頃ニ完成スレバイ、ンダガ、チツトデモ早く完成サセテ喜ブ顔ガ見タインデネ」

コレデ陸子モ黙ツテシマウ。

「ソレニ颯子ハ普通ノ個人ノ家庭ニアルヨウナ狭インジヤイヤダ、少クトモ縦二十メートル、幅十五六メートル欲シイ。デナイト得意ノシンクロナイズド・スウイミングガ演リニクイ。一人デソレヲ演ツテ見セテ己ニ見セタイツテ云ウンダヨ。己ニソレヲ見セルノガ目的デプールヲ作ルヨウナモノナンダ」

「ソレデモソレハイ、コトデゴザイマスワネ、自分ノ家ニプールガ出来タラ経チャンダツテ喜ブデシヨウシ、……」

陸子ガ云ウト婆サンガ云ツタ。

「経助ノコトナンゾ考エテヤルヨウナマ、ジヤナインダカラネ、学校ノ宿題ダツテアルバイトノ学生ニ任セツキリナンダカラ。オ爺チャンダツテソウナンダカラ、ウチノ子供ハ可哀ソウダヨ」

「ダケドプールガ出来タ以上ハ経チャンダツテ飛ビ込ミマスヨ。辻堂ノ子供達モセイ／＼使ワシテ戴キマスワ」

「ソウダトモサ、イクラデモ這入りニ来ルガイ、」

飛ンダトコロデ敵ヲ取ラレル。マサカ経助ヤ辻堂ノ河童共ニ這入ルナト云ウ訳ニモ行カナイ。シカシ七月ハ下旬マデ学校ガアルシ、八月ニナレバ軽井沢へ追ツ拂ツテシマウ。問題ハ寧口春久デアル。「トコロデプールヲ作ル費用ハドノクライカ、ルンデス」

当然コノ質問ガ来ルコトヲ覚悟シテイタノダツタガ、大婆サンモ

小婆サンモツイ取り紛レテコノ大切ナ質問ヲスルコトヲ忘レテシ
 マツタ。予ハホツトシタ。ソレバカリデハナイ、婆サント陸子ノ
 意図スルトコロハ、コンナ工合ニジワく、ト攻メ立テ、先ズキ
 ヤツツ・アイノ件ヲ白状サセテ予ヲグウノ音モ出ナイヨウニサセ、
 ソレカラ颯子ト春久トノ関係ニ言及スル積リダツタニ違イナイガ、
 ソウナルト事件ガ深刻過ギルノデ迂闊ナコトハ云イ出セズ、躊躇
 シテイルトコロヘ持ツテ来テ予ノ高飛車ナ云イ方ガ尋常デナイタ
 メニ、結局云イソビレテシマツタラシイ。シカシイズレハ問題ニ
 セズニハ置カナイダロウガ。……………

十三日ハ大安デアル。夕刻カラ浄吉夫婦ハ友人ノ結婚式ニ出カケ
 ル。夫婦揃ツテ外出スルコトハ近頃珍シイ。浄吉ハタキシード、

颯子ハ訪問着。九月ト云ツテモマダ暑イノデ洋装ニスレバイ、ノ
 ニ、ナゼカ颯子ハ和服デアル。コレモ近頃珍シイ。白ノ一ひとこし越縮
 緬ノ裾模様ニ凶案化シタ樹木ノ枝ヲ黒ノ濃淡デ現ワシ、周囲ヲ淡
 イブルーデ影ノヨウニ絵取ツタモノヲ着テイル。衤おくみニモブルーノ
 裏ガチラツイテイル。

「ドウ、才爺チャン、見テ戴キニ来マシタノヨ」

「ソツチヲ向イテ御覧、グルツト一ト廻リ廻ツテ御覧」

帯ハ紹綴ろつづれノ袋帯。淡イコバルトニ少シ銀系ヲアシラツタ地色ニ、
 黄ガカツタ糸ト金糸デ乾山風ノ陶畫ヲ織リ出シタモノ。ヤ、小サ
 イ目ニ締メテ、垂レヲ普通ヨリ長イ目ニ垂ラシテイル。帯揚ゲハ
 紹ノ生地ニ白ト薄イピンクノ暈ぼかシ。帯締メハ金ト銀トヲ繩ノヨウ

二撚^よツタモノ。指環ハ琅玕ノ翡翠。白ノビーズノハンドバッグノ小サイノヲ左手ニ抱エテイル。

「和服モタマニハ悪クナイナ。イヤリングヤネックレスヲシテナイトコロガ氣ガ利イテルネ」

「オ爺チャンナカ〜分ルノネ」

颯子ノ後カラオ静ガ草履ノ箱ヲ持ツテ這入ツテ来、草履ヲ取り出シテ彼女ノ前ニ揃エル。スリッパヲ穿イテ来タ颯子ハ、ワザト予ノ眼ノ前デ草履ヲ穿イテ見セル。草履ハ銀ノ綴デ三段ノ高サノモノ、鼻緒ノ裏ダケニピンクガ使ツテアル。草履ガ新調ナノデナカ〜趾ノ股ニ喰イ込マナイ。オ静ガシャガンデ手伝イナガラ汗ヲ搔ク。ヤット穿ケテ一ト足ニタ足歩イテ見セル。彼女ハ足袋ヲ穿

イタ時ニ踝くるぶしノ突起ガ目立たナイノガ自慢ナノデアアル。多分ソノタ
 メニ和服ヲ着、ソレヲ見セルベク予ノ面前ニ現ワレタノデアアル。

………

十六日。コノトコロ毎日暑熱ガツゞク。九月モ中旬ダト云ウノニ
 コノ暑サハ異常デアアル。ソノセイカドウカ脚ガ非常ニ重ク且浮腫むく
 ンデイル。浮腫ふしゆハ脛ヨリモ足ノ甲ガ一層甚ダシク、趾ノ根モトニ
 近い辺ヲ指デ押シテ見ルト、恐ロシイホド深ク凹ム。ソシテイツ
 マデモ凹ミガ戻ラナイ。左足ノ第四趾ト第五趾ガ全ク麻痺シテイ
 ル。ソシテ裏側ガ葡萄ノ実ノヨウニ腫レ上ツテイル。重イノハ脹
 脛ヤ踝ノ上アタリモヒドイガ、足ノ裏ガ一番ヒドイ。何カ鉄板ノ

ヨウナ重味ノアルモノガ足ノ裏ヘペツタリ貼リ着イテイル感ジデ
 アル。コレハ左足ダケテナク、左右両方デアル。歩クト両脚ノ脛
 ガ妙ナ工合ニ纏もつレ合ツテ歩ケナイヨウニナル。下駄ヲ穿コウトシ
 テ縁側カラ下リル時、一遍ニスラ／＼ト下駄ガ穿ケタコトハナイ。
 必ズヨロケテ沓脱石ニ足ヲ落シ、時ニハ地ベタヲ踏ミ、足ノ裏ヲ
 汚よごス。斯様ナ各種ノ傾向ハ前々カラアツタケレドモ最近特ニ顕著
 デアル。佐々木ガ心配シテ毎日予ヲ仰向ケニ臥カセ、膝ヲ交互ニ
 組ミ合ワサセテ脚氣ノ検査ヲシテイルガ、脚氣デモナイラシイ。
 「杉田先生ニ来テ戴イテ綿密ニ調べテ戴カナケリヤ。心電図モ暫
 ク取りマセンカラ、取ツテ見ル必要ガゴザイマスネ。ドウモコノ
 浮腫ミ方ハ氣ニナリマス」

ト云ツテイル。

今朝又一ツノ事件ガアツタ。佐々木ニ手ヲ曳カレテ庭ヲ散歩シテイルト、囿イノ中ノ犬舎ニ入レテアル筈ノコリーガドウシタ間違イカ飛ビ出シテ来テ突然予ニ跳リカゝツタ。コリーノ方デハ戯レル積リナノダガ、思イモカケヌモノガ飛ビ着イテ来タノデ予ハ驚イタ。マルデ猛獸ガ現ワレタヨウナ氣ガシタ。抵抗スル隙モナク簡單ニ予ハ押し倒サレテ芝生ニ仰向ケニナツタ。大シテ痛クハナカツタガ、後頭部ヲ打ツタノガズシント腦ニ響イタ。起キ上ロウトシタガ直グニハ起キ上レズ、杖ヲ拾ツテ縋リナガラ立チ上ルマデニ数分ヲ要シタ。犬ハ予ヲ倒シテカラ次ニ佐々木ニ戯レカゝツタ。佐々木ガキヤアゝ云ウノヲ聞イテ、颯子ガネグリジエノマ

、駈ケ付ケテ来、

「レスリー、コレ！」

ト、チヨット叱ツテ睨ミツケルト、コリーハ忽チ従順ニナリ、颯子ノアトカラ尾ヲ振ツテ犬舎ノ方へ行ツテシマツタ。

「ドコモオ怪我ハゴザイマセンデシタカ」

立チ上ツタ予ノ浴衣ノ裾ヲ拂イナガラ佐々木ガ云ツタ。

「怪我ハナカツタガ、アンナ大キナモノニ飛ビ着カレルト、ヨボくノ老人ハドウニモナランネ」

「オ倒レニナツタノガ芝生ノ上ダツタノデ本当ニヨウゴザイマシタ」

予モ浄吉モ元来犬好きノ方ナノデ前ニモ犬ヲ飼ツタコトハアル。

シカシエアデールダノダツチフンドダノスピツツダノ、主トシテ
小柄ナ犬バカリ飼ツテイタ。大キナ犬ヲ飼ウヨウニナツタノハ浄
吉ガ嫁ヲ迎エテカラデアル。何デモ結婚後半年バカリ過ギテカラ、
「ボルゾイヲ飼ツテ見タイ」ト浄吉ガ云イ出シテ間モナク素晴ラ
シイノヲ一匹見付ケテ来タ。ソシテ訓練師ヲ雇ツテ毎日怠ラズ訓
練シタ。食事ノ世話、入浴ノ世話、ブラツシングノ世話ナド手ガ
カ、ルコト夥シイノデ、婆サンカラ女中達マデ不平ガ絶エナカツ
タガ、何ト云ツテモ浄吉ガ実行サセタコトハ当時ノ日記ニ記シテ
アル。ガ、後カラ考エルト、ソレハ浄吉ノ意志デハナク、颯子が
夫ニセビリツイタ結果ナノデアツタガ、最初ハソウト氣ガ付カナ
カツタ。二年後ニソノボルゾイハテンパーデ脳症ニ罹ツテ死ンダ

ガ、今度ハ颯子ガ正体ヲ現ワシテボルゾイノ代リニグレイハウ
 ドヲ飼ツテ見タイト自分カラ云イ出シ、犬屋ニ注文シ捜シテ来サ
 セタ。彼女ハソノ犬ヲクーパート名付ケテ寵愛スルコト一方ナラ
 ズ、野村ニ運転サセテクーパート相乗リデ街ヲ乗り廻シタリ、ソ
 コヲヲ曳ツ張ツテ歩イタリシタノデ、若奥様ハ経助坊チャンヨリ
 クーパーノ方ヲ才可愛ガリニナルナンテ云ワレタモノダガ、ソノ
 グレイハウンドハ老犬ヲ摑マサレタモノラシク、間モナクファイラ
 リアデ水ガ溜ツテ死ンダ。ソシテ三度目ニ求メタノガ今度ノコリ
 ーデアル。血統書ニ依ルトコノ犬ノ父ハロンドン生レデレスリー
 ト云ウ名ダツタノデ、ソノ仔モ同ジ名デ呼バレルコトニナツタ。
 コレラノコトモ当時ノ日記ニ委シク書イタ筈デアル。レスリーモ

颯子ノ寵愛ヲ蒙ムルコトクーパーニ劣ラナイノデアルガ、陸子ア
タリガ密カニ婆サンニ焚キツケタト見エテ、コリーノヨウナ大キ
ナ犬ハ飼ワナイ方ガイ、ト云ウ意見ガ、二三年前カラ家庭内ニポ
ツ〜擡頭シ始メテイタ。

ソノ理由ハ外デモナイ。二三年前マデハオ爺チャンモマダ足腰ガ
イクラカ達者グツタカラ、大キナ犬ニ飛ビ着カレテモ心配ナコト
ハナカツタガ、今日デハ事情ガ違ウ。犬ドコロカ猫ニ飛ビ着カレ
タツテ呆氣あつけナクコケテシマウダロウ。ウチノ庭ダツテ芝生バカリ
デハナイ、少シハ坂道モアルシ段々ヤ飛石モアル。ソナトコロ
デ押シ倒サレテ若シ打チドコロガ悪カツタラドンナコトニナルカ。
現ニ誰々サンノ所ノ老人ハ、チョットシエパードガ足元ニ絡ミ着

イタゞケデ転ンデ大怪我ヲシ、三カ月モ入院シテ未ダニギブスヲ
 箆メテイル。ダカラコリ―ハ止メルヨウニ才爺チャンカラ仰ツシ
 ヤツテヨ、アタシモソレトナク云ウンダケレド、アタシガ云ツタ
 ンジャ颯子ハ聴イテクレナインデスカラト、婆サンハ訴エルノデ
 アル。

「シカシアンナニ可愛ガツテルモノヲ、止セト云ウノモ可哀ソウ
 ダシ、……………」

「ソんなコトヲ仰ツシヤツテモ御自分ノ体ニハ代エラレマセンヨ」
 「第一止サセルニシタツテ、アンナズウタイノモノヲドウ処分シ
 タライ、ンダ」

「誰カ犬好キノ人デ貰イ手ガアリマスヨ、キツト」

「仔犬ナラ兔二角、アンナニ大キクナツタノハ飼イニクイモンダ
ゼ、ソレニ己ダツテレスリーハ嫌イジヤナインダ」

「才爺チャンハ颯子ニグツト睨マレルノガ恐インデシヨウ、今ニ
大怪我ヲナスツテモイ、ンデスカ」

「ジャアオ前サンガ云ツテヤツタライ、ジヤナイカ、ソレデ颯子
ガ承知スルモンナラ己ハ文句ヲ云ワナイカラ」

ダガ実ノトコロ、今トナツテハ婆サンモ云エナイノデアル。ソレ
デナクテモ「若奥様」ノ権力ガ日ニ日ニ「御隠居様」ヲ凌ギツ、
アルノニ、犬一匹ノ処置ノ問題ガ因ニナツテドンナ大喧嘩ニナル
カモ知レナイ、ソレヲ思ウトウツカリ戦端ヲ開ク訳ニ行カナイ。
本当ノコトヲ云エバ、予モレスリーガ餘リ好キデハナイノデアル。

ヨク考エルト、颯子ノ手前好キヲ装ツテイルニ過ギナイノダト云
ウコトニ、自分デモ氣ガ付クコトガアル。彼女ガレスリート相乗
リシナガラ出て行ツタリスルノヲ見カケルト、何トナクイ、氣持
ハシナイ。浄吉トノ相乗リナラ当然ノコトダシ、春久トデモ仕方
ガナイト諦メルガ、犬デハ嫉妬モ出来ナイダケニ腹立タシイ。ソ
ノ癖コノ犬ハ顔立ガ貴族的デ、一種ノノールナ感じガスル。黒人
臭イ春久ナンカヨリ容貌秀麗ト云エルカモ知レナイ。颯子ハソレ
ヲ自分ノ座席ノ隣ニスワラセ、ピツタリ体ヲ寄セ着ケテ乗ル。ソ
シテ首ツ玉ヘ齧リ着キ、頬ヲ擦リ寄セテ走ラセル。アレデハ往来
ノ人ガ見テモ氣ガ悪カロウ。

「外デハアンマリアンナ真似ハナサイマセン、且那ガ御覽ニナツ

テイラツシヤル時ニヨクアンナ真似ヲナサルンデス」

ト野村ハ云ウガ、ソウダトスレバ、コレモ予ヲ擲^や擧^ゆスル積リナノカモ知レナイ。

ソウ云エバ予ハ颯子ニ媚ビル氣持カラ、彼女ノ前デ心ニモナクレスリ―ニ優シイ言葉ヲカケテヤリ、困イノ外カラ菓子ヲ投ゲテヤツタコトガアツタ。スルト颯子ハ真顔ニナツテ予ヲ叱ツタ。

「何ナサルノヨオ爺チャン、勝手ニオ菓子ナンゾ遣ラナイデ頂戴。――ホレ御覽ナサイ、チャント訓練ガ行キ届イテルカラ、オ爺チャンノ才遣リニナツタモノナンゾ食ベヤシナイワ」

ソウ云ツテ彼女ハ自分ダケ困イノ中へ這入ツテ行ツテ、ワザトコレ見ヨガシニレスリ―ヲ愛撫シテ見セ、接吻デモシカネマジク頬

擦リヲシテ、

「妬やケルデシヨ」

ト云ワンバカリニ、ニヤリト笑ツタコトガアツタノヲ思イ出ス。
彼女ノ喜ビヲ買ワンガタメニ負傷ヲシテモ惜シイトハ思ワナイ、
ソノ負傷ガ原因デ死ヲ招イタトシテモ、ムシロ望ムトコロデアル。
ダガ、彼女ニ踏ミ殺サレルノデハナク、彼女ノ犬ニ踏ミ殺サレル
ノデハ遣リ切レナイ。…………

午後二時杉田氏来診スル。今日デナクテモヨカッタノダガ、犬ノ
事件ヲ早速佐々木ガ知ラセタノデアル。

「エライ目ニ才会イニナリマシタソウデ」

「ナアニ何デモアリマセンヨ」

「兎二角見セテ戴キマシヨウ」

臥カサレテ手ヤ足腰ヲ委シク検査サレル。肩ヤ肘ヤ膝頭ガ儂麻りゆうま

質ちノヨウニ痛ムノハ前カラノコトデレスリーノセイデハナイ。

幸イニシテレスリーニハ何ノ被害モ受ケナカッタラシイ。杉田氏ハ心臟ヲ何度モ打診シテ見、背中ヲ調べ、深呼吸ヲサセ、携帶用ノ心電計デ心電図ヲ取り、

「格別御心配ナコトハナイト思イマスガ、帰りマシテカラ後程結果ヲ御報告申シマス」

ト云ツテ歸ツテ行ツタ。

夜ニナツテ報告ガアツタ。

「心電図ノ結果ハ矢張格別ノコトハアリマセン。御老人ノコトデ

スカラ多少ノ變化ハ已ムヲ得マセンガ、コノ前測ツタ時ト比ベテ
異状ハアリマセン。ソレヨリ一度腎臟ノ検査ヲシテ見ル必要ガア
リマスナ」

ト云ウ。

二十四日。佐々木ガ今日ノ夕方カラ子供ニ会イニ行カシテクレト
云ウ。先月行カシタキリナノデ許サナイ訳ニ行カナイ。明日午前
中ニハ戻ルノデアルガ、生憎明日ハ日曜デアル。土曜カラ日曜ニ
カケテノ方ガ、落着イテ子供ニ会エルノデ佐々木ニハ都合ガイ
、ノダガ、コチラハ颯子ガ何ト云ウカ、聞イテ見ル必要ガアル。
婆サンハ七月以来佐々木ノ代理ハ御免蒙ムルト云ツテイル。

「イ、ジャナイノ、折角樂シミニシテルンダカラ佐々木サンヲ行カシテオヤンナサイヨ」

「君ハソレデイ、ノカネ」

「何デソンナコトヲオ聞キニナルノ？」

「明日ハ日曜ダゼ」

「エ、分ツテルワ、ソレガ何ダツテ云ウノ？」

「君ハドウデモイ、ツテ云ウカモ知レナイケレド、浄吉ハコノトコロ旅行バカリシテタジヤナイカ」

「ソレガ何ナノ？」

「タマノ土曜日曜ニ家ニイルンダカラネ」

「ダカラ何ナノヨ」

「タマニハユツクリ自分ノ家デ女房ト一緒ニ朝寝坊ヲシタイダロ
ウヨ」

「不良爺サンデモ時ニハ忤ニ孝行スル氣ガアルノネ」

「罪亡ボシニネ」

「餘計ナオ世話ダワ、浄吉ノ方ジャ有難迷惑ダツテ云ウワ」

「ドウダカネ」

「イ、ワヨ、ソンナ心配ヲシテ下サラナイデモ。チャント今夜ハ
佐々木サンノ代理ヲシテ上ゲルワ。オ爺チャンハ早起キナンダカ
ラ、ソレカラ彼ノ所へ行クワ」

「寝込ミニ蹈ン込ンデ眼ヲ覺マサセルノモ可哀ソウダナ」

「ナアニ寝ナイデ待ツテルデシヨウヨ」

「コイツハヤラレタ」

夜九時半入浴、十時就寝。例ニ依ツテ彼女ノタメニオ静ガ籐ノ寝椅子ヲ運ンデ来ル。

「又ソソナモノニ寝ルノカイ」

「何デモイ、カラオ爺チャンハ黙ツテオ休ミナサイ」

「籐椅子ナンゾジャ風邪ヲ引クヨ」

「風邪ヲ引カナイヨウニ毛布ヲ沢山持ツテ来サセルノ。オ静ガ萬事心得テルカラオ静ニ任シテ置ケバイ、ノ」

「風邪ヲ引カシチャ浄吉ニ済マナイカラナ。——イヤ、浄吉ニダケジャナイ」

「ウルサイワネ、又アダリンガ欲シイツテ顔ネ」

「二錠ジャ利カナイカモ知レナイ」

「嘘仰ツシヤイ、先月モ二錠ガ直グ利イチャツテ、飲ンダト思ツ
 タラモウ死ンダヨウニ寝テラシツタワ、口ヲアングリ開ケテ涎よだれヲ
 垂ラシテ」

「嚙ダラシノナイ顔ツキヲシテタバロウナ」

「御想像ニ任セルワ、ダケドオ爺チャン、アタシト寝ル時ハナゼ
 入レ齒ヲオ外シはずニナラナイノ、イツモ外シテオ休ミニナルコトグ
 ライ知ツテルワヨ」

「夜寝ル時ハ外シテル方ガ楽ナンダガ、外スト餘リ老醜ヲ極メタ
 顔ニナルンデネ。婆サンヤ佐々木ニナラ見ラレテモイ、ケレド」

「アタシハ見タコトガナイト思ツテラツシャルノ」

「アルノカネ」

「去年瘧けいれん癩れんヲ起シタ時、半日モ昏睡シテラシツタジヤナイノ」

「アノ時見タノカ」

「入レ齒ナンゾ、アツタツテナクツタツテ同ジコトダワ、隠スダケオカシイ」

「隠ス氣ナンカナインダガ、人ニ不愉快ヲ与エタクナイト思ツテネ」

「外サナケレバ隠セルト思ウノガオカシイ」

「ジャア外ス。——ホラ、見テクレ、コンナ顔ダ。——」

予ハ寢台カラ立チ上ツテ彼女ノ前ニ行キ、面ト向ツテ先ズ顎あごつき附ノ総入レ齒ヲ上下共ニ外シ、ナイト・テールノ入レ齒ノ箱ノ中

二入レタ。ソシテワザト上下ノ齒齶はぐきヲ強ク噛ミ合ワセ、顔ノ寸法ヲ出来ルダケ縮メテ見セタ。鼻ガペシヤンコニナツテ唇ノ上ニブラ下ツタ。チンパンジーデモコノ顔ニ比レバ優シダ。予ハ上下ノ齒齶ヲ何度モパクくト離シタリ合ワシタリシテ黄色イ舌ヲ口腔デベロくサセ、思イキリグロナザマヲシテ見セタ。颯子ハジツトソノ顔ヲ見ツメテイタガ、ナイト・テーブルノ抽斗カラ手鏡ヲ出シテソレヲ予ニ突キ付ケテ云ツタ。

「ソノ顔、アタシニ見セタツテ何デモナイワ、ソレヨリ自分デ自分ノ顔ヲヨク見タコトガオアリニナルノ？ ナケレバ見セテ上ゲマシヨウ。——ホラ、コンナ顔ヨ」
ソウ云ツテ予ノ顔ノ前ニ鏡ヲ支エタ。

「ドウ？　コノ顔ハ？」

「何トモ云エナイ老醜ナ顔ダ」

予ハ鏡ノ中ノ顔ヲ見テカラ、次ニ颯子ノ容姿ヲ見ル。ドウシテモコレラノニツガ同ジ種類ノ生物ノモノトハ信ジラレナイ。鏡ノ中ノ顔ヲ醜惡ト思エバ思ウホド、イヨ／＼颯子ト云ウ生物ガ限りモナク優秀ニ見エル。予ハ鏡ノ中ノ顔ガモツト醜惡デアツテクレタラ、颯子が尚コノ上ニモ優秀ニ見エタゞロウニト残念ニ思ウ。

「サア寝マシヨウヨオ爺チャン、早くソツチへ行ツテ頂戴」

「アダリンヲ持ツテ来テ貰イタイナ」

予ハ予ノ寢台へ戻リナガラ云ツタ。

「今夜モオ休ミニナレナイノ？」

「君ト一緒ダトイツモ興奮サセラレル」

「アンナ顔ヲ見テ興奮スルコトハナイデシヨウ」

「アノ顔ヲ見タ上デ君ノ顔ヲ見ルト、溜ラナク興奮スル。コノ心理ハ君ニハ分ルマイ」

「分ラナイワネ」

「ツマリ、僕ガ醜悪デアレバアルダケ、君ガ途方モナク美シク見エルツテコトサ」

予ノ言葉ヲ上ノ空デ聞イテ彼女ハア|ダリ|ンヲ取りニ行ツタ。ソシテアメリカ煙草ノクール|ル|ヲ一本指ニ挟ンデ戻ツテ来タ。

「サ、口ヲアーント開イテ。習慣ニナルトイケナイカラ今夜モニ錠ヨ」

「口移シニシテクレナイカナ」

「ソノ顔ヲ考エテモノヲ仰ツシヤイ」

ソレデモ手デ摘マンデ入レテクレル。

「ヘエ、君ハイツカラ煙草ヲ吸ウンダ」

「近頃トキ／＼二階デ内證デ吸ツテルノ」

手ノ中デライターガ光ル。

「吸イタクモナイケド、コレモアクセサリーノ一種ネ。今夜ハ今
ノ口直シ」

.....

二十八日。……：雨ノ日ハ手足ノ工合ノ悪サガ一層ヒドク、雨ガ降り出ス前ノ日アタリカラ豫感ガアルノダガ、今日ハ朝起キルトキカラ手ノ痺^{しび}レ加減モ脚ノ浮腫ミ加減モ纏^じレ加減モ甚^じダシイ。雨デ庭ニハ出ラレナイガ、廊下ヲ散歩スルダケデモ容易^じデナイ。直グヨチ〜シテ倒レソウニナルノデ、縁側カラ落チヤシナイカト心配^じデアル。手ノ痺レハ肘カラ肩ノ辺ニマデ及ビ、コノマ、半身不随ニナリハシナイカト思ウ。夕刻、六時頃カラ手ノ冷エ方ガ一層激シクナル。マルデ氷ノ中へ漬ケタヨウニ無感覺ニナツテイル。イヤ、無感覺ト云ツタケレドモ、冷エ方モコレホドニナルト、痛ミト似タモノヲ覺エル。ソノ癖他人ガ触ルトツメタクナイ、普通ノ温カイ手ヲシテイルト云ウ。当人ダケガ耐エ難クツメタク感^じジ

ルノデアル。前二モ度々コンナツメタサノ経験ヲシタコトガアルガ、ソシテ大体真冬ノ寒中ニソウナルコトガ多イノダガ、必ズシモ冬トハ限ラナイ。デモ今日ノヨウニ、九月中ニコンナコトガアルノモ珍シイ。前ノ経験ニ従エバ、コウ冷エル時ハ大キナタオルヲ熱湯ニ浸シテ手ノ先カラ腕全体ヲ包ミ、又ソノ上カラ厚地ノ本ネルデ包ミ、又ソノ上ニ白金懷炉ヲ二箇所グライ当テル。ソレデモ十分間グライデ冷エテシマウノデ、枕元ニ熱湯ヲ運ンデ置イテタオルヲ熱シ直シテハ包ム。ソウ云ウ処置ヲ五六遍繰リ返ス。湯ガサメルノデ薬罐ニ入レタ熱湯ヲ絶エズ運ビ入レテ洗面器ニ注グ。今日モコノ方法ヲ繰リ返シテ漸クイクラカ冷エ込ミガ減ジル。

5

二十九日。昨夜ヤ、長時間湯二漬カツタ才蔭やわテ手ノ痛ミ少シ和ギ
 安眠スルコトヲ得タ。ガ、明ケ方眼ガ覚メテ見ルト又痛ミ出シテ
 イルノニ心ヅク。雨ハ止ンデ空ハ綺麗ニ晴レ上ツテイル。体ガ丈
 夫デサエアレバコンナ秋日和ノ日ハドンナニ爽快デアロウ、予モ
 四五年前マデハソノ爽快味ヲ満喫シテイタノニト思ウト、クヤシ
 クモ忌マくシイ。ドルシン三錠服用。

午前十時血壓ヲ測ル。上一〇五、下五八ニ降下。佐々木ニス、メ
 ラレテクラツカー二個ニクラフトチーズ少量ヲ添エテ食ベ、紅茶
 一杯飲ム。ソシテ約二十分後モ一度測ツテ見ル。上一五八、下九

二二上ツテイル。短時間内ニ血壓ノ變動ガカヨウニ激シイノハヨロシクナイ。

「ソナニ詰メテ書キ物ヲナサラナイ方ガヨクハゴザイマセンカ、又痛ミ出スト心配デゴザイマス」

予ガ日記ヲツケテイルノヲ見テ佐々木ガ云ウ。日記ノ内容ヲ読マセハシナイガ、コウ頻繁ニ看護婦ノ必要ガ起ルト、佐々木ニハ或ル程度察知サレテモ仕方ガナイ。今ニ墨グライハ磨ツテ貰ウヨウニナルカモ知レナイ。

「少シハ痛クツテモコンナコトヲシテイル方ガ氣ガ紛レルヨ、痛クテ溜ラナクナツタラ止メル、今ノウチハ仕事シテイル方ガイ、アツチへ行ツテ、クレ給エ」

午後一時ヨリ午睡、一時間ホドトロく／＼トスル。覺メテ見タラ汗ヲビツシヨリ搔イテイル。

「コレデハ風邪ヲオ引キニナリマス」

佐々木ガ又這入ツテ来テ汗デ濡レテイルガ^ーゼ^ノ肌着ヲ着力エサセル。額モ頸ノ周リモ気味悪クベトく／＼ニナツテイル。

「ドルシンモイ、ガ、コウ汗ヲ搔イチャ遣リ切レナイ、何カ外ノ薬ハナイカナ」

午後五時杉田氏来診。薬ガ切レタセイカ又激痛ガ始マル。

「ドルシンハ汗ガ出テイヤダツテ仰ツシヤルンデス」

佐々木ガ杉田氏ニ訴エテイル。

「困リマシタナ、ドウモ。タビく／＼申シ上ゲル通り、コノオ痛ミ

ハ脳中枢カラノ原因ガ二三、他ノ六七分ハ頸椎ノ生理的變化ニ依ル神經痛ト云ウコトニ、レントゲン検査ノ結果診斷ガツイテオリマス。コレヲ直スニハギプスベッド力牽引法デ神經ノ壓迫ヲ取り除クヨリ外ハナインデスガ、ソレニハ三四カ月ノ御辛抱ガ必要ナンデス。シカシ御老人ノコトデスカラソノ御辛抱ガ辛イト仰ツシヤルノモ無理ハアリマセン。デスガソウナルト藥デ一時ヲ糊塗ナサルヨリ方法ハゴザイマセン。藥ハイロ〜ゴザイマスカラ、ドルシンモオイヤ、ノブロンモオイヤデシタラ、取り敢エズパロチンノ注射デモシテ見マシヨウ、一時ノ苦痛ハ凌ゲルト存ジマス」注射ノ結果ヤ、輕快ニ赴ク。……………

十月一日。引キ続キ手ノ痛ミ去ラズ、痛ミハ小指ト薬指トガ最モ激シク、親指ノ方へ行クホド軽カツタノデアルガ、漸次五本ノ指全体ニ及ビツ、アル。掌ダケデナク、手頸ノ方ニカケテ、小指ニツバク尺骨ノ茎状突起、及ビ橈骨ノ突起マデ痛ミ、手頸ヲグルリト廻ソウトスルト殊ニ痛ンデ巧ク廻ラナイ。麻痺ハ手首ガ最モヒドク、手ノ廻ラナイ感ジモ何処マデガ麻痺デ何処マデガ痛ミト云ツテイ、カ區別ガツカナイ。午後ト夜間ト。パロチンヲ二回注射スル。……………

二日。痛ミ止マズ、佐々木ガ杉田氏ト相談シテザルソブロカノンヲ注射。……………

四日。ノブロンノ注射ハイヤナノデ座薬ヲ試ミル、餘リ効果ナシ。

……

九日。四日以後本日マデ殆ド痛ミ続ケナノデ日記ヲツケル元気モナカッタ。寢室ニ横臥シタキリデ佐々木ガ毎日附キ、リデ看護シテイタ。今日ハソレデモヤ、元気ナノデ少シ書ク氣ニナル。過去五日間ニ実ニイロくノ薬ヲ打ツタリ飲ンダリシタ。ピラビタール、イルガピリン、又シテモパロチン、イルガピリン座薬、ドリデン、プロバリン、ノクターン等々、服用シタ様々ノ薬ノ名ヲ佐々木ニ教エテ貰ツタガ、マダコノ外ニモアツタカ知レナイ。トテ

モ一度デハ覺エキレナイ。ドリデントプロバリントノクターントハ鎮痙劑デハナク睡眠劑デアル。アンナニ寝ツキノヨカツタ予モ、コノトコロ痛苦ノタメニ寝ツカレズ、各種ノ睡眠劑ヲ用イテイル。婆サント浄吉ガトキ／＼見舞ニ来タ。

五日ノ午後、最モ痛ミノ激シカツタ日デアツタ、婆サンガ始めテ病室ヲ覗イテ云ツタ。

「颯子ハ伺ツタモノカドウカ、ドウシタライ、デシヨウツテ云ツテルンデスガ、……………」

「……………」

「伺ツタライ、ジャナイカ、コンナ時コソオ前サンノ顔ヲ御覽ニナツタラ、イクラカデモ痛ミヲオ忘レニナルヨツテ云ツテヤツタ

ンデスガネ」

「馬鹿」

イキナリ予ハ怒鳴ツタ。ドウ云ウ訳デ怒鳴ル氣ニナツタノカ、予自身ニモ分ラナカツタ。コンナ情なまけナイ姿ノトコロヲ彼女ニ見ラレテハ極マリガ悪イ、ト、思ツタ途端ニコノ言葉ガ出タノデアルガ、正直ヲ云ウト来テ貰イタクナイコトモナカツタ。

「へー、颯子ガ伺ツテハ悪インデスカ」

「颯子バカリジヤナイ、陸子くがナンゾ見舞ニ来ヤガツタラ承知シナイゾ」

「ソリヤ分ツテマスヨ、イクラ痛イト仰ツシヤツテモ手ノコトダカラ心配ハナイ、才前サンハ遠慮シナサイツテ、コナイダモ陸子

ヲ追イ返シタンデス。陸子ハ泣イテマシタガネ」

「何ヲ泣クコトガアルンダ」

「五子モ出テ来ルツテ云ツテマシタカラ固ク止メテアルンデス。」

デスガ颯子ハイ、ジャアリマセンカ、ドウシテ颯子ヲオ嫌イニナルンデス」

「馬鹿々々々々、嫌イダナンテ誰ガ云ツタ、嫌イドロカ好キ過ギルンダ、好キ過ギルカラコンナ時ニ会イタクナインダ」

「マア、ソウ云ウモンデゴザイマスカネエ、ソレハ氣ガツカナイコトヲ申シマシタガ、ソんなニオ怒リニナラナイデ下サイ、怒ルノガ一番体ニ障リマスカラ」

婆サンハ赤ン坊ヲ宥なだメルヨウナ口調なだデ云ツテ、這ウくノ体なだデ出

テ行ツテシマツタ。予ハ婆サンニ突然急所ヲ突カレタノデ、明カニ狼狽シテ照レ隠シニ怒ツタノデアツタ。婆サンガ行ツテシマツテカラ一人デ静カニ考エテ見ルト、アンナニ怒ラナイデモヨカツタ、颯子が婆サンカラ聞イテドンナ風ニ取ツタカト、シキリニ氣ニナツテ仕様ガナカツタ。予ノ腹ノ中ヲ隅カラ隅マデ見抜イテイル彼女デアルカラ、マサカ悪ク取りハシマイト思ウガ、……………

「ソウダ、ヤツパリ会ツタ方ガイ、カナ、二三日ウチニ機会ヲ窺うかがツテ何トカ巧ク持チカケテ見タラ、……………」

今日ノ午後、フト予ハ考エタ。手ハ又今夜アタリカラ痛ミ出スニ決マツテイル、——痛ミ出スノヲ期待シテイルヨウデアルガ、

——ソノ最モ痛イ時ヲ狙ツテ颯子ヲ呼ビ入レル。「颯子々々、

痛イヨ、痛イヨ、助ケテオクレヨウ！」ト、予ハ子供ノヨウニ泣
 キ喚^{わめ}ク。颯子ガ呆レテ這入ツテ来ル。「コノ爺サン、本氣デコン
 ナニ泣イテルノカ知ラ、何ヲタ克蘭デルカ知レタモンジヤナイ」
 ト用心シナガラ、ウワベハ驚イタ風ヲシテ空ツトボケテ這入ツテ
 来ル。「己ハ颯子ニダケ用ガアルンダ、外ノ人間ニナンカ用ハナ
 インダ！」ト、予ハ又喚イテ佐々木ヲ追ツ拂ツテシマウ。二人キ
 リニナツタトコロデ、サテドンナ風ニ切り出シタモンカナ。

「痛インダヨウ、助ケテオクレヨウ！」

「ハイ、ハイ、才爺チャン、アタシニドウシロツテ仰ツシヤルノ
 ヨ、何デモスルカラ仰ツシヤツテヨ」

ト、ソウ来テクレ、バ締メタモンダガ、迂闊ニソウハ云イソウモ

ナイ。ソコロ何トカ口説キ落ス法ハナイカナ。

「接吻シテクレ、バ痛イノヲ忘レルヨウ」

「足ナンカジヤ駄目ダヨウ」

「ネツキングデモ駄目ダヨウ」

「ホントノ接吻デナクツチャイヤダヨウ」

コンナ工合ニ散々駄々ヲ捏ネテ泣キ声ヲ立テ、悲鳴ヲ上ゲテ見タラドウカ。サシモノ彼女モ仕方ナク折レテ来ヤシナイカ。二三日ウチニ一ツ実行シテ見ルカナ。「最モ痛イ時ヲ狙ツテ」ト云ツタガ、本当ニ痛イ時デナクテモイ、痛イ振りヲシテヤレバイ、。タゞコノ髯ダケハ剃ツテ置キタイナ。四五日剃ツテイナイノデ顔ジユウ髯ダラケニナツテイル。コノ方ガ病人臭クテ却テ効果的ナ

ンダガ、接吻ノ場合ヲ考エルト、コンナニ髯ボウ／＼トシテイタ
ンジャ都合ガ悪イ。入レ齒ハ矢張外シテ置コウ。ソシテ口中ハ目
立タヌヨウニ清潔ニシテ置コウ。……………

ナンカント云ツテルウチニ、今日モ夕方カラ痛ミ出シタ。モウ何
モ書ケナイ。……………筆ヲ放リ出シテ佐々木ヲ呼ブ。……………

十日。イルガピリン一筒○・五CC注射。久シ振ニ眩暈ヲ覚ユ。
天井ガグル／＼廻リ一本ノ柱ガ二三本ニ入り乱レテ見エル。五分
間グライ続イテ平常ニ復スル。項部ニ重壓感ガアル。ルミナール
○・一ヲ三分服シテ眠ル。

十一日。苦痛昨日ト大差ナシ。本日ハノブロンノ座薬ヲ用イル。

……

十二日。ドルシン三錠服用。例ニ依ツテ汗ガビツシヨリ出ル。：

……

十三日。今朝ハ少シ楽デアル。コノ間ニ急イテ昨夜ノ出来事ヲ書イテ置コウ。

夜八時浄吉ガ病室ヲ覗イタ。彼モコノトコロ努メテ宵ノウチニ歸ルヨウニシテイル。

「ドウデスカ、少シハイ、方デスカ」

「イ、ドコロカ、マス、悪クナル一方ダ」

「ダツテ、髯ナンカ剃ツテサツパリシテルジヤアリマセンカ」

予ハ実ノトコロ、手ガ痛ムノデ剃刀ヲ使ウノモ不自由ナンダガ、ソレヲ恠エテ今朝剃ツタバカリデアル。

「髯ヲ剃ルンダツテ容易ナコツチャナインダ。ソレデモアンマリ生ヤシテ置クト尚更病人ジミルンデネ」

「颯子ニ剃ラシタライ、ジヤナイデスカ」

浄吉ノ奴、ドウ云ウ積リデコンナコトヲ云ツタノカ。予ガ髯ヲ剃ツタノニ心ヅイテ、早クモ何カヲ察シタノカ。一体彼ハ家庭内デ颯子ガ安ツポク取り扱ワレルコトヲ好マナイ。ソレハ自分ノ女房ハ踊り子上リダト云ウ負^ひケ目ガアルタメニ、自然ソウナツタノデ

アルガ、ソレガ一層「若奥様」ヲ増長サセル結果ニナツタ。尤モ彼女ヲソウサセタノニハ予ニモ責任ガナイコトハナイガ、浄吉ノ奴ハ亭主ノ癖ニ最初カラ彼女ニ一目置クヨウナ素振ヲ見セテイタ。二人キリノ時ハドウカ知ラナイガ、他人ノ前デハ殊更ソンナ風ニシテイタ。ソノ彼ガ、イクラ親父ノ髯ダカラト云ツテ、大事ナ女房ニ本氣デ剃ラセル氣ガアルンダロウカ。

「女ノ人ニコンナ所ヲ触さわラセルノハイヤダヨ」

予ハワザトソウ云ツテヤツタ。シカシ椅子ニ仰向ケニナツテ彼女ニ顔ヲ剃ツテ貰ツタラ、彼女ノアノ鼻ノ孔ガ奥ノ奥マデヨク見エルダロウナ、薄イ鼻ノ肉ガ紅ク透キ徹ツテ見エタリスルノハ悪クナイナト、ソンナコトモ考エタ。

「颯子ハ電気剃刀ヲ使ウノガ巧インデスヨ、僕モ病氣ノ時ニヤラシタコトガアルンデス」

「ヘエ、オ前颯子ニソソナコトヲサセルノカ」

「サセマストモ、サセルノニ不思議ハナイジャアリマセンカ」

「颯子ガソソナコトヲ大人おとなシクサセラレテルトハ思ワナカツタ」

「髯剃リニ限ラズ、何デモイ、カラ颯子ヲ使ツテ下サイヨ、何デモサセマスヨ」

「ドウダカナ、オ前己ニハソソナコトヲ云ウケレド、面ト向ツテ颯子ニソソナ命令ヲ下スカネ？ 何デモ親父ノ云ウ通りニシロツテ」

「ヨゴザンストモ、キツト申シツケトキマスヨ」………

彼ガ彼女ニドシナコトヲドシナ風ニ云イツケタノカ知ラナイ、ソノ晩ノ十時過ギニ颯子ガヒヨツコリ這入ツテ来タ。

「来テハイケナイツテ仰ツシヤツタケレド、浄吉ガ行ケツテ云ウカラ来タワ」

「浄吉ハドウシタシタ」

「今又何処カへ出テツタワ、チヨツト飲ンデ来ルツテ」

「浄吉ガコゝへ君ヲ連レテ来テ、僕ノ眼ノ前デ君ニ命令スルトコロヲ見タイト思ツタシタガナ」

「命令ナンカ出来ヤシナイワ、工合ガ悪イカラ逃ゲチャツタノヨ。

——ダケド話ハ伺イマシタ、アンタナンカイタラ邪魔ダカラ何処カへ行ツテラツシヤイツテ、追イ出シタノヨ」

「ソレデモイ、ダガモウ一人邪魔ナ人間ガイル」

「ハイ、ハイ、分ツトリマス」

ソウ云ツテ佐々木モ早速氣ヲ利カシタ。

途端ニ合図シタミタイニ手ノ痛ミガ加ワツタ。尺骨ト橈骨ノ莖状突起カラ五本ノ指ノ尖端ヘカケテ手ガ一本ノ棒ノ塊ノヨウニ突ツ張り、掌ノ内側ト外側トガチリ／＼トコキザミニ小サク細カク痛ミ出シタ。蟻走感ト云ウノニ似テイルガ、アンナ生なまヤサシイモノデハナク、モツト強ク激シイ痛ミデアル。ソシテチヨウド糠味噌の中ヘ突ツ込ンダヨウニ手ガツメタイ。ツメタクテ而モ痛イ。ツメタイ餘リ無感覺ニナツテイテ、ソレデイテ痛イ。コノ辺ノ氣持ハ当人デナケレバ分ラナイ。医者ニモドンナニ説明シテモ呑ミ込

メナイラシイ。

「颯ちゃん！ 痛イヨウ！」

ト、覺エズ叫ビ声ガ出タ。ヤツパリコンナ声ハ本当ニ痛イノデナケレバ出ナイ。痛イ振りヲシタンデハ斯克ノ如ク真ニ迫ツタ声ハ出ナイ。第一彼女ヲ「颯ちゃん」ナンテ呼ンダコトハ一度モナイノニ、ソレガ自然ニ出タ。ソウ呼ベタコトガ予ニハ嬉シクツテ溜ラナカツタ。痛イナガラ嬉シカツタ。

「颯ちゃん、颯ちゃん、痛イヨウ！」

マルデ十三四ノ徒いたずらツ子ノ声ニナツタ。ワザトデハナイ、ヒトリデニソンナ声ニナツタ。

「颯ちゃん、颯ちゃん、颯ちゃんタラヨウ！」

ソウ云ツテイルウチニ予ハワア〜ト泣キ出シタ。眼カラハダラシナク涙ガ流レ出シ、鼻カラハ水ツ洩ガ、口カラハ涎ガダラ〜ト流レ出シタ。ワア、ワア、ワア、——予ハ芝居ヲシテルンジヤナイ、「颯チャン」ト叫ンダ拍子ニ俄ニ自分ガ腕白盛リノ駄々ツ子ニ返ツテ止メドモナク泣キ喚キ出シ、制シヨウトシテモ制シキレナクナツタノデアル。ア、己ハ實際氣ガ狂ツタンジヤナイカナ、コレガ氣狂イト云ウモンジヤナイカナ？

「ワア、ワア、ワア」

氣ガ狂ツタラ狂ツタデイ、モウドウナツタツテ構ウモンカ、予ハソウ思ツタガ、困ツタコトニ、ソウ思ツタ瞬間ニ急ニハツト自省心ガ湧キ、氣狂イニナルノガ恐クナツタ。ソシテソレカラバ明

カニ芝居ニナリ、故意ニ駄々ツ子ノ真似ヲシ出シタ。

「颯チヤン、颯チヤン、ワア、ワア、ワア、ワア、——」

「才止シナサイヨ、才爺チヤン」

サツキカラ少シ薄気味悪ソウニ黙ツテジツト予ノ表情ヲ見ツメテ
イタ颯子ハ、偶然眼ト眼ガ打ツカリアツタラ、咄嗟ニ予ノ心ノ変
化ヲ看テ取ツタラシイ。

「氣狂イノ真似ナンカシテルト今ニホントノ氣狂イニナルワヨ」
予ノ耳元ヘ口ヲ寄セテ、ヘンニ落ちツイタ、冷笑ヲ含ンダ低イ声
デ云ツタ。

「ソナナ馬鹿々々シイ真似ガ出来ルト云ウノガ、モウ氣狂イニナ
リカケテル證拠ヨ」

声ノ調子ニ、頭カラ水ヲ浴ビセルヨウナ皮肉ナモノガアツタ。

「フ、ン、アタシニ何ヲサセヨウツテ仰ツシヤルノヨ。ソंना泣キ声ヲ出スウチハ何モシタゲナイワヨ」

「ジャア泣クノヲ止メル」

予ハイツモノ予ニナツテ、ケロリトシテ云ツタ。

「当り前ヨ、アタシ強情ツ張りダカラ、ソंना芝居ヲサレルト尚更依怙地ニナルワ」

モウコレ以上クダクシク書クノハ止メル。接吻ニハ遂ニ逃ゲラレテシマツタ。口ト口ト合ワセナイデ、互ニ一センチホド離レテ、アーント口ヲ開ケサセテ、予ノ口ノ中へ唾液ヲ一滴ポタリト垂ラシ込ンデクレタゞケ。

「サ、コレデイ、デシヨ、コレデイヤナラ勝手ニナサイ」

「痛い、痛い、痛いコトハ本当ナンダヨ」

「コレデイクラカ直ツタ筈ヨ」

「痛い、痛い」

「又ソソナ声ヲ出ス！ アタシ彼方へ逃ゲテクカラ、一人デ勝手

ニ泣イテラツシヤイ」

「ネエ颯子、コレカラ時々『颯子ちゃん』ト呼バシテオクレヨ」

「馬鹿ラシイ」

「颯子ちゃん」

「甘ツタレ坊主ノ嘘ツキ坊主、誰ガソノ手ニ載ルモンデスカ」

プリ／＼怒ツテ行ツテシマツタ。

.....

十五日。.....今夜ハバルビタール〇・三、ブロムラール〇・三服用。睡眠剤モ時々イロく取り代エテ使ワナイト直グ利カナクナル。ルミナールハ予ニハサツパリ効果ガナイ。

十七日。杉田氏ノ意見デ東大梶浦内科ノ梶浦博士ニ来診ヲ乞ウタラト云ウコトニナリ、本日午後博士来ル。博士ニハ数年前脳溢血発作ノ時モ数回来診ヲ乞ウタコトガアリ顔見知りデアル。杉田氏ヨリソノ後ノ経過ニツキ詳細ナ説明ガアリ、頸椎ヤ腰椎ノレント

ゲン写真ヲ見テ貰ウ。博士曰ク、私ハ専門ガ違ウノデ左手ノ痛ミノ原因ガソコニアルコトニ確信ハ持テナイガ、恐ラク虎ノ門病院ノ整形科ノ所見ガ正シイノダト思ウ、ツイテハ一応コノ写真ヲ大學ヘ持ツテ歸ツテ専門ノ人ニ見テ貰ツタ上デハツキリシタ御返事ヲシヨウ、シカシ専門デナイ私ガ見テモ、左手ノ神経ノ支配スルトコロニ変型ガアルコトハ確實デアルト思ワレル、故ニギプスモイヤ、ベッドモイヤ、牽引法モイヤ、ト云ウコトデアレバ、他ニ神経ノ壓迫ヲ除去スル方法ハナイノデアルカラ、大体杉田氏ノ取ツタヨウナ一時的処置ニ依ルヨリ仕方ガアルマイ、薬ハ矢張ハ口チンノ注射ガ一番イ、デシヨウ、イルガピリンハ悪イ副作用ガアルカラ、コレハ止メテ下サイ、ナド、云ワレル。ソシテ頗ル綿密

ナル診察ノ後、レントゲン写真ヲ借りテ歸ラレル。

十九日。博士ヨリ杉田氏ニ電話アリ、大学ノ整形科ノ所見モ虎ノ門病院ト全ク同一ナル由ヲ知ラセテ来ル。

夜八時半頃、ノツクヲセズニ恐ルくドーアヲ開ケル者ガアル。

「誰？」

ト云ツテモ返事ガナイ。

「誰？」

二度云ウト、微カナ足音ガシテ寢間着ヲ着タ経助ガ這入ツテ来タ。

「何ダネ今時分、何シニ来タンダ」

「才爺チャン、手ガ痛いノ？」

「ソナナコト、子供ガ心配シナイデモイ、オ前モウ寝ル時間ジヤナイカ」

「僕寝テタンダヨ、内證デソツト見ニ来タンダヨ」

「オ休ミ、オ休ミ、子供ガ餘計ナ……………」

コ、マデ云ツタト思ツタラ、ドウシタ加減カ声ガ鼻ノ奥デ詰マツテ不意ニ涙ガパラ／＼ト落チタ。ツイ数日前コノ子ノ母ノ前デ泣イタ涙トハ性質ノ違ツタ涙デアル。アノ時ハワア／＼ト仰山ニ流れ出タガ、今日ノハポツリト、ホンノ一ト垂ラシ、眼ノ縁ニ落チタバケデアル。予ハソノ涙ヲゴマカスタメニ慌テ、眼鏡ヲ取ツテカケタガ、忽チ眼鏡ガ曇ツタノデ、一層工合ガ悪カツタ。モウ子供ニモ隠シヨウガナカツタ。

コノ間ノ涙ハ氣ガ狂^{ちが}ツタ證拠カト思ツタガ、今日ノコノ涙ハ何ノ
 證拠ダロウ。コノ間ノ涙ハ豫期シナイデモナカツタ涙ダガ、今日
 ノ涙ハ少シモ豫期シテイナカツタ涙デアル。予ハ颯子ト同様ニ偽
 惡趣味ガアリ、男ノ癖ニ泣クナンテ見ツトモナイト思ツテイルノ
 ダガ、ソノ実案外涙脆クツテ、屁^デデモナイコトニ訳モナク涙ガ出
 ル。ソレヲ又何トカシテ人ニ知ラレマイトスル。若イ時カラ女房
 ナドニ始終意地悪ヲ云イツバケテ悪党ガツテイタガ、ソノ女房ニ
 泣カレルト、カラツキシ意気地ガナク負ケテシマウ。ダカラ一生
 懸命ニソノ泣キドコロヲ女房ノ奴ニ知ラセナイヨウニシテ来タ。
 ト云ウト、イカニモ善人臭ク聞エルガ、涙脆ク、情ニ脆イ癖ニ、
 本心ハヒネクレテ薄情極マル人間ナノデアル。ソウ云ウ男ナノデ

アルガ、イタイケナ子供ガ突然現レテ、コンナ優シイ言葉ヲカケラレルト、モウ溜ラナイ、拭イテモ拭イテモ眼鏡ガ濡レテ来ル。

「才爺チャン、シツカリシトクレヨ、我慢シテレバ直キニナオルヨ」

予ハ涙ト泣キ声トヲ胡麻化スタメニ頭カラ掛布団ヲスツポリト被ツタ。佐々木ニ感ヅカレタデアロウト思ウト、何ヨリ癩ダツタ。

「ア、直キナオルヨ、……早ク二階へ行ツテ才寝、……」

予ハソウ云ツタ積リダツタガ、「早ク二階へ」アタリカラハ妙ナ濁^{だみごえ}声ニナツテ何ヲ云ツテルノカ自分デモ分ラナカツタ。真ツ暗

ナ布団ノ闇ノ中デ涙ガ堰^{せき}ヲ切ツタヨウニパラ／＼。パラ／＼ト頬ヲ

伝ワル。経助ノ奴、イツマデコ、ニイヤガルンダ、サツサト二階

へ行ツチマヤガレ、糞忌マ〜シイ！ ト思ウ程ナオ涙ガ出ル。

三十分ホド経ツテ、スツカリ涙ガ乾キ、ツテカラ、予ハ布団カラ
顔ヲ出シタ。モウ経助ハイナクナツテイタ。

「経助坊チャンハイジラシイコトヲ仰ツシヤイマスノネ」

ト、佐々木ガ云ツタ。

「オちい小サクツテイラツシヤルノニ、ヤツパリオ爺チャンノコトヲ
心配ナスツテイラツシヤルンデゴザイマスネ」

「子供ノ癖ニ変ニマセテイヤガツテ小生意氣デイヤナ奴ダ。己ハ
アンナノハ大嫌イダ」

「マア、ソンナコトヲ仰ツシヤツテ」

「子供ハ病室へ寄越スナツテ云ツトイタノニ、勝手ニ這入ツテキ

ヤガツテ。子供ハモツト子供ラシクスルモンダ」

イ、歳ヲシテコンナ子供ニタワイモナク泣カサレタコトニ、予ハ腹ガ立ツテ溜ラナカツタ。ヒヨツトスルト、コンナコトニ涙ガ出ルノハ、イクラ涙脆イニシテモ尋常デナイ、モウ死期ガ近イセイジヤナイノカナト云ウ氣ガスル。

.....

二十一日。本日佐々木カラ耳寄りノ話ヲ聞ク。佐々木ガ云ウノニ、自分ハ昔PQ病院ニ勤務シテイタコトガアツタガ、昨日午後一時間ノ才暇ヲ戴イテ齒ノ治療ノタメ品川マデ参リマシタラ、ソノ齒

科医院デ偶然PQ病院時代ノ福島博士ト云ウ整形外科ノ先生ニ出会ツタ。ソシテ二十分バカリ待タサレテイル間ニ同博士ト談話ヲ交シタ。博士ガ君ハ今何シテイルカト問ウノデ、コレ〜云ウオ邸デ御病人ノ看護ヲシテイマスト答エタラ、ソナコトカラ旦那様ノ手ノ才痛ミノコトガ話ニ出タ。何カヨイ治療法ハナイモノデシヨウカ、御老人デイラツシャルノデ、牽引法ソノ他手数ノカ、ル面倒ナ方法ハオイヤナンデスガ、ト云ツタトコロ、ソレニハ方法ガナイコトハナイト、博士ガ云ワレタ。ソレハ危険ヲ伴ウ、頗ルムズカシイ、技巧ヲ要スル方法ナノデ、普通ノ医師ニハ出来ナイシ、又シヨウトモシナイガ、僕ナラ出来ル、キツト巧クヤツテ見セル、ソノ病氣ハ多分病名ヲ頸肩腕症候群ト称スルモノト考エ

ラレル、第六番目ノ頸椎ニ故障ガアルモノトスレバ、ソコノ交感
 神経ヲ遮断スルタメニ横突起ノ周リニキシロカインヲ注射スル、
 ソウスレバ手ノ痛ミハ直チニ除去サレル、タゞ頸部ノ神経ハ頸ノ
 大動脈ノ後部ヲ通ツテイルノデ、ソノ動脈ニ触レナイヨウニ注射
 針ヲ神経ニ射シ込ムコトガ至難ナノデアアル、萬一動脈ヲ傷ツケル
 ヨウナコトガアツタラ大変デアアル、動脈ノミナラズ、頸部ニハ無
 数ノ毛細血管ガ走ツテイルカラ、モシ過あやまツテソレラノドレカ一ツ
 ノ血管内ニキシロカインガ這入ツタリスレバ、或ハ空氣ガ這入ツ
 タゞケデモ、患者ハ忽チ呼吸困難ニ陥ル、左様ナ恐レガアル故ニ
 一般ノ医師ハコノ方法ヲ用イナイノデアアルガ、シカシ私ハコノ冒
 険ヲ敢テシテ今日マデタビ々コノ治療法ヲ多数ノ患者ニ試ミ、

一回ノ失敗モナク成功シテイルカラ、私ナラ大丈夫出来ルト云ウ
 確信ヲ持ツテイル、ト、博士ハ云ワレタ。ソレハ幾日モ日数ガカ
 ヲルノデスカト云ウト、イヤ、タツタ一日、ソレモ一二分間デ済
 ム、尤モソノ前ニ一応レントゲン写真ヲ取ル必要ガアルガ、ソレ
 トテモ二三分アレバ足リル、神経ヲ遮断スルノデアアルカラ、成
 功スレバ苦痛ハソノ場デ即座ニ消エ、僅カ半日ノ辛抱デスツカリ
 軽快ナ氣持ニナツテ歸ツテ行カレル、トソウ云ウ話ナンデスガ、
 一ト思イニヤツテ才貰イニナル氣ハゴザイマセンカ、ト云ウノデ
 アル。

「ソノ福島博士ト云ウ人ハ信用ノ置ケル人カネ」

「エ、勿論デゴザイマストモ、アノPQ病院ノ整形科ニ勤務シテ

イラツシヤル先生デスカラ間違イハゴザイマセン。東大出身ノ医学博士デ、私モ随分古クカラ存ジ上ゲテオリマス」

「大丈夫カナア本当ニ、モシヤリ損ツタラドンナコトニナルカナア」

「アノ先生ガア、仰ツシヤルナラ間違イハナイト存ジマスガ、何ナラモウ一度才目ニカ、ツテ委シク聞イテ参リマシヨウカ」

「實際ソナコトガ出来ルンナラ、コンナ巧イ話ハナイガ」

取り敢エズ杉田氏ノ意見ヲ叩クト、「ヘーエ、ソナ器用ナコトガ出来ルモンデスカナア、出来タラマルデかみわざ神業ミタイナモンデスナア」

ト、アブナガツテ餘リ賛成ハシテクレナイ。

二十二日。佐々木ガPQ病院へ行き、博士ニ会ツテ委シク聞イテ
 来テクレル。イロく専門的ナ説明ガアツタガ、詳細ナコトハ予
 ニハ分ラナイ。ガ、昨日モ申シ上ゲタヨウニ博士ハ今マデニ何十
 人トナクコノ患者ヲ扱イ、コノ方法デ簡單ニ成功シテイルノデ、
 ソンナ神業ナンテ云ワレル程ノムズカシイモノトハ思ツテイナイ、
 患者モ格別不安ガツタリ恐レタリシタ者ハナカツタ、皆氣輕ニ注
 射シテ貰イ、直グ良クナツテ大喜ビデ歸ツテ行ク。ケレドモ不安
 ニオ思イニナルナラ、萬々一ノ場合ニ備エテ麻酔ドクターニ附キ
 添ツテ貰イ、酸素吸入ノ用意ヲ整エテ置イテモイ、ツマリ、過
 ツテ薬液ヤ空氣ガ血管ニ這入ツタラ、早速氣管内ニチューブヲ入

レテ酸素ヲ送ルヨウニスル、普通ノ患者ニハソシク用意ヲシタコトハナイガ、ソレデモ間違イハナカッタノデアル、シカシ御老人ガ注射ヲ受ケニナルト云ウナラ、今回ハソレダケノ準備ヲシテ取りカ、ルカラ御心配ハ御無用デアル、ト云ツテオラレルト云ウ。

「ドウナサイマスカ、博士モ決シテ無理ニス、メテハオラレマセン、才氣ガ向カナケレバオ止メニナツタ方ガヨロシイト云ツテオラレマスカラ、マアヨクオ考エニナリマシテ、——」

コノ間ノ晩、子供ニ不意討チヲ喰ツテ泣カサレタコトガ未ダニ胸ニ残ツテイ、コンナ場合ニ何トナクアレガ不吉ノ前兆ノヨウニ思イ出サレル。アノ晩アンナ涙ガ出タノハ、ヤツパリ心ニ死ノ豫感ガ萌^{きざ}シテイタカラナノダ。無鉄砲ノヨウデ、実ハ甚ダ臆病デ用心

深イ筈ノ予ガ、佐々木ノ言葉ニソ、ノカサレテ頻リニ左様ナ危険
 ナ注射ヲシテ貰イタク感ジルノハ、ドウモタバゴトデナイヨウニ
 思エル。結局注射ガ原因デ、息ガ詰マツテ死又運命ニアルノデハ
 ナイカ。

ダガ、予ハモト々イツ死ンデモイ、積リデハナカッタノカ、疾
 ウカラ死ノ覚悟ガ出来テイタ筈デハナカッタノカ、現ニコノ夏虎
 ノ門病院デ頸椎ノ癌カモ知レナイト云ワレタ時、附添イノ婆サン
 ヤ佐々木ハ顔色ヲ変エタガ、予ハ全ク平氣ダツタ、コンナニモ平
 氣デイラレルモノカト我ナガラ意外ニ感ジタホドダツタ、予ノ人
 生モイヨクコレデ終ルノカナト、却テホツトシタクライダツタ、
 ダトスレバ、コレヲ機会ニ運試シヲシテ見テモヨクハナイカ、萬

一運ガナカッタトコロデ何ヲ惜シガルコトガアルンダ、コンナニ
手ガ痛ンデ朝晩苦シガツテイタンジヤ、颯子ノ顔ヲ見タトコロデ
何ノ樂シイコトモナイシ、颯子モ病人扱イニシテ真面目ニ相手ニ
シテクレナイ、コンナ有様デ生キテイタツテ何ノ甲斐ガアロウ、
颯子ノコトヲ考エルト、運ヲ天ニ任シテドウシテ、モ生キタイ、
ソレデナカツタラ生キテイタツテ仕様ガナイ。……………

二十三日。痛ミハ相變ラズデアル。ドリデンヲ飲ンデ見タガ寝タ
ト思ウト直キニ覺メル。ザルプロ（ザルソプロカノン）ヲ注射シ
テ貰ウ。

六時頃眼覺メテ昨日ノ問題ヲ又考エル。

死ハ一向恐クナイ、ダガ、予ハ今コノ瞬間ニ死ニ直面シテイルノ
 ダト思ウト、——死ガコノ刹那ニ予ノ眼前ニ迫ツテイルノダト
 思ウト、——ソウ思ウトソノコトガ恐イ。出来レバイツモノコノ
 部屋デ、コノ寢台ニ安ラカニ横タワツテ、親類縁者ニ取りマカレ
 テ、（イヤ、親類縁者ナドイテクレナイ方ガイ、カナ、取り分ケ
 颯子ハイナイ方ガイ、カナ、「颯ちゃん、長イ間世話ニナツタネ」
 ナンテ別レノ挨拶ヲスルノハ悲シイダロウナ、又涙ガ出ルダロウ
 シ、ソウシタラ颯子ダツテ義理ニモ泣イテ見セナケリヤナルマイ、
 何ダカ極^{きま}リガ悪クツテ死ヌニモ死ニ憎イ、予ガ死ヌ時ハイツソ彼
 女ハ薄情ニ予ノコトナンゾ忘レチマツテ、夢中ニナツテボクシン
 グデモ見テ、クレルカ、プールヘ飛ビ込ンデシンクロナイスド・

スウイミングデモシテ、クレタ方ガイ、ア、ソノスウイミングノ姿モ来年ノ夏マデ生キラレナケレバ、トウ／＼見ラレナイノカナ）イツ死ンダトモ分ラナイヨウニ、眠ルガ如ク死ンデ行キタイ。知リモシナイPQ病院ノベツトナンカニ運バレテ、ドンナニ偉イ博士タチカハ知ラナイガ、会ツタコトモナイ整形外科ノ先生ダノ麻酔ドクターダノレントゲン科ノ先生ダノニ囲マレテ、サモ大層ラシク取り扱ワレテ、息ガ詰マツテ死ニカ、ツタリスルノハイヤダナ。モウソノ緊迫シタ雰囲気ニ包マレルダケデモ死ニハシナイカナ。呼吸困難ニ陥ツテ息ガハアハア云イ出シ、次第ニ人事不省ニナリ、気管内ニチューブヲ差シ入ラレル時ノ心持ハドンナダロウナ。死ハ恐レナイガ死ニ伴ウ苦痛ト緊迫感ト恐怖感トハ御免

ダナ。定メシソノ刹那ニハ七十年來ノ生涯ニ積ミ重ネタ悪事ノ数
 ヲガ走馬燈ノヨウニ次々ト現レルダロウナ、ア、貴様ハアンナコ
 トモシタ、コンナコトモシタ、ソレデテ樂ニ死ノウナンテ虫ガヨ
 スギル、今苦シムノハ当リ前ダ、ザマア見ヤガレ、——ドコカ
 デソンナ声モ聞エル。ヤツパリPQ病院ハ止メタ方ガイ、カナ。

……

今日ハ日曜デアル。曇ツテ雨ガ降ツテイル。考エアグネテ又佐々
 木ニ相談スル。ソレデハ兎ニ角、私ガ明日ノ月曜ニ東大梶浦内科
 ニ梶浦先生ヲオ訪ネシテ先生ガ何ト仰ツシヤルカ伺ツテ見マシヨ
 ウカ、福島博士ノ仰ツシヤツタコトヲ私カラ詳細ニ申シ上ゲテ、
 先生ガ何ト仰ツシヤルカ伺ツテ参リマシヨウ、ソシテ先生ガソノ

注射ヲシテオ貰イナサイト仰ツシヤツタラシテ貰ウ、ソナコトハ絶対ニオ止メナサイト仰ツシヤツタラ止メル、ソウナスツタラ如何デスト云ウ。デハマアソウシヨウト云ウコトニナル。

二十四日。夕刻佐々木帰ツテ来ル。報告ニ曰ク、プロフェツサー梶浦ノ仰ツシヤルニハ、私ハPQ病院ノ福島ナル人ヲ知ラナイ、且私ハ専門外デアルカラソノ可否ニツイテ立ち入ツタ意見ヲ述べル資格ハナイ、シカシソノ人ガ東大出身ノ博士デアリ、PQ病院ニ勤務シテオラレル人物デアルナラ、先ズ信用シテ差支エナイ、決シテ出鱈目ヤインチキデハアルマイ、モシ成功シナカツタ場合ニモ必ズ間違イガ起ラナイヨウニ萬全ノ策ヲ講ジタ上テ取りカ、

ルニ違イナイ、ダカラ同博士ヲ信賴シテヤツテオ貰イニナツタラ
 ドウカト。予ハ内々プロフエツサーガ不賛成ヲ唱エテクレタライ
 、ソウシタラ却テ氣ガ楽ニナルト思ツテイタノダガ、コウナツ
 タラ仕方ガナイ、ヤツパリ危険ニ晒サレル運命ニアルノカナ、ド
 ウシテモソレヲ免カレル訳ニ行カナイノカナ、ソウ思イナガラ、
 マダ何トカシテ止メル口実ガアルモノナラト云ウ氣ガシテイタガ、
 ツイグズ〜ニ決マツテシマツタ。

二十五日。

「佐々木サンカラ伺イマシタガ、大丈夫デスカオ爺チャン、オ痛
 イコトハオ痛イデシヨウガ、ソंनाコトヲナサラナイデモ今ニキ

ツト直リマスヨ」

婆サンハ氣ガ氣デナイラシイ。

「ヤリ損ツタツテ死ニハシナイヨ」

「死ニハシナイデモ、氣絶シテ今ニモ死ニソウニオナリニナツタリシタラ、ソレヲ見テルダケデモイヤダワ」

「コンナ思イヲシテ生キテルクライナラ死ンダツテイ、サ予ハ殊更ニ悲壮ラシク云ウ。

「イツナサルノ」

「病院ノ方ハイツデモイラツシヤイト云ツテルンダ、ソウ決マツタラ早イ方ガイ、明日行ク」

「マア才待チナサイ、アナタハイツモ性^{せっかち}急ナンダカラ」

婆サンハ出テ行ツタト思ウト、高島易断ノ曆ヲ持ツテ戻ツテ来タ。

「明日ハ先負、明後日ハ佛滅、二十八日ガ大安デ『たいら』デス、二十八日ニ才決メナサイヨ」

「曆ナンゾ当テニナルモンカ、佛滅デモ何デモ早イ方ガイ、」

無論婆サンガ反对スルコトヲ承知デ云ウ。

「イ、エイケマセン、二十八日ニ決メテ下サイ、アタシモソノ日ハツイテ行キマス」

「婆サンナンゾ来ナイデモイ、」

「イ、エ参リマス」

「ソウシテ戴キマシタ方ガ、私モ安心デゴザイマス」

ト、佐々木マデガ云ウ。

二十七日。佛滅ノ日デアル。「此の日移転開店其他何事にも凶」トアル。明日ハ婆サン、佐々木、杉田医師等ガ附添イ午後二時P Q病院ニ行キ、三時ニ注射ガアル筈。生憎本日モ早朝カラ激痛アリピラビタル注射。夕刻又激痛。座薬ノブロンヲ用イ、夜ニ及ビオスピタンヲ注射。コノ薬ハ始メテバアル。モヒデハナイガコレモ一種ノ麻薬デアルト云ウ。幸イニ痛ミガ和ギ安眠スル。コレヨリ以後数日間ハ執筆ニ堪エズ、数日後佐々木ノ病床日誌ニ依ツテ記入スル。

二十八日。午前六時目覚メル。イヨ／＼運命ノ日。シキリニ胸騒ギガシ、興奮ヲ覚エル。ナルベク安静ニト云ウノデ、寢室ニ横臥シタキリデアル。朝モ晝モ食事ヲコゝヘ運ンデ貰ウ。中華料理ノ東坡肉トシポウニョガ喰イタイト云ツテ笑ワレル。

「ソナ食慾ガオアリニナレバ安心デゴザイマスネ」

ト、佐々木ガ云ウ。勿論本氣デ食ウ氣ハナイ、ツケ景氣ニ云ツタゞケデアル。晝食ハ濃厚ミルク一杯、トースト一片、スパニツシユオムレツ一個、デリシヤス一個、紅茶一杯。食堂へ出レバ颯子ノ顔が見ラレルカモ知レナイト思ツタノダガ、

「出テハイケマセン」

ト止メラレテ、オトナシク云ウコトヲ聴ク。食後三十分午睡、流石ニウマク寝ラレナカッタ。

一時半杉田氏来ル。简单ニ血壓ヲ測リ、診察スル。二時出発。杉田氏ノ左隣ニ予、ソノ隣ニ婆サン、運転手ノ隣ニ佐々木ガ乗ル。車ガ軋リ出ソウトスル時颯子ノヒルマンモ軋リ出シテ来ル。

「オヤ、才爺チャン何処ヘ才出カケ？」
ト、車ヲ止メテ颯子ガ云ウ。

「ウン、チョットPQ病院マデ注射シテ貰イニ。一時間グライデ直グ帰ル」

「才婆チャンモ御一緒？」

「才婆チャンハ胃痛カモ知レナイカラ、ツイデニ行ツテ見テ貰オ

ウツテ云ツテルノサ、才婆チャンノハ神經ダヨ

「ドウセソウニ決マツテマスワ」

「君」

ト云イカケテ予ハ云イ直ス。

「才前ハ何処ヘ？」

「有樂座へ行キマスノ、失礼シチャウワネ」

ソウ云エバシヤワーノ季節ガ過ギテカラ、長イコト春久ノ奴姿ヲ見セナイガト、チラト思ウ。

「今月ハ何ダネ」

「チャプリンノ『独裁者』」

一ト足先ニヒルマンガ走り出シテ消エテ行ツタ。

今日ノコトハ何モ云ウナト云ツテアルノデ、颯子ハ知ラナイ筈ニ
ナツテイル。ダケド恐ラクハ婆サンカ佐々木ガ知ラシタニ違イナ
イ。彼女ハワザト空ツトボケテイルノダロウ。ソシテソレトナク
予ヲカヅケルタメニコノ時期ヲ待ツテ出テ来タノダロウ。或ハ婆
サンノ云イ付ケカモ知レナイ。マア何ニシテモ彼女ノ顔ガ見ラレ
タノハ悪クナイ。空ツトボケルノガ名人デアルカラ、彼女ハ例ノ
如ク得々トシテ有楽座へ出カケテ行ツタ。——コヽイラガ婆サ
ンノ心ヅカイカト思ウト、胸ガ一杯ニナル。

約束ノ時刻ニ到着。直チニ×××号室ニ運バレル。「卯木督助殿」
ト記シタ名札ガ掛ケテアル。今日一日ダケコヽニ入院シタ形式ニ
シテアルラシイ。病人用ノ運搬車ニ乗セラレテコンクリートノ長

イ廊下ヲレントゲン室ニ連レテ行カレル。杉田氏、佐々木看護婦、
 婆サンマデ附イテ来ル。婆サンハ足ガ鈍のろイノデ運搬車ニ追イ付コ
 ウトハア〜云ツテイル。斯様ノ場合ヲ考エテ予ハ和服デ来タ。
 婆サンガ手伝ツテ衣類ヲ脱ガセ素ツ裸ニスル。堅イツル〜シタ
 板ノ上ニ臥カサレテイロ〜ノ形ニ体ヲ彎曲サセルベク命ゼラレ
 ル。ソノ上ニ大型ノ写真あんばこ箱ノヨウナ機械ガ天井カラ降りテ
 来テ予ノ姿勢ノ上ニ巧ク出会ウヨウニ加減スル。大キナ複雑ナ部
 分ヲ持ツタ機械ヲ遠クカラ操作スルノデ、一ミリ違ツテモ工合ガ
 悪ク、ナカ〜注文ノ対象ノ上ニ持ツテ来ラレナイデ調節ニ時間
 ガカゝル。十月末ナノデ、冷メタイ板ガ少シ寒イシ、手ノ痛ミモ
 続イテイルノダガ、不思議ト緊張シテイルセイカ、寒クモ痛クモ

感ジナイ。最初ニ左腕ヲ下ニシテ臥、次ニ右腕ヲ下ニシテ臥、横
向キ、背中、頸ト、各種類撮ラレル。ソノタビゴトニ暗箱ノ調節
ガアリ、可ナリ面倒デアル。レントゲン線ガ通過スル刹那ノ一瞬
間ハ呼吸ヲ止メテ下サイト云ワレル。大体虎ノ門病院ノ時ト同ジ
デアツタ。

又×××号室ニ戻ツテベッドニ横タワル。レントゲン写真ノ現像
ガ濡レタフィルムノマ、直グ持ツテ来ラレル。福島博士ガソレヲ
仔細ニ観察シタ上デ、

「ソレデハ注射イタシマス」

ト云ウ。博士ハ既ニキシロカインヲ注入シタ注射針ヲ手ニ持ツテ
イル。

「起キテコチラへ来テ立ツテ戴キマシヨウ、ソノ方ガ注射シ易ウ
ゴザイマス」

「承知シマシタ」

予ハ寢台ヲ下リ、特ニ勇マシク、シツカリシタ足ドリデ博士ノ立
ツテイル明ルイ窓際ノ方へ歩ヲ運ビ、博士ト向イアツテ立ツ。

「デハコレカライタシマス、別ニ痛クモ何トモゴザイマセンカラ
御心配ナク」

「心配ハシテオリマセン、ドウゾ御遠慮ナク」

「ヨロシユウゴザイマスナ」

針ガ頸部ニ射シ込マレルノガ感ジラレタ。何ダ、コンナコトカ、
痛クモ痒クモナイ、ト云ウ氣ガシタ。多分顔色モ変ツテイナカツ

タロウシ、体モ顫^{ふる}エテイナカッタ。平然トシテイルノガ自分ニモ分ツタ。「死ンダツテ何ダ」ト思ツテイタガ、死ニソウナ氣ハシナカッタ。博士ハ一遍注射針ヲ局部ニ射シ入レテ試ミニ針ヲ引イテ見ル。コレハキシロカインノ場合ニ限ラズ、何ノ注射デモ、タトエバウイタミンノ注射ノ場合デモ、薬液ヲ血管ノ中ヘ注入シナイヨウニ、一応注射ニ先立ツテ注射針ヲ外ヘ引イテ見、血液ガ混入シタカドウカヲ念ノタメニ慥^{たしか}メテ見ルノガ常識ニナツテイル。用心探イ医師ハ必ズソレダケノ注意ヲ怠ラナイ。福島博士モ殊ニ重大ナ場合デアルカラ当然ソレダケノ手順ヲ踏ンダ訳デアル。ト、途端ニ博士ハ、

「ア、コレハイケナイ」

ト、俄ニガツカリシタヨウニ云ツタ。

「今マデ患者ニ何回トナクコノ注射ヲシテルンデスガ、血管ニ触レタコトハ一度モナイノニ、今日ハドウカシテルンデスナ。御覽下サイ、コノ通り血ガ交ツテイマス、何処カノ毛細血管ヲ突イタ
ンデシヨウナ」

「スルト、ドウシマスカ、モウ一度ヤリ直スンデスカ」

「イヤ、コンナ失敗シタ時ハ止メタ方ガイ、ト思イマス、誠ニ才氣ノ毒デスガ、明日モウ一度出直シテ戴キマシヨウ、明日こそ失敗シナイヨウニシマス、失敗ナンゾ一度モシタコトハナインダケ
レド」

予ハ何カシラ安心シ、マア今日ハ助カツタト胸ヲ撫テオロシタ。

運命ガ一日延ビタ。ダガ明日ノコトヲ考エルト、イツソ今直グヤリ直シテ貫ツテ伸ルカ反ルカヲ一挙ニ決シテシマイタクモアツタ。「アンマリ大事ヲ取り過ギルンダワ、アノクライ血ガ出タツテ、何モソソナニ恐ガラナイデヤツテ下サル訳ニ行カナイノカシラ」ト、佐々木ガヒソ〜声デ云ツタ。

「イヤ、ソコガアノ方ノ偉イトコロデスヨ、麻酔ドクター^一マデ呼ンデ十分ノ用意ヲシテカ、ツタンダカラ、誰デモヤツテシマイタクナルトコロダガ、僅カ一滴ノ血ヲ見タゞケデモ大事ヲ取ツテ中止スルト云ウコトハ、ナカ〜出来憎イコトデス。ソコヲ止メタノハ醫師トシテ実ニ立派ナ心ガケト云ハナケレバナラナイ。醫師ハ皆アレダケノ心ガケガナケレバイケナイ。僕ハ大イニ教エラレ

マシタヨ」

ト、杉田氏ハ云ツタ。

明日ヲ約シテ忽々ニ引キ上ゲ帰宅スル。車ノ中デモ杉田氏ハ頻ニ博士ノ態度ヲ賞讃シテ已マナイ、佐々木ハ「思イ切ツテヤツテシマエバヨカッタンジヤナイデシヨウカ」ヲ繰り返ス。要スルニ餘リ大事ヲ取り過ギタノガ失敗ノ原因ダツタ、萬々一ノ場合ニ備エテ仰山ヲ準備ナドヲセズ、イツモノヨウニ手輕ニ考エテスレバヨカツタ、博士自身ガ神經過敏ニナツテイタノガイケナカツタノダ、ト云ウ点デハ二人ノ意見ガ一致スル。

「頸動脈ノ傍ヲ突クナンテ危イコツテスヨ、アタシハ始メカラ不賛成ダツタンデス、明日モイツソオ止メニナツタラ」

ト、婆サンハ云ツタ。

帰宅シテ見ルト、颯子ハマダ帰ツテイナイラシイ。経助ガ犬小屋ノ前デレスリーニ戯レテイル。

予ハ又寢室デ夜食ヲ取り、安静ニスベク命ゼラレル。手ガ又痛ミ出ス。

二十九日。本日モ昨日ノ時刻ニ出カケル。同行者モ全部同ジ。不幸ニシテ経過モ昨日ト同様。今日モ過ツテ血管ヲ突キ、注射器ニ血ガ混入スル。周到ナ用意ヲシタゞケニ、博士ノ落胆ハ甚ダシイ。却テ予等ガ氣ノ毒ニナル。皆デ相談ノ結果、コウケチガ附イタ以上、誠ニ残念デアルケレドモ、兎ニ角コノ注射ハ一ト先ズ打チ切

リニシタ方ガヨクハナイカト云ウコトニナル。明日来テ又モ失敗ト云ウヨウナコトガアツテハ困ルノデ、博士モモウ一度ト云ウ気ハナイラシイ。予モ今度コソ本当ニ安堵シ、ホツトスル。

午後四時帰宅スル。床ノ活ケ花ガ変エテアル。雁来紅ニ貴船菊ガ琅玕齋ノ籠ニ挿シテアル。今日ハ京都ノ花ノ先生ガ来タノデアロウ。ソシテ颯子ガコノ老人ノタメニ心ヅクシヲ示シタノデアロウカ。ソレトモコノ花ガ、ヒヨツトスルト枕花ニナルカモ知レナイト考エテ特ニ念ヲ入レテ活ケタノデモアロウカ。長イコト掛ケツパナシニシテアツタ荷風ノ色紙モ掛ケ変エテアル。図ハ浪華逸民菅楯彦ノ作デアアル。非常ニ細長イ畫面デ、燈台ニ燈明ガ点ツテイル図デアアル。楯彦ハヨク漢詩ヤ和歌ヲ書キ添エル癖ガアルガ、コ

レニモ萬葉ノ和歌ガ一首縦ニ一行ニ添エテアル。

吾か勢子せこはいつく遊ゆくらんおき津ものなはりのやまを氣布けふか古
ゆらん

6

九日。PQ病院以来十日ニナル。ソノウチニヨクナリマスヨト婆
サンハ云ツタガ、ドウヤラコウヤラ少シ楽ニナリカケテ来タ。専
ラシシングレラントセデストデ凌イデ来タガ、自然ソノ時期ガ来タ
ノカ、売薬デモイクラカ利キ目ガアツタノガ不思議ダ。現金ナモ
ノデ、コノ程度ナラ墓地ヲ見ツケニ行ケソウナ氣ガシテ来タ。コ

ノ春以来氣ニナツテイタノダガ、イツソコノ際京都市行キヲ決行シ
 ヲウカト思ウ。……………

十日。……………

「少シヨクナルト直グソレダカラオ爺チャンハ困リマスヨ、モウ
 暫ク様子ヲ見テカラニナスツタラドウ？ 汽車ノ中ナンゾデ痛ミ
 出シタラドウナサルンデス」

「モウ大概大丈夫ダヨ、十一月モ今日デ十日ダ、グズくシテル
 ト京都ノ冬ハ早イカラネ」

「何モ今年ニ限ツタコトハナイジヤアリマセンカ、来年ノ春マデ
 才待チニナツタラ」

「ホカノコト、違ウカラネ、ソシテ悠長ナコトヲ云ツチャイラレナイヨ、今度行ツタラコレガ京都ノ見納メニナルカモ知レン」

「又ソシナイヤナコトヲ仰ツシヤル。——誰ヲ連レテイラツシヤル才積リ？」

「佐々木ト二人ジヤ心細イカラ、颯子ニ附キ合ツテ貰オウカ」
予ノ京都行キノ主タル目的ハ実ハコ、ニアル。墓地搜シハ寧ロ口実デアル。

「南禅寺ヘハオ泊リニナラナイノ？」

「看護婦附キテ泊ツタリスルト手数ヲカケルコトニナルカラナ。

ソレニ颯子モイルコトダシ、——颯子ハ南禅寺ヘ泊ルノハ懲リ
くダカラ、ソレダケハ堪忍シテクレト云ツテルンダ」

「ドツチニシタツテ颯子ガ行ツタラ又喧嘩デスヨ」

「掴ミ合イデモ始メテクレタラ面白イサ」

婆サントソナ遣リ取リヲスル。

「南禅寺ツテ云エバ永観堂ノ紅葉ガ綺麗デシヨウネ、アタシガアレヲ見テカラモウ何年ニナルカ知ラ」

「永観堂ハマダ早イヨ、高尾ヤ槇ノ尾ガチヨウド見頃ダガ、己モコノ脚ジャ行ケソウモナイ」

.....

十二日。.....第二こだまデ午後二時三十分出発。婆サント才静

ト野村が見送ル。窓際ニ予、ソノ隣ニ颯子、通路ヲ隔テ、佐々木、ト云ウ目算デアツタガ、動キ出シテ見ルト窓際ハ風ガスウ／＼スルカラト云ワレテ颯子ト入レ代リ、通路ニ寄ツタ方ノ席ニ掛ケサセラレル。生憎手ノ痛ミガ少シ強イ。喉ガ渴クカラトボーイニ茶ヲ持ツテ来サセ、コンナ時ノ用意ニポケットニ忍バセテ来タセテスヲ二錠、颯子ニモ佐々木ニモ見ラレヌヨウニ、ソツト口ヘ放リ込ム。二人ニ知ラレルト、アトガウルサイカラデアアル。血壓ハ出発直前ニ測ツタ時ハ上ガ一五四、下ガ九三デアツタガ、乗車後予ハ明ラカニ興奮シテイルコトヲ密カニ感ジル。傍ニ邪魔者ガイルコトハイルガ、何カ月ブリカデ颯子ト席ヲ並ベルコトガ出来タコト、颯子ノ服装ガ今日ハ妙ニ挑発的ニ見エルコト、ナドガ原因カ

モ知レナイ。(地味ナスーツヲ着テイルガ、ブラウスガ派手ナノト、フランス製ラシイ模造宝石ノ五聯ノネックレスヲ頸カラ胸ヘ垂ラシテイル。コノ種類ノネックレスハ国産品ニモシバく見受ケルガ、背後ノ後頭部ニ附イテイルとめがね金ニイロくナ宝石ガ鏤ちりばメテアツテ、コノ真似ガ国産品デハ出来ナイノデアル) 血壓ノ高イ時ハ頻尿ニナル癖ガアルガ、頻尿ニナツタト思ウト、逆ニソノタメニ一層血壓ガ上ル。ドツチガ原因デ、ドツチガ結果トモ云エナイ。横浜ヲ通過スルマデニ一回、熱海ヲ通過スルマデニ又一回便所ニ通ウ。席カラ便所ガ遠イノデ辿り着クマデニ度々ヨロケテ倒レソウニナル。佐々木ガ附イテ来テハラくスル。排尿ニ手間ガカ、ルノデ、二回目ノ時ハ丹那トンネルヲ通り抜ケテモマダ用

ガ濟マナイ。ヤットノコトデ出テ見タラ三島ニ近クナツテイタ。席ニ戻ル時危ク転ビソウニナリ、居合セタ人ノ肩エ搦マツテ助ケラレル。

「オ高インジヤナイデシヨウカ」

席ニ着クト佐々木ガ云ウ。ソシテ早速近寄ツテ来、脈ヲ取ツテ見ヨウトスル。予ガ腹立タシソウニ拂イ退ケル。

コンナコトヲ繰リ返シツ、午後八時三十分京都着。五子いっ、菊太郎、京二郎、ホームニ出迎エテイル。

「オ姉サン、皆サンオ揃イデ恐レ入リマス」

颯子ガ柄ニナクオ世辞ヲ云ウ。

「ナアニ、明日日曜ナンデミンナ遊ンデイルンデスヨ」

京都駅ハ下リノ時ハブリツジヲ沢山登ラナケレバナラナイノデ、コレガ甚ダ億劫おっくうデアル。

「才爺チヤン、階段ハ僕ガ負おぶツテアゲマスヨ」

菊太郎ガ予ノ前ニシヤガンデ背中ヲ向ケル。

「冗談云ウナヨ、マダソンナヨボくジヤナイヨ」

ソウハ云ツタガ、佐々木ガ腰ヲ押シテクレル。瘦セ我慢ヲシテ踊リ場デ休マズ、一氣ニ上ツタノデ、苦シソウニ息ガハズム。皆氣遣ワシゲニ予ノ顔ヲ見テイル。

「今度ハ幾日グラライイラツシャルノ？」

「サア、ドウシテモ一週間ハカ、ルダロウナ。才前ノ所ヘモイズレ一晩ハ厄介ニナルガネ、今日ハ取り敢エズ京都ホテルニ泊ルヨ」

餘計ナオシヤベリガ始マラヌウチニト、急イデ車ニ乗ル。城山一家ハ別ノ車デ後カラホテルヘ附イテ来ル。

シングルベッド二台ノ部屋ト一台ノ部屋トガ隣リ合ツテイル。コレハ予ガ豫メ左様ニ注文シテ置イタノデアル。

「佐々木サン、君ハ隣ニ寝テクレ給エ、僕ハ颯チャント此方デ寝ルヨ」

「颯チャン」ト云ウ呼び方ヲ殊更五子達ノイル前デ使ツテ見ル。五子ガ異様ナ顔ツキヲシテイル。

「アタシ一人デ寝カシテ戴クワ、オ爺チャンハ佐々木サントオ休ミナサイヨ」

「ナゼサ、一緒ニ寝テクレタツテイ、ジヤナイカ、東京デモ時々

ソウシテクレテルジヤナイカ」

五子二聞カセルタメニ予ハワザト云ウ。

「隣ニ佐々木サンガ寝テ、クレ、バ何カアツタツテ安心ジヤナイカ、ネエ、颯チャンハコツチデ寝テオクレヨ」

「煙草ガ吸エナイノガ困ルワ」

「吸ツタライ、サ、イクラデモ吸ツテオクレ」

「ソナコトヲシタラ佐々木サンニ叱ラレチャウワ」

「オ咳ガヒドクツテイラツシヤイマスカラネ」

ト、佐々木ガアトヲ引キ受ケル。

「ソバデ煙草ヲオ吸イニナツタラ、ゴホン／＼オ咳ガ止マラナクナリマスヨ」

「ボーイサン、ソノトランクヲコツチノ部屋ヘ運ンデ頂戴」

颯子ハ構ワズサツサト隣室ヘ這入ツテ行ツテシマウ。

「手ハモウスツカリオ直リニナツタンデスカ」

来ルトイキナリ気ヲ吞マレタ形デ眼ヲ白黒サセテイタ五子ハ、コ
ヽデ辛ウジテ嘴ヲ入レル。

「直ツテナンゾイルモンカ、今デモ始終痛ムンダ」

「マア、ソウナンデスカ、オ婆チャンノオ手紙ニハ、オ直リニナ
ツタト書イテアリマシタノニ」

「オ婆チャンニハソウ云ツテアルノサ、ソウシナイト出シテクレ
ナイカラネ」

颯子ハダスターコートヲ脱ギ、手早くブラウスヲ改メテネツクレ

スヲ三聯ノ真珠ニ取り換エ、顔ヲ直シテ出テ来ル。

「アタシオ腹ガ減ツテルノヨオ爺チャン、早ク食堂ヘ行キマシヨ
ウヨ」

五子達ハ濟ンデイルト云ウノデ三人デテーブルニ就ク。颯子ノタ
メニライン・ワインヲ抜ク。生牡蠣ノ好キナ彼女ハコノハ的^{まとや}
矢^{わん}湾ノ牡蠣ダカラ安全ダト称シテ相当ニ貪ル。食後ロビーデ五

子達ト一時間ホド雑談ヲ交エル。

「食事ノ後ダカラ一本グライイ、デシヨ佐々木サン、コノナラソ
ンナニ籠^{こも}リヤシナイワ」

颯子ハハンドバツグカラ愛用ノクールヲ一本取り出シテ吸ウ。イ
ツモハ直^じカニ口ニ銜^{くわ}エルノニ今日ハ珍シクホールダーヲ用イテイ

ル。細長イ真紅ノ色ヲシタホールダーホールダーデアル。豫メホールダーノ色ト調和スルヨウニマニキュアマニキュアモ常ヨリ紅ク染メテイル。唇ノル―ジユモ同様デアル。指ガ際立ツテ真ツ白イ。紅ト白トノコノ対照ヲ五子ノ前デ見セビラカスノガ目的ダツタノデアロウカ。

十三日。午前十時南禅寺下河原町二城山家ヲ訪ウ。颯子ト佐々木同伴スル。予ガコノ家ヲ訪ウノハコレデ二回目デアルト云ウガ、最初ニ訪ウタノハイツノコトデアツタカ殆ド記憶ガナイ。城山家ハモト吉田山ニ住ンデオリ、当時ハシバく来往シタ覚エガアルガ、主人桑造ノ死後遺族ガコ、ニ移ツテカラハメツタニ訪ネナイヨウニナツタ。今日ハ日曜デ、百貨店勤務中ノ菊太郎ハ不在ダケ

レドモ、京大工科ニ通学中ノ京二郎ハ家ニイタ。颯子ハ才爺チャ
 ンノ墓地搜シノ才供ヲシテモ詰マラナイカラ、アタシハ御免蒙リ
 タイ、コレカラ四条通りヘ出カケテ「キリハタ」ヤ高島屋デ買物
 ヲシ、午後ハ高雄方面ヘ紅葉見物ニ行キタイノダガ一人ボツチデ
 ハ仕様ガナイ、誰カ案内ヲシテクレナイカシラト云ウ。墓地搜シ
 ヨリハソノ方ガ優シダ、私ガ御案内シマシヨウト京二郎ガ云ウ。
 ソコデ相談一決シテ颯子ト京二郎ガ先ズ出発。予、五子、佐々木
 ノ三人ハ瓢亭ノ半月弁当デ晝食ノ後、鹿ヶ谷ノ法然院カラ始メテ
 黒谷ノ真如堂、一乗寺ノ曼殊院あたり辺ヲドライブスルコトニ決メル。
 夜ハ嵯峨ノ吉兆ニ颯子達ノ一行モ菊太郎モ参加シテ、晚餐ヲ共ニ
 スル手筈デアアル。

予ノ先祖ハ遠イ昔ハ江州商人ノ出ラシイガ、四五代前カラ江戸ニ住ミ、予モ本所割下水ニ生レタノデ、生粹ノ江戸ツ子デアアルニ違イナイ、ガ、ニモ拘ワラズ予ハ近頃ノ東京ガ面白クナイ。京都ノ方ガ昔ノ東京ヲ思イ出サセル趣ガアツテ却テナツカシイ。今ノ東京ヲコンナ浅マシイ乱脈ナ都会ニシタノハ誰ノ所業しわざダ、ミンナ田舎者ノ、ポツト出ノ、百姓上リノ、昔ノ東京ノ好サヲ知ラナイ政治家ト称スル人間共ノシタコトデハナイカ。日本橋ヤ、鰐橋ヤ、築地橋ヤ、柳橋ノ、アノ綺麗ダツタ河ヲ、才齒黒溝ノヨウニシチマツタノハミンナ奴等デハナイカ。隅田川ニ白魚ガ泳イデタ時代ノアルコトヲ知ラナイ奴等ノ仕種しぐさデハナイカ。死ンデシマエバ何処ニ埋メラレタツテ構ワナイヨウナモノダケレドモ、今ノ東京ノ

ヨウナ不愉快ナ、自分ニ何ノ因縁モナクナツテシマツタ土地ニ埋
 メラレルノハイヤダ。出来レバ父ヤ母ヤ祖父ヤ祖母タチノ墓モ、
 何処カ東京デナイ所ヘ持ツテ来チマイタイクライダ。祖父母ヤ父
 母ニシタトコロデ、昔最初ニ埋メラレタ場所ニ埋メラレテイル訳
 デハナイ。祖父母ノ墓ハ深川ノ小名木川おなぎ近クノ或ル法華寺ニアツ
 タノダガ、ソノ後間モナクアノ辺一帶ガ工場地帯ニナツタ、メニ
 寺ハ浅草ノ龍泉寺町ニ移リ、ソコモ大地震デ焼カレタノデ、今デ
 ハ多磨墓地ニ移ツテイル。ダカラ佛様達ハ東京ニ置イトカレルト、
 骨ニナツテカラモ始終アツチコツチヘ逃ゲ回ラナケレバナラナイ。
 ソウ云ウ点デハ何ト云ツテモ京都ガ一番安全デアル。先祖代々江
 戸ツ子ダト云ツテモ、五六代先ノコトハ分リハシナイ。予ノ家モ

遠イ〜先祖ハイズレ京都アタリカラ出タモノト思ウ。兔二角京都ニ埋メテ貫エバ東京ノ人モ始終遊ビニ来ル。「ア、コ、ニアノ爺サンノ墓ガアツタツケナ」ト、通リスガリニ立チ寄ツテ線香ノ一本モ手向ケテクレル。江戸ツ子ニ一向由縁ゆかりノナイ北多摩郡ノ多磨墓地ナンゾニ葬ムラレルヨリ遙カニ優シダ。

「ソウ云ウ意味カラハ法然院ガ一番適當ジヤナイデシヨウカ」ト、曼殊院ノ階段ヲ下リナガラ五子ガ云ウ。

「曼殊院トナルト散歩ノツイデニ立チ寄ルニハ遠過ギマスシ、黒谷ニシタツテワザ〜デナケレバアノ坂ノ上マデオ詣リニ行キハシマセンカラネ」

「己モソナ気ガスルンダガネ」

「法然院ナラ今デハ街ノ真ン中デ、市電ガ直グ傍ヲ通ツテマスシ、
 疏水ノ桜ガ咲ク時分ニハ一層賑カデスシ、ソレデイテ一歩寺ノ境
 内ヘ這入ルトアノ通り森閑トシテ心ガ自然静マリマスシ、アスコ
 ニ限ルト思イマスワ」

「己モ法華ハ嫌イダカラ浄土宗ニ変エテモイ、ンダガ、墓地ハ分
 ケテ貰エルダロウカ」

「アタシモ時々法然院ヘ散歩ニ行クンデ、和尚サント懇意ダモン
 デスカラ、コナイダ聞イテ見タンデスガ、才望ミナラ墓地ヲ才分
 ケ致シマス、浄土宗ト限ツタコトハアリマセン、日蓮宗デモ結構
 デスツテ云ツテマシタガネ」

墓地搜シハソレデ中止シテ大徳寺カラ北野へ出、御室カラ釈迦堂

前、天龍寺前ヲ経テ吉兆ニ到着、マダ時刻ガ早過ギルノデ颯子達モ菊太郎モ来テイナイ。暫ク別室ニ寢間ヲ取ツテ貰ツテ休息スル。ソウコウスルウチ菊太郎ガ先ズ到着。次イデ六時半過ギ颯子等到着。一旦京都ホテルへ戻ツテ出直シテ来タノダト云ウ。

「大分才待チニナツテ？」

「待ツタヨ大分。ホテルへ戻ツテ何シテタンダ」

「寒クナリソウダカラ着換エテ来タノヨ、才爺チャンモ氣ヲ才付ケニナラナイト風邪ヲ引クワヨ」

四条通りデ買ツテ来タノヲ早速着テ見タカツタノダロウ、白ノブラウスニ、ブリユーニ銀ノラメガ繡イ込ンデアルセーターヲ着テイル。指環モ取り換エテ、何ト思ツタカ問題ノキヤツツアイヲ箆

メテ来テイル。

「墓地ハ決ツタンデスカ」

「大体法然院卜決ツタ、才寺ノ方デモ承知ダソウダ」

「ソレハヨカツタワネ、ジャ、イツ東京ヘ才歸リニナル？」

「馬鹿云イナサイ、コレカラ才寺ノ石屋ヲ呼ンデ、墓ノ様式ニツイテイロく相談シナケリヤナラナイ、ソウ簡単ニ決メラレヤシナイヨ」

「才爺チャン川勝サンノ石造美術ノ本ヲ開イテ頻リニ調べテラシツタジャナイノ、墓ハヤツパリ五輪ノ塔ニ限ルツテ仰ツシヤツテタワネ」

「又少シ考エガ変ツテネ、五輪デナクツテモイ、ヨウナ氣ガシテ

来タ」

「アタシナンカニハ何ガイ、ンダカ分ラナイワ、ドウセアタシニハ関係ノナイコトダケレド」

「ソウデナイヨ、君——」

ト云イカケテ云イ直ス、

「オ前サンニモ大イニ関係ノアルコトダヨ」

「アタシニドンナ関係ガアルノヨ」

「今ニ関係ノアルコトガ分ルヨ」

「何シロ早ク決メテ貰ツテ早ク東京へ帰りタイワ」

「何デ帰りヲ急グンダネ、ボクシングカネ」

「マアソナトコロネ」

五子、菊太郎、京二郎、佐々木、四人ノ眼ガ期セズシテ颯子ノ左ノ薬指ニ集マル。颯子ハ平然トシテ悪ビレタ様子モナイ。膝ノ上ニキヤツツアきらめイヲ煌カシツ、座布団ノ上ニ横ツ坐リニ坐ツタマ、デアル。

「叔母サン、ソレガキヤツツアイツテ云ウ石デスカ」
座ガ白ケルトデモ思ツタノカ、菊太郎ガ突然云ツタ。

「エ、ソウヨ」

「ソンナ石ガ何百萬圓モスルンデスカ」

「ソンナ石トハ失礼ネ、コレガ三百萬圓ヨ」

「才爺チャンニ三百萬圓出サセルナンテ、叔母サンハ凄腕ダナア」
「チョツト菊太郎サン、才願イダカラソノ『叔母サン』ハ止シテ

頂戴。菊チャンダツテモウ子供ジヤアナインダカラ、アタシヲ叔母サン扱イニスル資格ハナイワ、アタシトニツカ三ツシカ違ワナイ癖ニ」

「ジヤア何テツタライ、ンデス、三ツ違イデモ叔母サンハ叔母サンダカラナ」

「『叔母サン』ヲ止メテ『颯チャン』ト仰ツシヤイ、菊チャンモ京チャンモソウ呼ンデヨ、ソウシナケレバ返事シナイカラ」

「叔母サンハ——アレ又『叔母サン』ガ出チマツタ、——叔母サンハソレデイ、カモ知レナイケレド、浄吉叔父サンニ怒ラレヤシナイカナ」

「浄吉ガ怒ルモンデスカ、怒ツタラアタシガ怒ツテヤルワ」

「才爺チャンハ『颯チャン』デモイ、ケレド、ウチノ子供達ニソ
ウ呼バセルノハドウデシヨウカネ、中ヲ取ツテ『颯子サン』ニシ
マシヨウヨ、ソレガイ、ワ」

ト、五子ガ苦イ顔ヲスル。

酒ヲ嚴シク禁ジラレテイル予、下戸ノ五子、少シハ行ケル筈ナノ
ニ慎ンデイル佐々木ヲ除イテ、颯子、菊太郎兄弟ノ三人デ調子ガ
弾ミ、九時近ク食事ガ終ル。颯子一人五子達ヲ南禅寺ヘ送り届ケ
テホテルヘ帰り、予ト佐々木トハ夜ガ晚イカラト云ウノデ、吉兆
ニ泊ル。

十四日。午前八時頃起床。釈迦堂傍ノ嵯峨豆腐ヲ取り寄セテ朝食

ヲ喫スル。別ニビニールノ袋ニ包ンダ豆腐ヲ土産ニ持チ、十時頃五子ヲ誘ツテ法然院ヲ訪問。颯子ハ今日ハ花見小路ノ才茶屋へ電話シテ、コノ夏春久ト一緒ノ時ニ友達ニナツタ祇園ノ藝者ヲ二三人招キ、晝食ヲ共ニシテカラ京極ノS・Y・京映へ行キ、夜ハキヤバレヘ引ツ張ツテ行ツテ皆デ踊ルノダト云ウ。予ハ五子ノ紹介デ法然院ノ住職ニ面会、直チニ墓地ノ候補地ヲ見セテ貰ウ。境内ノ幽邃ナコトハ真ニ五子ノ言ニ背カズ、前ニモ二三度杖ヲ曳イタコトハアルガ、コレデモ大都会ノ市内カト驚クバカリ。コノ景觀ニ接シタゞケデモ、五味溜メヲ引ツクリ返シタヨウナ東京トハ比較ニナラナイ。コヽニ決メテヨカッタト思ウ。帰途五子同伴たんくまノカウンターニ腰掛ケテ食事シ、二時頃ホテルニ帰ル。三時

ニ住職カラ連絡ガアツタト見エテ石屋ノ主人ガ面会ニ来ル。ロビ
 ーデ面接。五子ト佐々木同席スル。

墓石ノ様式ニツイテハ、予ニサマ／＼ノ案ガアルノデ、未ダニ
 孰レニシテイ、カ迷イ抜イテイル。死ンデカラ後ドンナ形ノ石ノ
 下ニ葬ムラレヨウト差支エナイヨウナモノダガ、予ハ矢張氣ニナ
 ル。ドンナ石ノ下デモイ、ト云ウ訳ニ行カナイ。少クトモ今日一
 般ニ行ワレテイル長方形ノノツペラボウノ石ノ表面ニ戒名又ハ俗
 名ヲ記シ、ソノ下ニ台^{だい}石^{いし}ヲ据エテ、ソノ前ニ線香立テノ穴ト手
 向ケノ水ヲ供エル穴トヲ穿ツテアルアノ形式、アレハイカニモ平
 凡デ、俗ツポクツテ、何事ニモ旋^{つむ}毛^ま曲^{まが}リノ予ニハ氣ニ入ラナイ。
 父母ヤ祖父母ノ墓石ノ形式ニ反スルノハ申シ訳ナイガ、予ハドウ

シテモ五輪塔ニシタイ。ソレモソンナニ古イ形ノモノデナクテモイ、。鎌倉後期グライノ形デ満足スル。タトエバ伏見区竹田内畑町ニアル安楽寿院五輪塔、水輪ガ下ノ方デ細マツテ壺形ニナツテオリ、火輪ノ軒ノ反リガ厚ク、ヤダルミノ工合ガ風輪空輪ノ形ト共ニ鎌倉中期カラ後期ニ移ル頃ノ代表的ナ遺品デアルト、川勝政太郎氏ガ述ベテイルアノ作品、アレナドハドウデアロウカ。デナケレバ綴喜郡宇治田原村禅定寺ノ五輪塔、コレハ吉野時代ノ典型的ナ遺品ダソウデ、コノ式ハ南方ノ大和文化圏ニ流行シタモノダソウダガ、コレモ悪クナイ。

トコロデ、コ、ニ又一ツ別ナ考エガ予ノ胸ニアツタ。川勝氏ノ著書ヲ見ルト、上京区千本上立売上ルニ石像寺ノ阿弥陀三尊石佛ト

云ウモノガアツテ、中尊ニ定印弥陀坐像、ソノ向ツテ右ニ観音、左ニ勢至ノ二脇侍立像ガ侍立シテイテ、ソレラ三尊ノ写真ガ各別々ニ載ツテイル。弥陀ノ坐像ヲ始メトシテ、観世音菩薩ト勢至菩薩ノ立像ハ頗ル美シイ。観世音ニハ多少ノ破損ガアルケレドモ勢至像ハ全ク完全ニ保存サレテイイル。勢至ハ観世音ト同様ノ装身具ヲ着ケ、正面ノ宝冠カラ瓔珞、天衣、光背等ニ至ルマデ丁寧ニ刻ミ出サレテイ、宝冠正面ニハ宝瓶ヲ現ワシ、両手ヲ合掌シテ立ツテイル。「花崗岩の石佛の美しさをこの石佛程に示してゐるものは稀である。〔中略〕元仁二年（一二二五）に造立開眼せられたことが、中尊背後に刻まれてゐる。このやうに一尊を台座・光背共に一石で作りに出した石佛としては全国的に最も古い年号をもつ

像で、また鎌倉時代石佛の様式の基準をこれによつて求め得る点で貴重な遺品である」ト記サレテイルガ、予ハコノ写真ヲ見テ、フト思イ付イタ。出来レバ颯子ノ容貌姿体ヲコノヨウナ菩薩像ニ刻マセテ密カニ観音カ勢至ニ擬シ、ソレヲ予ノ墓石ニスル訳ニハ行カナイモノカト。ドウセ予ハ神佛ヲ信ジナイ、宗旨ナドハ何デモイ、予ニ神様カ佛様ガアルトスレバ颯子ヲ措イテ他ニハナイ。颯子ノ立像ノ下ニ埋メラレ、バ予ハ本望ダ。

タゞ困ルノハコレヲ実行ニ移ス方法如何デアル。モデルニスル颯子ニモ、浄吉ニモ、婆サンニモ、誰ヲモデルニシテイルカヲ悟ラセヌヨウニスルコトハ出来ル。ソウスルタメニハ、アマリニ颯子ノ容貌ニ露骨ニ酷似スルヨウニシナイコトダ、ボンヤリト彼女ノ

感ジヲ匂ワセルヨウニスルコトダ。予ハ石材ニ花崗岩ヲ用イルコトヲ避ケ、軟質ノ松香石ヲ用イルヨウニスル。ソウシテ線條ガ鮮明ニナリ過ギヌヨウニ、ナルベク朦朧ト表現サレルヨウニスル。出来得レバ他ノ何者ニモ氣付カレズ、予一人ニダケ、全ク予一人ニダケハツキリト感ジ取ラレルヨウニスル。ソレハ必ズシモ不能トハ思エナイ。シカシ厄介ナノハ、立像ヲ製作スル彫刻家ニハモデルガ何者デアルカヲ知ラセナイ訳ニ行カナイ。トスルト、誰ニコノ製作ヲ依頼シタライ、カ。一体誰ガコノムズカシイ仕事ヲ引キ受ケテクレルカ。凡庸ノ作家ノ技術デハ容易ニ出来ル仕事デハナイガ、予ハ不幸ニシテ彫刻家ニ一人ノ友人モ持ツテイナイ。仮リニ友人ガアツタトシテ、ソノ友人ガ優秀ナ技術ヲ具エテイタ

トシテモ、予ガ何ノ目的デ左様ナ製作ヲ依頼スルカヲ知ツタトシ
 タラ、果シテ快クソレニ応ジテクレルデアロウカ。ソंना、佛ヲ
 冒瀆スルヨウナ氣狂イジミタ考案ノ實現ニ、ソノ人ハ喜ンデ手ヲ
 藉^かスデアロウカ。ソノ人ガ優レタ藝術家デアレバアルホド、断乎
 トシテ刎ネツケハシナイデアロウカ。（又予トシテモ、ソंना厚
 カマシイ耻カシイコトヲ臆面モナク頼ム勇氣ハナイ。アノ爺サン
 ハ癡狂シテルノデハナイカト、思ワレルダケデモ極マリガ悪イ）
 予ハコゝマデ思イ詰メテ、コゝニーツノ可能ナ方法ガアルカモ知
 レナイコトニ氣ツイタ。ソレハホカデモナイ、石ノ表面ニ菩薩ノ
 像ヲ深彫リニ彫ルコトハ専門家ノ技術ヲ要スルガ、浅イ線彫リニ
 スルコトナラバ普通ノ職人デモ或ル程度可能デハナイカ。コレモ

川勝氏ノ著書ニ上京区紫野今宮町ノ今宮神社ノ線彫四面石佛ト云
 ウモノヲ載セテイル。「凡そ二尺角の加茂川のヌケ石とよばれる
 緻密な硬砂岩の四面に四方佛を線彫したもので、彫り方はタガネ
 彫云々」トアリ、「平安後期天治二年（一一二五）の造立にかゝ
 り、我国石佛中屈指の古い紀年銘をもつ遺品」デアルトシテ、四
 面ニ一ツズツ刻ンデアル四方佛、阿弥陀如来、釈迦如来、薬師如
 来、弥勤菩薩等々ノ坐像ノ拓本ガ示サレテイル。又ソノ外ニ蜻蛉
 石線彫阿弥陀三尊石佛ノ一ツトシテ勢至菩薩坐像ノ拓本ヲ載セテ
 イル。「背の高い硬砂岩の自然石の三面に線彫されたこの三尊法
 来迎の形式になつてゐること本文の挿図の如くであるが、その内
 最もよく保存され佛容の比較的明瞭な勢至像の面をこゝに掲げた。

来迎の弥陀像の脇侍として、雲にのり天上から下界へと斜に向ふ姿は美しい。跪いて合掌し、天衣を風にひるがへしてゐる様は、来迎藝術の盛行した平安末期の雰囲気をかもし出している。「トアル。如来ノ坐像ハイズレモ男性的ニ結跏趺坐シテイルガ、コノ勢至菩薩ハ女性ラシク両膝ヲ揃エテ坐ツテイル。予ハ殊ニコノ菩薩像ニ惹キツケラレタ。……」

十五日。昨日ノツゞキ。

予ハ四面佛ハ必要デナイ。勢至菩薩ノ一面佛デ沢山デアアル。従ツテ正四角形ノ石ハ必要デナイ。正面ニ菩薩ヲ刻ムダケノ、適當ナ厚ミヲ持ツ石ヲ用イレバ足リル。裏面ニハノ予ノ俗名ト、モシ必

要ナラ戒名モ加工テ、享年ヲ刻ンデ置ケバイ、予ハ鑿彫リト云
 ウ彫リ方ヲ委シクハ知ラナイ。子供ノ時分縁日ニ行クト、ヨク大
 道ニ守リ札ヲ売ル店ガ出テイタ。ソシテ真鍮ノ守リ札ノ表面ニキ
 イ〜ト云ウ音ヲサセテ子供ノ住所年齢姓名等ヲ鑿のみノヨウナ刃物
 デ彫リ付ケテイタ。彫ルト極メテ繊細ナ線デ字ガ書ケテ行ツタ。
 鑿ト云ウノハアノコトデアロウ。アレナラソソナニムズカシクハ
 ナサソウダ。ノミナラズ、モデルガ誰デアルカト云ウコトヲ彫リ
 手ニ知ラセズニ彫ラセルコトガ出来ル。予ハ先ズ奈良アタリノ絵
ごころ
 心ノアル佛工ニ命ジテ、今宮神社ノ四面佛ニ倣ツテ線彫リニシ
 タ勢至菩薩ノ像ニ似タモノヲ描カセル。ソシテ颯子ノサマ／＼
 ナポーズノ容貌ト姿体ノ写真ヲ示シ、菩薩ノ顔ト胴ト四肢トヲソ

レトナク彼女ノソレラニ似ルヨウニ畫カセル。サテ鑿師ニハソノ
図ヲ示シテ、ソノ図ノヨウニ線彫リサセル。コレナラ誰ニモ心中
ノ秘密ヲ見スカサレル心配ナシニ、望ンダ石佛ヲ作り得ル。カク
テ予ハソノ颯子菩薩ノ像ノ下ニ、頭ノ上ニ宝冠ヲ戴イテ胸ニ瓔珞
ヲカケ、天衣ヲ風ニヒルガエシタ颯子ノ石像ノ下ニ永久ニ眠ルコ
トガ出来ル。

予ト石屋トハ五子ト佐々木ヲ傍ニ置イテ三時カラ五時頃マデ、ホ
テルノロビー^{ロビー}デアレカコレカト話シ合ツタ。予ハ勿論颯子ヲモデ
ルニスル。ヲ石屋ヤ五子等ニ悟ラセハシナカツタ。川勝氏ノ著書
ニ依ツテ仕込マレタ石像美術ノ知識ダケヲ物識リ顔ニ披露シタニ
過ギナカツタ。平安朝ヤ鎌倉期ノ五輪塔ニ関スル知識、今宮神社

ノ四面佛ノ如来像ヤ菩薩像ノ線彫リニ関スル知識、両膝ヲ揃エテ坐ツテイル蜻蛉石線彫勢至菩薩ニ関スル知識、等々デ彼ヤ彼女等ヲ驚カシハシタモノ、颯子菩薩ノ計畫ハ心ノ奥深くシマイ込ンデ、誰ニモ洩ラサナイヨウニシタ。

「ソレデ結局墓石ノ形式ハドレニオ決メナサイマスカナ、実ニイロくト専門家モ及バナホド御存知デイラツシヤイマスノデ、私ナゾハ何トモ申シ上ゲヨウガゴザイマセンガ」

「僕自身モドウシテイ、カ分ラナイノデ迷ツテルンデスヨ。今又チヨット新タニ思イツイタコトモアルンデ、マアモウ二三日考エサシテ貰イマシヨウカナ。イズレ考エガ決ツタラモウ一度来テ貰イマス。ドウモオ忙シイトコロヲ長々トオ引キ留メシテ——」

石屋ガ退去シタ後、五子モ帰ル。予ハ部屋ニ戻ツテ按摩ヲ呼ブ。予ハ夕食後、俄ニ一念発起シテ外出スベク自動車ヲ命ズル。

「今頃ドチラハオ出掛ケニナリマスノ？ 夜ハオ寒ウゴザイマスカラ明日ニナサイマシタラ」

佐々木ガ驚イテ制シヨウトスル。

「イヤ、ツイソコマデ。歩イタツテ行ケルトコロダ」

「歩イテナンテ飛ンデモナイ、京都ノ夜ハ冷エルカラクレ／＼」
モ氣ヲ付ケルヨウニツテ、御隠居様ニサン／＼云ワレテ参リマシタノニ」

「是非共必要ナ買物ガアルンダ、君モ一緒ニ附イテ来給エ、五分カ十分デ直グニ済ムンダ」

委細構ワズ予ガ出掛ケルノデ、オロ／＼シナガラ佐々木ガアトヲ追ツテ来ル。予ノ行ク先ハ河原町二条東入ル筆墨商竹翠軒デアアル。ホテルヲ出テ五分トハカ、ラナイ所。店先ニ腰掛ケテ舊知ノ主人ト挨拶ヲ交シ、中国製ノ最良ノ朱墨ちよう一挺、小指大ノモノヲ金二千圓あがなデ購ウ。外ニ一萬圓ヲ投ジテ故桑野鉄城氏ガ所有シテイタト云ウ紫斑文ノアル端溪ノ硯一面、金デ縁ヲ取ツタ白唐紙ノ大型ノ色紙二十枚。

「久シユウオ目ニカ、リマセンデシタガ、相変ラズオ元気デイラツシヤイマスナ」

「ナアニ、チツトモ元気ナコトナンカナイヨ、今度ハ京都へ自分ノ墓地ヲ捜シニ来マシタ、イツ死ンデモイ、ヨウニネ」

「御冗談デシヨウ、ソノ勢イジヤアマダ〜大丈夫テイラツシヤ
イマスヨ。——トコロデ何ゾ外ニ御用ハゴザイマセンカ。鄭板
橋ノ書ガゴザイマスガ御覧ニナツテ下サイマスカ」

「ソレヨリ君、突然妙ナ才願イヲスルヨウダガ、アツタラ売ツテ
貰イタイモノガアルンダ」

「何デゴザイマス」

「紅絹もみノ裂きれヲ二尺バカリト布団綿かたまりヲ一ト塊、分ケテ戴キタインダ
ガネ」

「変ツタ御用ヲ承リマスナ、一体何ニナサルンデ？」

「実ハ急ニ拓本ヲ作ル必要ガ出来テネ、ソレニ使ウタンポガ入用
ナンダ」

「ハ、ア、分リマシタ、タ|ンポヲオ作りニナルンデスカ。ソ|ンナモノナラ何かゴザイマス、今直グ家内ニ捜サセマス」

二三分デ奥カラ主婦ガ紅絹ノ裂ハシト布団綿ヲ持ツテ出テ来ル。

「ソ|ンナモノデ宜シユウゴザイマシヨウカ」

「結構々々、コレデ早速間ニ合イマス。コノ代金ハ？」

「ソ|ンナモノハ戴キマセンヨ、コレデ宜シケレバマダゴザイマスカラ、イクラデモ仰ツシャツテ下サイ」

佐々木ハ何ニ使ウノカ全ク見当ガツカナイラシク、呆氣ニ取ラレテイル。

「サ、コレデ済ンダンダ、サア帰ロウ」

予ハサツサト自動車ニ乗り込ム。

颯子ハマダホテルニ歸ツテイナカッタ。

十六日。今日ハ終日ホテルデ休養スルコトニナツテイル。出発以來四日間、近頃ニナク活動シ、ソノ間ニ面倒ナ日記ヲツケタリシタノデ、予自身休養ノ必要ガアルニハアツタガ、今日一日ダケ佐々木ニモ暇ヲ与エル約束ガシテアツタ。佐々木ハ埼玉県ノ生レデ関西方面へハ一度モ旅行シタコトガナイ。ソレデ今度ノ京都市ヲカネテカラ楽シミニシテイタガ、京都滞在中ニ一日才暇ヲ戴イテ奈良見物ヲサセテクレト云ツテイタノデアル。予ハ思ウトコロガアツテ、ソノ日ヲ特ニ今日ニ選ンダ。ソシテ五子ヲ佐々木ノ案内役ニ附ケテ行カセルコトニシテイタ。ト云ウノハ、五子モ暫ク奈

良へ行ツタコトガナイノデ、コノ機会ニ行ツタラドウカト予ガ勸
 メタノデアル。五子ハ兎角引ツ込ミ思案デ、アマリ外へ出タガラ
 ナイ。故桑造在世中モ夫婦デ旅行シタコトナドハメツタニナイ。
 セメテ奈良ノ寺々グライハ見テ置イタ方ガイ、シ、殊ニ今度ハ予
 ノ菩提所ヲ定メルニツイテモ、必ズ参考ニナルコトガアロウ、ト、
 ソウ云ツテヤツタノデアル。予ハ五子ノタメニ自動車ヲ一日買イ
 切りニサセ、途中宇治ノ平等院ヲ見テ奈良ニ行キ、東大寺、新薬
 師寺、西ノ京ノ法華寺、薬師寺グライハ見落サナイヨウニセヨ、
 日歸リスルニハ日程ガ少シ無理ダカラ、強行軍ニナルケレドモ、
 いづうノ鱧はもノ鮓すしデモ持ツテ朝早ク立ち、午マデニ東大寺見物ヲ終
 エテ大佛前ノ掛茶屋かぢやデ弁当ヲ使イ、ソレカラ新薬師寺、法華寺、

薬師寺等ヲ見テ廻ル。日ガ短イカラ暗クナラナイウチニ見テシマツテ、奈良ホテルデ夜ノ食事ヲシタ、メテ帰ツテ来ル。夜オソクテモ今日中ニ帰ツテ来レバイ、コチラハ心配スルニ及バヌ。今日ハ颯子ガ留守番シテ、終日外出セズ、予ノ部屋ニ附キ切りデイテクレルソウダ、ト、予ハ彼女等ニ云イ渡シテアル。

午前七時ニ五子自動車デ佐々木ヲ誘イニ来ル。

「オ早ウゴザイマス、オ爺チャンハ朝ハイツモオ早イノネ」

ソウ云ツテ、竹ノ皮ニ包ンダモノヲ二本、風呂敷ヲ解イテナイトテーブルノ上ニ置ク。

「いづうノ鱧鮓ヲ昨日ノウチニ買ツテ置キマシタカラ、ツイデニ持ツテ参リマシタ。颯チャント二人デ朝御飯ニ召シ上レ」

「ソレハ有難ウ」

「外ニ何カ、奈良デオ買物ハアリマセンカ、蕨餅ハイカヅ？」

「ソシモノハ要ラナイガ、薬師寺ヘ行ツタラ佛足石ヲ拜ンデ来ルコトヲ忘レルナヨ」

「ブツソクセキ？」

「ウン、ソウ。佛様ノ足ヲ石ニ刻ンダモノダ。オ釈迦様ノ足ハ靈驗アラタカナモノデ、佛様ガ歩行スル時ハ足ハ地ヲ離レルコト四寸、足ノ裏ニ千輻輪せんぷくりんノ相ガアツテソレガ地ニ現レル。足ノ下ノモロくノ虫ドモハ七日間危害ヲ蒙ムラナイトシテアル。ソノ足ノ形ヲ石ニ刻ンダモノガ支那ニモ朝鮮ニモ保存サレテイルガ、日本ニハ奈良ノ薬師寺ニアル。ソレヲ必ず拜ンデ来ナサイ」

「畏マリマシタ。デハ行ツテ参リマス。今日一日ダケ確カニ佐々木サンヲオ預リシマス、オ爺チャンモドウゾ御無理ヲナサラナイヨウニ」

「オ早ウ」

ト、颯子ガ睡ソウナ眼ヲコスリ、隣室カラ這入ツテ来ル。

「今日ハ若奥様マコトニ恐レ入りマシタ、折角オ寝ミノトコロヲ才起シ申シ上ゲタリシマシテ、勿体ナクテ罰ガ当リマス」

佐々木ガ頻リニクドくト特別ナ言葉デ礼ヲ云イナガラ五子ト共ニ出テ行ク。

颯子ハネグリジエノ上ニキルチングシタブリユーノナイトガウンヲ着、共色ノ縹子ニピンクノ花模様ノアルスリツパヲ穿イテイル

ガ、佐々木ノ寢タベツドニハ寢ヨウトシナイ、ソファニ寢コロ
 デ予ガ外出ノ時ニ用イルエーガーノ膝掛、白地ニ黒ト紅トブリユ
 ーノタータンチエツクノモノヲ足ニ纏イ、自分ノ部屋カラ枕ヲ持
 ヲテ来テ寢直シニカゝル。仰向ケニ寢テ、ツント鼻ヲ天井ニ向ケ
 テ、眼ヲツブツタマ、何モ予ニ話シカケヨウトシナイ。昨夜ノキ
 ヤバレノ歸リガ遅カツタノデ寢足りナイノカ、話シカケラレルノ
 ガウルサイノデ寢タ振りヲシテイルノカ、ドツチダカ分ラナイ。
 予ハ起キ上ツテ洗面ヲ済マセ、部屋ニ日本茶ヲ取り寄セテ鱧ノ鮓
 ヲパクツク。三ツモ食ベレバ朝飯ニハ沢山デアル。颯子ノ眠リヲ
 破ラナイヨウニ注意シテ食ベル。食ベ終ツテモ颯子ハマダ寢テイ
 ル。

予ハ竹翠軒デ求メテ来タ硯ヲ取り出シテデスクニ置キ、ユツクリ
 〱ト朱墨ヲ磨ル。一挺ノ朱墨ヲ先ズ半分程磨リオロス。次ニ布
 団綿ヲチギツテ大キイノハ六七センチ、小サイノハ二センチグラ
 イノ丸ニ圓メ、紅絹ノ裂デ包ンデタンポヲ作ル。大小ノタンポヲ
 二個ズツ、都合四個作ル。

「才爺チャン、アタシ三十分ホド出テ来テモイ、？ チヨツト食
 堂へ行ツテ来タイノ」

イツノ間ニカ颯子が眼ヲ覺マシタラシイ。ソファニ坐ツテガウン
 ノ間カラ両方ノ膝頭ヲ現ワシテイル。勢至菩薩ノアノ姿ヲ思イ出
 ス。

「食堂へ行カナイデモイ、ジャナイカ、コ、ニ鮎ガコンナニ残ツ

テル、コ、デコレヲ食ベナサイ」

「ソウ、デハソウスルワ」

「君ト鱧ヲ食ベルノハ浜作以来ダナ」

「ソウダツタワネ。——才爺チャン、サツキカラ何シテルノヨ
？」

「ナニ、チヨット」

「朱墨ヲ磨ツテ何ナサルノ？」

「ソシナコトハ聞カナイデモイ、マア鱧ヲ食イナサイ」

ソシナツモリモナク若イ時分ニ何気ナク見テ置イタコトガ、ドン
ナ時ニ役ニ立ツカ分ラナイモノダ。予ハ二三回支那ヲ漫遊シタコ
トガアルガ、支那ノミナラズ、日本ノ何処カヲ旅シタ折ニモ、偶

然人ガ野外ニ立ツテ拓本ヲ製作シテイルトコロヲ見タコトガアル。
 支那人ハコノ技ニ甚ダ熟達シテイテ、風ノ吹ク中デモ平氣デブラ
 シニ水ヲ含マセ、碑面ニ白イ紙ヲ伸バシテ傍カラパタ／＼叩イタ
 リシテイル。ソレデモ見事ナ拓本ガ出来上ル。日本人ハ綿密ニ、
 神経質ニ、大事ヲ取ツテ、大小サマ／＼ノタンポニ墨又ハ墨ノ
 肉ヲ含マセ、細カイ線ヲ一ツ／＼丹念ニ擦リ取ツテ行ク。黒イ墨、
 又ハ黒イ肉ノ場合モアルガ、朱墨ヤ朱肉ノ場合モアル。予ハコノ
 朱ノ拓本ヲ極メテ美シイト感ジタ。

「御馳走サマ、久シ振ニオイシカッタワ」

茶ヲ飲ンデイル颯子ヲ掴マエテ予ハオモム口ニ話シカケタ。

「コヽニアルコノ綿ノ丸ネ、コレハタンポト云ウモノナンダヨ」

「何スルモノナノ？」

「コレニ墨ヤ朱ヲ滲マセテ、石ノ表面ヲパタ／＼叩イテ拓本ヲ作ルノサ、僕ハ朱色デ拓本ヲ作ルノガトテモ好キナンダ」

「石ナンカナイジヤナイノ」

「今日ハ石ハ使ワナイ、石ノ代リニ或ル物ヲ使ウ」

「何ヲ使ウノ？」

「君ノ足ノ裏ヲ叩カセテ貰ウ。ソウシテコノ白唐紙ノ色紙ノ上ニ朱デ足ノ裏ノ拓本ヲ作ル」

「ソナモノガ何ニナルノ」

「ソノ拓本ニモトツイテ、颯チャンノ足ノ佛足石ヲ作ル。僕ガ死ンダラ骨ヲソノ石ノ下ニ埋メテ貰ウ。コレガホントノ大往生ダ」

十七日。昨日ノ続キ。

予ハ最初、予ガ何ノ目的デ颯子ノ足ノ裏ヲ拓本ニ取ルカヲ、彼女ニハ秘スル積リデアツタ。彼女ノ足ノ裏ヲ佛足石ニ彫ラセ、死後ソノ石ノ下ニ予ノ骨ヲ埋メテ、ソレヲ以テ予ト云ウ人間、卯木督助ノ墓ニ代エルト云ウ案ハ、颯子ニモ知ラセナイ方ガイ、ト考エテイタ。然ルニ昨日急ニ氣ガ變リ、彼女ニ打チ明ケタ方ガイ、ト思ウヨウニナツタ。ソレハ何故デアルカ。何ノタメニ颯子ニ心ヲ明カシタカ。

一ツニハ、ソレヲ打チ明ケタラ彼女ガドンナ顔付ヲシ、ドンナ心

理状態ニ陥ルカ、ソノ反応ヲ見タイト思ツタ。次ニハ彼女ガ、ソレヲ知ツタ上デ、自分ノ朱色ノ足ノ裏ノ形ガ白唐紙ノ色紙ノ上ニ印セラレルノヲ見タ時ノ彼女ノ心持、ソレヲ知りタイト思ツタ。足ガ自慢ノ彼女ハ、自分ノ足ガ佛陀ノ足ニ比セラレテ朱印ヲ紙ノ上ニ落スノヲ見テ、必ズヤ心ニ喜悦ヲ禁ジ得ナイデアロウ。予ハソノ時ノ彼女ノ喜ブ顔ガ見タカツタ。「氣狂イ沙汰ダワ」ト、口デハ云ウニ決ツテイルガ、心デハドンナニ喜ブデアロウカ。次ニ彼女ハ、遠カラズ予ガ死ンデシマツタ後モ、「アノ馬鹿ナ老人ハ私ノコノ美シイ足ノ下ニ眠ツテイル、私ハアノ可哀想ナ老人ノ骨ヲ今モナオ地下デ踏ミツケテイル」ト思ウコトヲ禁ジ得ナイ。ソシテ幾分カハ痛快ニ感ジルデアロウガ、ムシロ氣味悪ク感ジル方

ガ強イデアロウ。ガ、気味ガ悪イカラ忘レヨウト思ツテモ、容易ニ、恐ラクハ一生涯、ソノ記憶ヲ拭イ去ルコトハ出来ナイデアロウ。生前ノ予ハ彼女ヲ盲愛シテイタ、ダガ若シ死後ニ於イテ多少デモ意趣返シヲシテヤル気ガアルトスレバ、コンナ方法ヨリ外ニナイ。死ンデシマエバソソコトヲ考エル意志ハナクナルデアロウカ。ドウモ予ニハソウ思エナイ。肉体ガナクナレバ意志モナクナル道理ダケレドモ、ソウトハ限ルマイ。タトエバ彼女ノ意志ノ中ニ予ノ意志ノ一部モ乗リ移ツテ生キ残ル。彼女ガ石ヲ踏ミ着ケテ、「アタシハ今アノ老耄レ爺ノ骨ヲコノ地面ノ下デ踏ンデイル」ト感ジル時、予ノ魂モ何処カシラニ生キテイテ、彼女ノ全身ノ重ミヲ感ジ、痛サヲ感ジ、足ノ裏ノ肌理きめノツルくシタ滑ラカサヲ

感ジル。死ンデモ予ハ感ジテ見セル。感ジナイ筈ガナイ。同様ニ
颯子モ、地下デ喜ンデ重ミニ堪エテイル予ノ魂ノ存在ヲ感ジル。

或ハ土中デ骨ト骨トガカタ／＼ト鳴リ、絡ミ合イ、笑イ合イ、謡
イ合イ、軋きしミ合ウ音サエモ聞ク。何モ彼女ガ實際ニ石ヲ踏ンデイ
ル時トハ限ラナイ。自分ノ足ヲモデルニシタ佛足石ノ存在ヲ考エ
タダケデ、ソノ石ノ下ノ骨ガ泣クノヲ聞ク。泣キナガラ予ハ「痛
イ、痛イ」ト叫ビ、「痛イケレド樂シイ、コノ上ナク樂シイ、生
キテイタ時ヨリ遙カニ樂シイ」ト叫ビ、「モツト踏ンデクレ、モ
ツト踏ンデクレ」ト叫ブ。……………

「今日ハ石ハ使ワナイ、石ノ代リニ或ル物ヲ使ウ」
ト、先刻予ガ云ツタ時、

「何ヲ使ウノ？」

ト、彼女ハ聞イタ。ソレニ対シテ予ハ答エタ。

「君ノ足ノ裏ヲ叩カセテ貰ウ。ソウシテコノ白唐紙ノ色紙ノ上ニ朱デ足ノ裏ノ拓本ヲ作ル」

彼女ガ若シ真ニソレヲ忌マワシク感じテイルナラ、今少シ違ツタ表情ヲ示ス筈デアル。然ルニ彼女ハ、

「ソシモノガ何ニナルノ」

ト、云ツタゞケダツタ。ソノ拓本ニモトヅイテ彼女ノ足ノ佛足石ヲ作ルノデアルコト、予ガ死ンデカラ骨ヲソノ石ノ下ニ埋メテ貰ウノデアルコト、ヲ知ツタ時ニモ、彼女ハ格別ノ意見ヲ述べハシナカッタ。コヽニ於イテ予ハ、颯子ニ異存ガナイバカリカ、少ク

トモソレヲ面白ガル氣持ガアルコトヲ認メタ。幸イニ予ノ部屋ニハ別室ノ設ケガアリ、ソコハ八畳ノ畳敷ニナツテイタ。予ハ座敷ヲ汚サヌヨウニ、ボーイニ命ジテ大型ノシートヲ二枚持ツテ来サセタ。ソシテソノ二枚ヲ二重ニ重ネテ畳ノ上ニ敷イタ。朱墨ノ硯ト毛筆トヲ盆ニ載セテソノ上ニ運ンダ。次ニソフアニ置イテアツタ颯子ノ枕ヲ持ツテ来テ適當ナ位置ニ置イタ。

「サア颯チャン、何モ面倒ナコトハナインダ。ソノマヽコヽへ来て、コノシートノ上ニ仰向ケニ寝テクレヽバイヽ。アトノ仕事ハ僕ガスル」

「コノマヽデイヽノ? 着物ニ朱墨ガ附キハシナイ?」

「絶対ニ着物ニハ附ケナイ、朱墨ヲ塗ルノハ君ノ足ノ裏ダケダ」

彼女ハ云ワレル通りニシタ。仰向ケニ、両足ヲ行儀ヨク揃エテ寝
 タ、足ヲ少シ反ラシ加減ニ、予ニ足ノ裏ガ明瞭ニ見エルヨウニ。
 コレダケノ準備ガ整ツタ時、予ハ先ズ第一ノタンポニ朱ヲ含マセ
 タ。ソレカラ更ニソレヲ以テ第二ノタンポヲ叩キ、朱ヲ薄クシタ。
 予ハ彼女ノ二ツノ足ヲ二三寸ノ間隔ニ開イテ置き、右ノ足ノ裏カ
 ラ第二ノタンポ^ポデ注意深く叩イテ行ツタ。肌理^{きめ}ノ一ツ／＼ガハツ
 キリト分離サレテ印^{しる}サレルヨウニ。
 盛り^も上ツテイル部分カラ土踏マズニ移ル部分ノ、継ギ目ガナカノ
 へムズカシカツタ。予ハ左手ノ運動ガ不自由ノタメ、手ヲ思ウヨ
 ウニ使ウコトガ出来ナイノデ一層困難ヲ極メタ。「絶対ニ着物ニ
 ハ附ケナイ、足ノ裏ダケニ塗ル」ト云ツタガ、シバ／＼失敗シテ

足ノ甲ヤネグリジエノ裾ヲ汚シタ。シカシシバく失敗シ、足ノ甲ヤ足ノ裏ヲタオルデ拭イタリ、塗り直シタリスルコトガ、又タマラナク楽シカツタ。興奮シタ。何度モくヤリ直シヲシテ倦ムコトヲ知ラナカツタ。

漸ク両足ヲ満足ニ塗り終ツタ。右足カラ先ニ少シ高ク擡^{もた}ゲテ、下カラソレニ色紙ヲ当テ、足ノ裏デ印ヲ捺スヨウニサセタ。何度モく試ミテ巧ク行カズ、希望スル拓本ガ作レナカツタ。二十枚ノ色紙ハ凡ベテ徒勞ニ歸シタ。予ハ竹翠軒ニ電話ヲカケ、直チニ色紙ヲモウ四十枚届ケサセタ。今度ハ方法ヲ改メテ、足ノ裏ノ朱ヲ一遍キレイニ洗イ落シ、足ノ趾^{また}ノ股マデモ一本々々拭イ取り、立ツテ椅子ニ掛ケサセテ、予ハソノ下ニ仰向イテ臥、窮屈ナ姿勢ニ

茫然トシテ無言デ顔ヲ見合ワセテイタ。佐々木ハ黙ツテ血壓ダケ
ヲ測ツタ。

「二百三十二ゴザイマスネ」

ト、容易ナラヌ表情デ云ツタ。……………

……………

十七日ノ朝、颯子ガ何ノ断リモナシニ勝手ニ東京ヘ立ツタコトヲ
知ツタノハ、午前十一時頃デアツタ。朝食ノ時ニ食堂ニ見エナカ
ッタノハ、朝寝坊ノ彼女ノ常デアルカラ、予ハマダ颯子ハ寝テイ
ルモノト思ツテイタ。豈図ランヤ彼女ハソノ頃ハイヤヲ走ラシテ
伊丹ニ向ツテイタノデアル。十一時前後ニ五子ガ部屋ヲ訪レテ、

「困ツタコトガ出来タワヨ」

ト教エタ。

「オ前ガソレヲ知ツタノハイツダ」

「タツタ今デス。今日ハドチラヘオ供シタライ、ノカ、伺オウト
思ツテ来タラ、『卯木サンノ奥様ハ先程オ一人デ伊丹ヘオ立ちニ
ナリマシタ』ツテ、突然フロントデ云ワレタデス」

「馬鹿ヲ云エ、オ前ハ前カラ知ツテタンダロウ」

「飛ンデモナイ、アタシガ何ヲ知ルモンデスカ」

「何云ツテヤガル、狸奴、馴レ合イニ決ツテルンダ」

「イ、エ違イマス、今コノホテルデ聞イタンデス、『実ハ先程、

アタシハ父ニ内證デ一ト足先ニ日航デ帰ル、アタシガ伊丹ヘ着ク

時分マデハ決シテ誰ニモシヤベツチャイケナイツテ仰ツシヤラレ
マシタンデ、申シ上ゲズニオリマシタ』ツテ、フロント^トデ云ワレ
テ、ビツクリシタンデス」

「嘘ヲツキヤガレ、古狸、キツト貴様ガ颯子ヲ怒ラシテ立タセル
ヨウニ仕向ケタンダ。貴様モ陸子モ人ヲ煽^{おだ}テタリ騙^{だま}シタリスルコ
トニカケチャア昔カラ大シタ腕前ダカラナ。己ハツイソレヲ忘レ
テタノガ残念ダ」

「マア非道^{ひど}イ！ 何テコトヲ仰ツシヤルンデス」

「佐々木サン」

「ハイ」

「ハイジャアナイ、君ダツテ五子カラ聞イテ知ツテタンダロウ、

ミンナデ寄ツテ集たかツテコノ老人ヲ騙シニカ、ツテタンダ、ミンナ
デ颯子ヲ邪魔ニシテヤガル」

「ソナ風ニ思ツテラシツチャ佐々木サンコソイ、迷惑ダワ。佐
々木サンハ暫クロビ―ニデモ行ツテラシツテ下サイヨ、イ、機
会ダカラ、アタシオ爺チャンニ聞イトイテ戴キタイコトガアルン
デス、ドウセ古狸ト云ワレタ以上、アタシモ云ウダケハ云ワセテ貫
イマス」

「血壓ガ才高ウゴザイマスカラ、イ、加減ニ遊バシテ下サイマセ
ント——」

「エ、エ、分ツテマス」

五子ノ話ハ次ノヨウナコトダツタ。——

アタシガ颯チャンヲ立タセルヨウニ仕向ケタト云ウノハ、全ク根
 モ葉モナイ冤罪デアル。コレハアタシノ想像ダケレドモ、颯チャ
 ンガ立ツテ行ツタノハ外ニ何カ、早く東京ニ歸リタイ理由ガアツ
 タノデハナカロウカ。ソノ理由ハアタシニハヨク分ラナイガ、オ
 爺チャンコソ何カシラ感ヅイテイラツシヤルノデハナイデシヨウ
 カト、乙ニ絡ンデ云ウ。予ハソレニ答エテ云ツタ、彼女ト春久ト
 仲ガイ、コトハ予ガ知ツテイルバカリデナク、自分デモ公然ト云
 ツテイルシ、亭主ノ浄吉モ承知デアル。今デハ誰知ラヌ者ハナイ
 ト云ツテイ、ガ、ダカラト云ツテ、二人ノ間ニ不倫ナ關係ガ成
 リ立ツテイルト云ウ證據ハナイシ、ソナコトヲ信ヅル者ハ一人
 モイナイヨト、ソウ云ウト、本當ニ一人モイナイデシヨウカ、ト、

五子ハ妙ナ笑イ方ヲシタ。ソシテ又云ツタ。コンナコトヲ云ツテ
イ、カ悪イカ分リマセンケレド、アタシハ浄吉ツアンノ氣持ガ少
シ變ダト思ウ、仮リニ颯チヤント春久サントノ間ニ何カアツタト
シテモ、浄吉ツアンハ見テ見又振リデ、許ス積リデハナインデシ
ヨウカ、ドウモアタシハ、浄吉ツアンハ浄吉ツアンデ颯チヤン以
外ニ誰カアルノダト思イマス、無論ソレハ颯チヤンモ春久サンモ
暗黙ノウチニ、イヤ、暗黙ドコロデハナイ、オ互ニ諒解ガ出来テ
イルノデハナイデシヨウカ、——五子ガコ、マデ語ツタ瞬間、
コノ女ニ対スル云イヨウノナイ忿懣ト憎悪ガ予ノ胸ノ中ニ渦ヲ卷
イテ沸キ上ツタ。予ハモウ少シデ怒号スルトコロデアツタガ、怒
号シタラ動脈ガ破裂スルノヲ怖レテ、辛ウジテ忪エタ。椅子ニ掛

ケテイテモ予ハ眼ガ晦くらンデ倒レソウニナツタ。予ノ血相ガ變ツタ
ノヲ見テ五子モ青クナツタ。

「止メテクレ、ソシナ話。止メテ歸ツテクレ」

予ハ出来得ル限り声ヲ低メテ顫エテ云ツタ。何故ニ予ハアンナニ
マデ怒ツタノカ。思イモ寄ラヌ秘密ヲ不意ニ彼女ニ発あばカレタ、メ
カ、自分デモ疾ウカラ内々ハ氣ヅイテイテ、強イテ氣ヅカヌ振リ
ヲシテイタノニ、コノ古狸ニ突如素ツ破抜カレタ、メカ。

五子ハモウ部屋ニイナカツタ。予ハ昨日一日ノ無理ナ活動ガ祟たツ
テ、頸ノ周り、肩、腰、等々ノ痛ミガ激シク、昨夜モ夜ツピテ安
眠出来ナカツタノデ、再ビアタリン三錠トアトラキシン三錠ヲ飲
ミ、佐々木ニ命ジテ背中ヤ肩ヤ腰ニサロンパスヲペタ、貼ラセ

テベットニ這入ツタ。シカシヤツパリ寝ラレナイノデルミナール
ノ注射ヲシテ貰オウトシタガ、寝過ギルト困ルト思ツテ止メタ。
ソレヨリ午後ノ列車ヲ捉エテ颯子ノ跡ヲ追ウコトニ決メ、毎日新
聞支局ノ友人ニ依頼シテ無理ニ切符ヲ手ニ入レテ貰ウ。(予ハ飛
行機ニハ乗ツタコトガナイ)佐々木ハ激シク反対シ、コンナ高血
壓ノ際ニ旅行ハ思イモ寄りマセン、セメテ三四日安静ヲ保チ、血
壓ノ安定ヲ見定メテカラニシテ下サイト、泣クヨウニシテ頼ンダ
ガ、予ハ聴キ入レナカツタ。五子ガ詫ビヲ入レニ来テ、デハ東京
マデアタシモ才供サセテ戴キマスト云ウ。貴様ノ顔ハ見ルノモ癩
ダカラ、附イテ来ルナラ別ノ箱ニ乗レト云ツテヤル。……

十八日。

昨日午後三時二分京都発第二こだまニ乗ル。予ト佐々木トハ一等、五子ハ二等デアル。九時東京着。婆サン、陸子、浄吉、颯子、四人ガホームニ迎イニ出テイル。予ヲ歩行困難ト思ツタノカ、歩カセテハナラヌト考エタノカ、運搬車ガ来テ待ツテイル。五子ノ奴ガ電話デ萬事云イ附ケテ置イタノニ違イナイ。

「何ダ、馬鹿々々シイ！ 鳩山サンジャアルマイシ」

予ハサンノ「」ノ駄々ヲ捏ネテ皆ヲ手古摺ラシタガ、突然右ノ掌ニてのひらモウ一ツノ柔イ掌ヲ感ジタ。颯子ガ手ヲ取ツテイルノダツタ。

「マア才爺チャン、アタシノ云ウコトヲ聴クモノヨ」

忽チ予ハ鳴リヲ静メテ云ウナリニナツタ。直グ運搬車ガ動キ出シ

テエレベーターデ地下道ニ下リ、長イ暗イ路ヲガラ／＼ト走り出シタ。一同ゾロ／＼ト後ニ附イテ来タガ、走り方ガ速イノデ追イ着クノ二骨ガ折レタ。婆サンガトウ／＼ハグレテシマイ、浄吉ガ捜シニ戻ツタ。予ハ東京駅ノ地下道ノ宏大ナノト岐^{えだみち}路ノ多イノニ驚カサレタ。出タノハ丸ノ内側ノ、中央口ニ近イ特別通路ノ外^{みくるまよせ}ノ御車寄デアツタ。自動車ガ二台待ツテイタ。先頭ノ一台二三人、予ヲ困ンデ颯子ト佐々木。次ノ一台二四人、婆サン、五子、陸子、浄吉ノ四人ガ乗ツタ。

「才爺チャン、御免ナサイネ、黙ツテ帰ツテ来チマツテ」

「誰カト約束デモアツタノカネ」

「ソウジヤナイノヨ、正直ヲ云ウト、昨日一日才爺チャンノ相手

ヲサセラレタシデ、スツカリ参ツチマツタノヨ。朝カラ晩マデ足
ノ裏ヲアンナニ弄^{いじく}リ廻サレタシジヤ、何ボ何デモ溜ラナイワ。タ
ツタ一日デ、アタシヘト〜ニナツチャツタカラ逃ゲ出シタノヨ。
御免ナサイネ」

声ノ調子ニイツモノ彼女ラシクナイ、ワザトラシイトコロガアツ
タ。

「才爺チャン才疲レニナツタデシヨウ。アタシ十二時二十分ニ伊
丹ヲ立ツテ、二時ニハ羽田ニ着イタノヨ。飛行機ダト速イワネ」

.....

佐々木看護婦看護記録抜萃

……十七日の夜帰京した患者は、京都での連日の疲労が一度に発したのであろう、十八十九の両日は大部分寝て暮していたが、それでも折々書斎に出て来て前日の日記の残りを書き足していた。然るに二十日の午前一〇時五五分、これから述べるような事件がおこった。

その前に、颯子夫人は十七日の午後三時頃羽田から狸穴の宅へ帰った。夫人は直ちに電話口へ浄吉氏を呼び出して、老人の精神状態がいよゝゝ奇異であるために、もはや自分は一日も行動を共にするに堪えなくなり、勝手に自分だけ先に帰って来た由を告げた。

夫婦は相談の結果、老夫人には内密にして、友人の精神科医井上教授を二人で訪い、いかに処置したらいゝかを尋ねた。教授の意見としては、老人の病氣は異常性慾と云うべきもので、目下の状態では精神病とは云えない、たゞこの患者には情慾が常に必要であつて、それがこの老人の命の支えとなつてゐることを考えると、それに適應する取り扱いをしてあげなければいけない、颯子夫人はその点によく注意して患者をみだりに興奮させたり、患者の意に逆らつたりしないようにし、つとめてやさしく看護してあげて欲しい、それが唯一の治療法であるとのこと。依つて浄吉氏夫婦は、老人の帰京に接して以来出来るだけ教授の意見に従つて老人を遇してゐた。

二十日 火曜日 晴

午前八時、体温三五・五度、脈搏七八、呼吸一五、血圧一三二——八〇。一般状態は特に変化を認めない。言葉や動作は不気嫌の様。

朝食後患者書斎に入る。日記を書くつもりらしい。

午前一〇時五五分、異常な興奮状態で書斎から寝室に現われる。何か云うらしいが私には理解出来ない。ベッドに運び入れて安臥させる。脈搏一三六、緊張していて不整も結滞もない。呼吸二三。心悸亢進を訴える。血圧一五八——九二。手まねで強い頭痛を訴える。顔の表情は恐怖で歪んでいる。杉田医師に電話で連絡するけれども、特別の指示がない、毎度のことだが、この医師は看

護婦の觀察を無視する癖がある。

午前一一時一五分、脈搏一四三、呼吸三八、血圧一七六——一

〇〇。杉田医師に再度電話連絡するけれども指示がない。室温、採光、換気を点検。家族は老夫人のみ病室にいる。酸素吸入の必要を感じ虎ノ門病院に連絡、病状報告の上配慮を依頼する。

午前一一時四〇分、杉田医師来診、病状経過を報告する。診察後、杉田氏往診カバンより注射液を出し、自ら注射する。アンプルはビタミンK、コントミン、ネオフィリン、であつた。注射を終つて杉田氏がまだ玄関にいる時、患者は突然高声を発し、意識不明となる。全身痙攣が激しく起り、チアノーゼが口唇や指先に著明となる。痙攣がやがておさまると、強い運動不安が起り、制止を

排して跳ね起きようとする。

大小便の失禁がある。全発作は約十二三分、深い睡眠に入る。

午後一二時一五分、附添中の老夫人が急に眩暈を訴えたので、別室に運んで静かに寝かせる。一〇分ほどで恢復。老夫人の看護は五子夫人が引き受ける。

一二時五〇分、患者安眠。脈搏八〇、呼吸一六。颯子夫人入室する。

一三時一五分、杉田医師帰宅、面会謝絶の指示がある。

一三時三五分、体温三七・〇度、脈搏九八、呼吸一八。時々咳嗽あり、全身冷汗強度、寝衣を交換する。

一四時一〇分、親戚の小泉医師来訪。病状経過を報告する。

一四時四〇分、覚醒。意識明瞭。言語障害なし。顔面、頭部、項部にわたり打撲様の疼痛を訴える。発作前の左上肢の疼痛は消失している。小泉医師の指示によりサリドン一錠、アダリン二錠投与。颯子夫人を認めたるも静かに眼を閉じている。同五五分、自然排尿あり。一一〇分、溷濁なし。二〇時四五分、強い口渴を訴える。颯子夫人の手からミルク一五〇分。野菜スープ二五〇ccを与える。

二三時五分、浅眠状態。老人は既に完全に覚醒し、危険状態を脱したようではあるが、再発の怖れがないとは云えないので、なお念のため東大梶浦教授の診察を乞うた方がよいと云うことになり、夜おそくではあったけれども浄吉氏が教授をつかまえて伴って来

る。診察後、これは脳溢血の発作ではない、脳血管の痙攣であるから、今どうと云う心配はないと云われる。そして一日二回、朝タニ〇%ブドウ糖二〇cc、ビタミンB₁一〇〇ミリ、ビタミンC五〇〇ミリの注射と、就寝前三〇分アダリン二錠ソルベン四分の一錠、投与の指示がある。今後当分約二週間は安静を旨とし、面会謝絶を続けている方がいゝこと、入浴は暫く見合わせ、余程気分がいゝ時を見計らって入浴すること、床を離れるようになっても最初は先ず室内を歩く程度にすること、体の調子を見て天候のうらゝかな日を選びポツ／＼庭を散歩するくらいはいゝが、外出は厳禁、出来るだけ精神をぼんやりさせるようにして物事を深く考え込んだり思い詰めたりしないこと、日記をつけることは絶対

不可であること、等綿密な注意がある。……………

……………

勝海医師病床日記抜萃

十二月十五日 晴一時濃煙霧後晴

主訴。胸内苦悶の発作。既往歴。三十年來血圧が高く、最高血圧一五〇——二〇〇、最低血圧七〇——九五。時として最高二四〇ぐらいに達したこともある。六年前に卒中発作に罹り、以後軽い歩行の障害がある。最近数年来左上肢特に手首から先に神経

痛様の疼痛があり、寒さに当たると増強する。若い頃性病をわずらったことがあり、酒も一升近く嗜んだが、最近では飲んでも猪口に一二杯程度。煙草は昭和十一年以来廃している。

現病歴。約一年前から既に心電図上STの降下、T波の平低化等、心筋傷害を疑わせる所見が見られたが、最近まで特に心臓についての訴えはなかった。十一月二十日、激しい頭痛、痙攣、及び意識障害の発作があり、梶浦教授に脳血管の痙攣と診断され、その指示に従い経過は順調であつたが、同三十日、患者の嫌いな娘と論争したことがあり、その時左前胸部に軽い苦悶感を十数分間感じ、以来同様の発作が頻発するようになった。当時の心電図には一年前に比べ著変が見られない。十二月二日夜、排便時に力んだ^{りき}

ところ、心臓部に五十分以上に亙つて激しい締めつけるような疼痛がおこり、最寄りの医師の往診を受けたが翌日の心電図検査に依り、胸部誘導に前壁中隔梗塞を疑わせる所見が見られた。同五日の夜にも同様の強い発作が十数分に亙つておこつた外、毎日小さい発作が頻発している。元來便秘がちで、排便した後で発作がおこり易い。発作に対しては今まで医師からP剤Q剤の服用、酸素吸入、鎮静剤、パパベリンの注射等を受けている。十二月十五日当科（東大内科）A号室に入院。主治医S氏及び若夫人より病気の経過を聞き、軽い診察をする。患者はやゝ肥満し、貧血、黄疸はなく、下腿に軽度の浮腫が見られる。血圧一五〇——七五、脈搏九〇で速く、整。頸部に静脈怒張を認めず。胸部では両側肺

下野に軽い湿性ラッセル音を認め、心臓は肥大せず、大動脈弁口で軽い収縮期性雑音を聴取する。腹部で肝、脾を触れず。右側上下肢に軽い運動障害があると云うが、粗大力減弱はなく、異常反射も証明されない。膝蓋腱反射は両側とも同程度に減弱している。脳神経領域には異常を認めず、家族はしやべるほうは普通だと云うが、患者自身は卒中発作以来すこしおかしいと云っている。主治医のS氏から、患者は人より薬に敏感で、常用量の三分の一か二分の一でよく効き、普通量使うと強すぎると注意され、若夫人から、以前静脈注射で痙攣をおこしたことがあるので血管注射はしないようにと云われる。

十六日 晴一時曇

入院して安心した為か昨夜は発作もなく、よく眠れたと云う。朝方になって上胸部に軽い苦悶感が数秒ずつ数回あつたと云うが、神経性のものかも知れない。便秘をしないように緩下剤の服用をすゝめる。患者もそれに気附いて既にバイエルのイスチン Istin ㊄をわざゝドイツより取り寄せて用いている。患者は長年高血圧や神経痛を患つたので、薬のことは大変よく知っており、うかゝすると新米の医師は負けてしまう。ベッドの囲りにはいろいろな薬が置いてあり、特に処方を出す必要もなく、その中から P 剤 Q 剤を続けて服用するように云う。又発作のおこつた時は、これも患者持参のニトログリセリン錠を舐めるように指示する。患者の枕元に酸素吸入器も具え、直ぐに注射出来るようにして置

く。血圧は一四二——七八、心電図には三日とほぼ同様、ST・Tの異常と、前壁中隔梗塞を疑わせる所見が見られ、胸部レントゲン写真では心臓肥大はあまりなく、動脈硬化像が見られる。血沈促進、白血球増多、S・GOT値の上昇を認めない。以前から前立腺肥大があり、排尿の時に難渋したり、尿が混濁したりすると云うが、今日のは清澄で蛋白もなく、糖が弱陽性である。

十八日 晴後曇

入院以来まだ強い発作は見られない。発作の性状は主として上胸部又は左前胸部の苦悶感で、それも数分以上続くことは稀である。寒いと神経痛が痛む上に、心臓の発作もおこり易く、病室のスチームは頼りにならないので、電気やプロパンガスのストーブを二

つも三つも持ち込んでいる。

二十日 薄曇後晴

昨夜八時頃心窩部より胸骨背面に互って、苦悶感が三十分位つゞく。ニトログリセリン錠と当直医師の鎮静剤、冠拡張剤の注射で間もなくおさまる。心電図は前回と特に変わっていない。血圧一五六——七八。

二十三日 晴後時々曇

軽い発作が毎日ある。尿に糖が出ているので、今朝は朝食に十分な米飯とおかずを食べて貰い、その後の血糖値を調べて糖尿病の有無を検査する。

二十六日 日曜 晴一時曇

午後六時頃左前胸部に強い苦悶感がおこり、十数分以上つゞいて
いると、病院から電話で呼ばれる。緊急の処置を当直医に依頼し、
午後七時頃馳けつける。血圧一八五——九七、脈搏九二、整。
鎮静剤を注射し間もなく落ち着く。日曜日は受持医がいないので不
安になるためか、発作が多いようである。発作時は血圧が高くな
る傾向がある。

二十九日 晴一時あられ濃煙霧後晴

こゝ暫く強い発作は見られない。ベクトル心電図でも前壁中隔梗
塞の疑いがある。血清ワ氏反応は陰性。明日よりアメリカから来
たばかりの新しい冠拡張剤Rを使うことにする。

三十六年一月三日 晴後曇後雨

新しい薬が効いているのか経過はいゝようである。尿が混濁して来たと言ふ。顕微鏡で見ると白血球が無数に出ている。

八日 晴一時濃煙霧後晴

泌尿器科K教授の往診を受ける。前立腺肥大及び残尿のための細菌感染が見られ、前立腺のマッサージと抗生物質の投与で様子を見るようにと云われる。心電図に軽度の改善が見られる。血圧一

四三——六五。

十一日 晴れたり曇ったり

二、三日前から腰部に疼痛を訴えていたが、次第に痛みが強くなり、これをこらえていたところ、午後になつて両側胸部に締めつけられる様な痛みがおこり十数分続く。最近で一番強い発作であ

る。血圧一七六——九一、脈搏八七。ニトログリセリン錠、冠
拡張剤、鎮静剤の注射で間もなくおさまる。心電図には新しい病
変の所見は見られない。

十五日 晴

昨日のレントゲン写真の結果は変形性脊椎症と云う診断である。
腰があまり曲らぬ様にした方がよいと云うので、腰部にアイロン
台を入れ、ベッドの中に体が落ち込まぬようにする。

中略

二月三日 快晴

心電図も大部よくなり、最近は小さい発作も殆んどおこらない。
この分では近く退院出来るだろう。

七日 晴れたり曇ったり

軽快退院。今日は二月としては珍らしく暖い日である。寒いのは禁物だから、昼からの一番暖い時を選んで暖房車で送る。卯木氏の家では主人の書齋を大きなストーブで暖めていると云うことである。

城山五子手記抜萃

去年十一月二十日に脳血管の痙攣で倒れた父は、その後間もなく狭心症、心筋梗塞を患い、同年十二月十五日東大病院に入院したが、勝海先生のお蔭で辛うじて危険状態を脱し、本年二月七日五

十日餘で退院することが出来、狸穴の宅に歸つた。しかし狭心症は全く治癒した訳ではなく、その後も時々軽い発作があり、今になつても折々ニトログリセリンの厄介になつてゐる。そして二月から三月一杯寢室から一步も出たことはなかつた。佐々木看護婦は父の入院中も卯木家において母の看護に當つていたが、父が退院すると又父の係となつて、三度の食事から大小便の世話をしたが、時々お静も手伝つていた。

私は京都の家においても近頃はこれと云う用事もないので、一カ月の半ばは狸穴で暮し、佐々木看護婦に代つて母の病床に侍つた。父は私の顔を見ると御機嫌が悪いので、なるべく父に見られないようにした。その点は陸子も私と同じである。

颯子の立場は甚だ微妙で、且困難なものであった。井上教授の注意に従つて、努めて父にやさしい態度を示すようにしていたが、餘りやさしくし過ぎたり、長時間枕頭に侍っていたりすると、父は往々感激して興奮する。颯子が病室にいた後で、父が発作をおこすことはしばしばあった。さればと云つて、彼女が日に何回か病床に姿を見せなければ、病人がそれを気にすることは必至であり、そうなれば病勢を悪化させる結果となる。

父も颯子と同じような微妙な心理状態にあった。狭心症の発作は非常な苦痛を伴うので、父は死を恐れないと云いながらも、死に至るまでの肉体の苦痛は恐れた。だから颯子に餘り親しくされることは避けるように、内々努めている様子があったが、しかし全

然会わずにはいられなかった。

私は浄吉夫婦の住んでいる二階には行つたことがない。が、佐々木看護婦の語るところでは、颯子は近頃夫の部屋では寝ていないらしい、泊り客のために用意してあるスパーアの室に自分の寝間を移しているらしいと云う。たまには春久も、こつそり二階に上り込んでいることがあるとも云う。

或る日、私が京都に帰つていた時、突然父から電話がかゝつた。何用かと思うと、先般颯子の足の拓本（色紙）を竹翠軒に預けたまゝにしてあるから、あれを受け取つて、この間の石屋に示し、あれを佛足石のように刻ませてくれ、と云うのである。大唐西域記に依れば、お釈迦様の足あしあと跡が今も摩揭陀国に遺っているが、

足の長さが一尺八寸、廣さが六寸、両足に輪相があるとしてある。颯子の足の裏も、輪相は描かなくてもいゝが、長さはあの形のままで一尺八寸に擴大して貰いたい。是非そのようにお前から注文してくれと云う。そんな馬鹿氣た注文を、頼める筈のものでもないから、私はいゝ加減に聞いて一旦電話を切り、

「石屋の主人は九州地方へ旅行中だそうで、後日返事をするそうです」

と、答えて置いた。すると数日後、又父から電話があつて、それなら拓本全部を東京へ送つてくれと云う。私は云われる通りにした。

拓本が到着した旨を佐々木看護婦からやがて知らせて来た。父は

十数枚の拓本の中から、出来のいゝのをあれかこれかと四五枚選
び出して、一枚々々熱心に、何時間でも飽かず眺めて暮している、
又興奮させてはと思つたが、それをも禁止する訳に行かず、颯子
に直接触れるよりは、まあこんなことで満足させて置く方がいゝ
と考へてそのまゝにしている、と看護婦は云つた。

四月中旬になつてから、好天気の日には庭を二三十分ぐらい散歩
するようになった。

大概看護婦がお供をしたが、稀には颯子が手を曳いていることも
あつた。

嘗て拵えてやると約束をしたプールの工事がもうその頃始まつて、
庭の芝生が掘り返されていた。

「拵えたつて無駄だわよ、どうせ夏になればお爺ちゃんは日中に戸外へなんぞ出られやしないわ、無駄な費用だから止めた方がいいわ」

と、颯子が云うと、浄吉が云った。

「約束通りプールの工事が始まっているのを、眺めるだけでも親父の頭にはいろ／＼な空想が浮ぶんだよ。子供達も楽しみにしているしね」

青空文庫情報

底本：「瘋癲老人日記 改版」中公文庫、中央公論新社

1977（昭和52）年1月10日初版発行

2001（平成13）年3月25日改版発行

底本の親本：「谷崎潤一郎全集 第十九卷」中央公論社

1982（昭和57）年11月

初出：「中央公論」中央公論社

1961（昭和36）年11月～1962（昭和37）年5月

※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ヶ」（区点番号5-86）を、大振りにつくっています。

※表題は底本では、「瘋癲《ふうてん》老人日記」となっています。

※「血脈」と「血圧」の混在は、底本通りです。

入力：kompass

校正：酒井裕二

2016年9月9日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

瘋癲老人日記

谷崎潤一郎

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>